

<b>仕様書名</b>	<b>設置仕様書（設定編）</b>
-------------	-------------------

<b>製品名</b>	<b>自動精算機</b>
<b>機種名</b>	<b>Flexcom Pay</b>

<b>発行印</b>

【Rev2.5】

改訂履歴			
Rev	年月日	改訂理由	作成
1.0	2021/8/10	リリース	吉田
1.1	2021/9/10	設置仕様書(ハード設定編)を分離 2.1 項 インターネット接続注記追加 2.3.1 項 注記内容修正 2.5.1 項 IP アドレス参照先情報追加 2.5.2 項 設定しない場合の注記、IP アドレス参照先情報追加 2.6 項 リモート設定内容変更 2.7 項 資格情報マネージャー設定内容追加 2.9.1 項 受付連携しない場合の設定注記、参照先情報内容追加 2.9.2 項 受付連携しない場合の設定注記、参照先情報内容追加 2.9.3 項 保守用職員 ID 設定内容追加 2.9.4 項 参照先情報内容追加 2.9.5 項 参照先情報内容追加 3.2 項 音量調整内容追加 (5 項より移動) 3.3 項 参照先情報内容、電源断操作追加 5 項 各動作テスト内容修正変更	吉田
1.2	2021/9/24	2.9.5 項 内容 2.9.6 項と 2.9.7 項に分散 2.9.6 項 ORCA SSL 認証設定説明追加	吉田
1.3	2021/10/5	2.6 項 リモート設定内容変更 2.8 項 患者情報インポート作業削除 2.8.5 項 使用接続台数変更コメント追加 ※2.9 項は 2.8 項に番号修正 3 項 注記内容追加 4.2 項 端末取外時の確認事項追加	吉田
1.4	2021/10/19	各 項 参照先フォルダ名称修正 2.7 項 レセコン名称修正、キャン連携説明追加 2.8.5 項 設定画面情報 1.5 次対応追加 2.8.6 項 キャン設定追加 2.8.7 項 参考表修正	吉田
1.5	2021/11/5	2.8.5 項 設定内容変更 2.8.6 項 ORCA 設定事項修正 3.3 項 管理アプリ IP アドレス参照先修正	吉田
1.6	2021/11/17	2.3.2 項 ラベルプリンタードライバ設定項目追加 2.5.1 項 画面検索情報付記 2.7 項 資格認証設定時の注記追加 2.8 項 参照先資料名称の変更 2.8.6 項 参照先項目誤記修正	吉田

改訂履歴			
Rev	年月日	改訂理由	作成
1.6	2021/11/17	[前頁のつづき] 2.9 項 ラベルプリンターアプリ設定項目追加 3.4 項 TeamViewer の ID 確認作業内容追加	吉田
1.7	2022/2/25	1.1 項 システム構成図変更 (ラベルプリンター追加) 2.2.1 項 ファイル実行をダブルクリックから管理者実行に変更 2.3.2 項 印刷設定内容を修正して 2.9.3 項へ移動 2.7 項 資格認証パス誤記修正 2.8.5 項 システム設定の内容追加 2.8.6 項 Medicom 設定注記追加 2.9.1 項 アプリの参照先修正 2.9.2 項 ラベルプリンターアプリ操作資料コピー説明追加 2.9.3 項 印刷設定内容追加 2.9.4 項 動作確認内容修正 (2.9.3 項から移動) 3.1 項 2 台目設定の IP アドレス注意事項追加 4.2 項 誤記修正 (タンパー機能 ⇒ タンパー検知機能) 6 項 その他の設定項目追加 6.1 項 患者情報インポート作業内容追加 7 項 ストレージ種類追加 (項番を 6 項⇒7 項へ変更)	吉田
1.8	2022/6/6	2.7 項 ファイアウォール設定を共通バッチに変更 連携アカウント設定に Hi-SEED を追加 2.8 項 連携共有フォルダ作成項目新設 (以降降順がズレ) 2.9 項 管理アプリの各種設定項目順序変更 追加連携レセコン設定項目追加 個別精算機設定項目追加 参考レセコン設定比較表修正 3 項 表示画面差替 (2.0 次フェーズ内容反映)	吉田
1.9	2022/6/13	2.8 項 共有フォルダ作成後の共有化説明追加 2.9.3 項②ORCA 設定内容修正	吉田
2.0	2022/7/20	2.8.3 項 ラボテックアカウント ID 指定に修正 2.11.2 項 JCM ラベルプリンタリカバリツールフォルダコピー内容追記	吉田
2.1	2022/11/4	2.9.3 項 レセコン連携の設定の下記項目修正 ⑧BrainBox (ユヤマ) の連携設定 ⑩Hi-SEED (富士フィルムヘルスケア) の連携設定 ⑫Flexcom Pay (日本金銭機械) の連携設定	吉田
2.2	2023/3/10	2.7.2 項 連携アカウント設定の内容修正追記 2.3.2 項 ドライバファイル名更新	吉田

改訂履歴			
Rev	年月日	改訂理由	作成
2.3	2023/6/15	2.7.2 項 TOSMEC Aventy (エムスリーソリューションズ) の表記変更 2.9.3 項 ORCA の連携設定内容変更 TOSMEC Aventy (エムスリーソリューションズ) の表記変更 2.9.4 項 管理アプリと精算機の設定内容修正追記 2.11.2 項 説明資料移動指定変更 2.11.4 項 患者情報取得の注意事項追加 4.3 項 電子マネー使用設定項目追加 7 項 win11 対応スペック追加	吉田
2.4	2023/8/22	2.8 項、2.9.3 項 メディカルステーション[BML]の注釈追記	吉田
2.5	2024/2/19	2.8 項 M3Digikar 連携一覧追加、MRN[EM システムズ]の注釈追記 2.8.1 項 MRN[EM システムズ]の注釈追記 2.8.6 項 M3Digikar 共有フォルダ設定追加 2.9.3 項 ORCA 注釈事項追記 M3Digikar 連携設定追加 MRN[EM システムズ]の注釈追記 2.9.4 項 機能項目説明追加 2.9.7 項 レセコンと各種設定機能の関係表更新 3.3 項 精算機アプリケーション設定手順(開閉局操作)追加	吉田

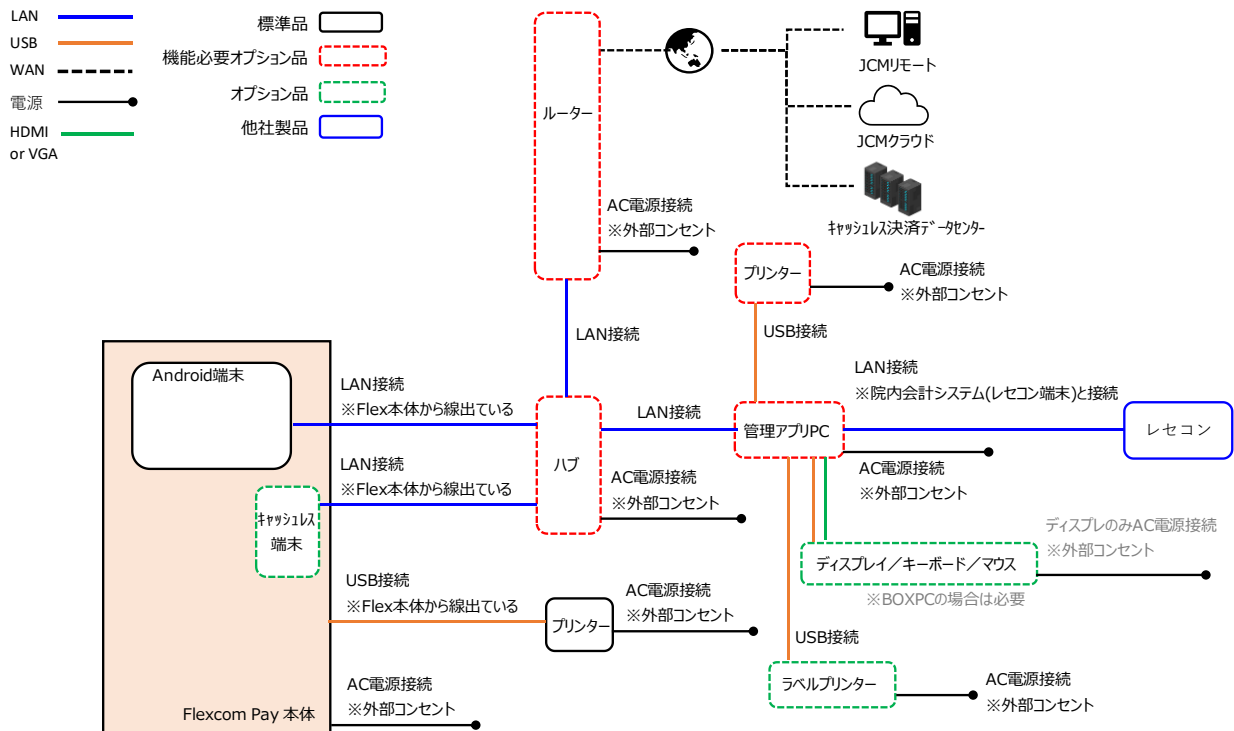
## 目次

1. 概要	1
1.1. システム構成図	1
1.2. アドレス一覧	1
2. 管理アプリセットアップ	2
2.1. セットアップ作業前確認事項	2
2.2. ミドルウェアセットアップ	3
2.2.1. データベースのインストール	3
2.2.2. データベースのシステム設定	6
2.3. ドライバセットアップ	7
2.3.1. プリンターの設定	7
2.3.2. ラベルプリンターの設定	9
2.4. 管理アプリインストール	10
2.5. IP アドレス設定	12
2.5.1. Flexcom Pay ネットワーク用 IP アドレスの設定	12
2.5.2. レセコン接続 IP アドレス設定	15
2.6. リモート設定	17
2.7. ファイアウォール設定と連携アカウント作成	20
2.7.1. ファイアウォール設定	20
2.7.2. 連携アカウント設定	21
2.8. 連携共有フォルダの作成	23
2.8.1. MAPs (EM システムズ) の設定	23
2.8.2. BrainBox (コヤマ) の設定	25
2.8.3. SUPER CLINIC (ラボテック) の設定	26
2.8.4. Qualis (BML[ビー・エム・エル]) の設定	27
2.8.5. Flexcom Pay (日本金銭機械) の設定	28
2.8.6. M3Digikar (エムスリーデジタル) の設定	29
2.9. 管理アプリの各種設定	30
2.9.1. 医療機関情報の登録	30
2.9.2. 職員の登録	31
2.9.3. レセコン連携の設定	32
①Medicom (PHC) の連携設定	33
②ORCA (日医) の連携設定	35
③HOPE SX/SX-S (富士通) の連携設定	39
④AI・CLINIC (アイネット・システムズ) の連携設定	41
⑤TOSMEC Aventy (エムスリーソリューションズ) の連携設定	43
⑥CLINICS (メドレー) の連携設定	45
⑦MAPs (EM システムズ) の連携設定	47
⑧BrainBox (コヤマ) の連携設定	48
⑨SUPER CLINIC (ラボテック) の連携設定	50
⑩Hi-SEED (富士フィルムヘルスケア) の連携設定	51

⑪Qualis (BML[ビー・エム・エル]) の連携設定 .....	53
⑫FlexcomPay (日本金銭機械) の連携設定 .....	54
⑬M3Digikar (エムスリーデジタル) の連携設定 .....	56
2.9.4. 管理アプリと精算機の設定 .....	57
2.9.5. 精算機の個別設定 .....	59
2.9.6. 担当医の登録 .....	60
2.9.7. 受診内容の登録 .....	61
2.10. ラベルプリンターの設定 .....	63
2.10.1. ラベルプリンターアプリのインストール .....	63
2.10.2. 説明資料の移動 .....	65
2.10.3. 印刷設定 .....	66
2.10.4. 動作確認 .....	67
3. 精算機セットアップ .....	69
3.1. IP アドレスの設定 .....	69
3.2. 音量の調整 .....	72
3.3. アプリケーションの設定 .....	73
3.4. TeamViewer ID の確認 .....	78
4. 電子決済端末の設定 .....	80
4.1. 接続設定の確認 .....	80
(補項) キャッシュレス決済端末を固定 IP アドレスで運用する場合 .....	82
4.2. タンパー検知機能有効化設定 .....	83
4.3. 電子マネー使用設定 .....	84
5. 動作確認 .....	85
6. その他の設定 .....	87
6.1. 患者情報インポート .....	87
7. 推奨スペック .....	89

# 1. 概要

## 1.1. システム構成図



## 1.2. アドレス一覧

機器	IP アドレス	最大接続台数
管理アプリ PC	yyy.xxx.zzz.100 (現地のセグメントに合わせる) ※ネットワークをクリニックの環境に合わせて設定する場合、 ネットワーク部のアドレスは事前確認資料に沿って設定してください。	-
自動精算機	yyy.xxx.zzz.11 ~ yyy.xxx.zzz.12 (現地のセグメントに合わせる) ※ネットワークをクリニックの環境に合わせて設定する場合、 ネットワーク部のアドレスは事前確認資料に沿って設定してください。	2 台

※ハード設置内容は、Flexcom Pay 設置仕様書(ハード設置編)を参照ください。

## 2. 管理アプリセットアップ

### 2.1. セットアップ作業前確認事項

PC の設定、各種アプリケーションのインストールを行います。

※注記) インターネット接続がされている状態で設定を行ってください。

※注記) JCM から PC が出荷されている場合、2.5 項 IP アドレス設定から行ってください。

※注記) 以下の警告や表示が出る場合は、導入先様へ確認してください。

○UAC (ユーザーアカウント制御) の表示にて管理者パスワード入力を求められた場合は、導入先様にて入力をお願いしてください。

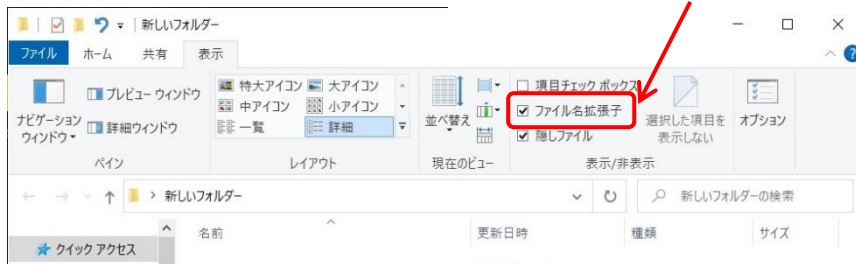
○ウィルスバスター等のウィルス対策ソフトによる警告が出る場合は許可登録が必要となります。

※注記) ファイル種類を確認する為、PC のファイル名、拡張子を表示する設定で作業を開始してください。  
全ての作業が終了した場合は、拡張子設定を変更前に戻してください。

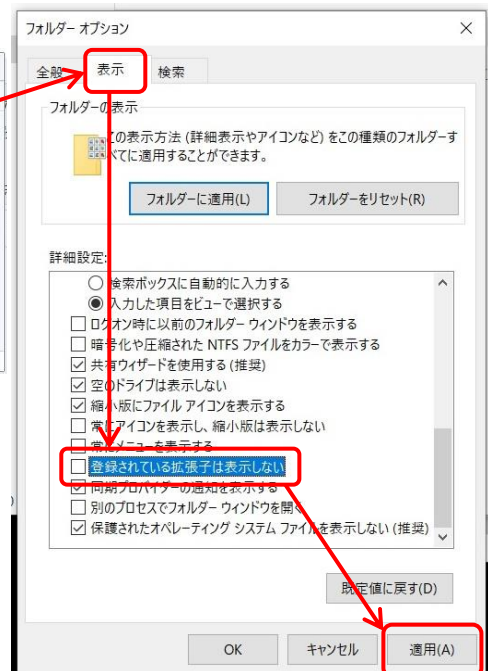
拡張子を表示させる方法は以下のどちらかを行います。元に戻す場合は、この操作の逆を行います。

#### ○フォルダのタブから操作する

フォルダの「表示」タブ内にある「ファイル名拡張子」をチェックします



#### ○フォルダオプションから操作する



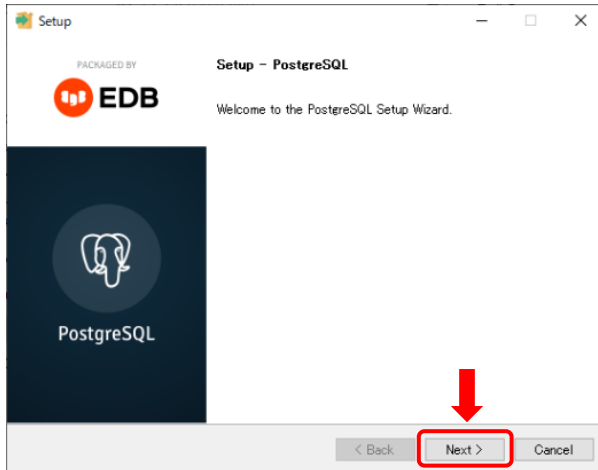
フォルダの「ファイル」から「フォルダと検索のオプションの変更」を選択し、「表示」タブ内の「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外し、「適用」を押下します



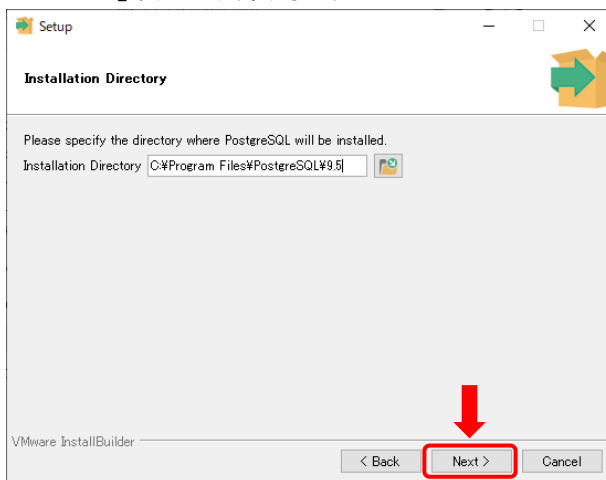
## 2.2. ミドルウェアセットアップ

### 2.2.1. データベースのインストール

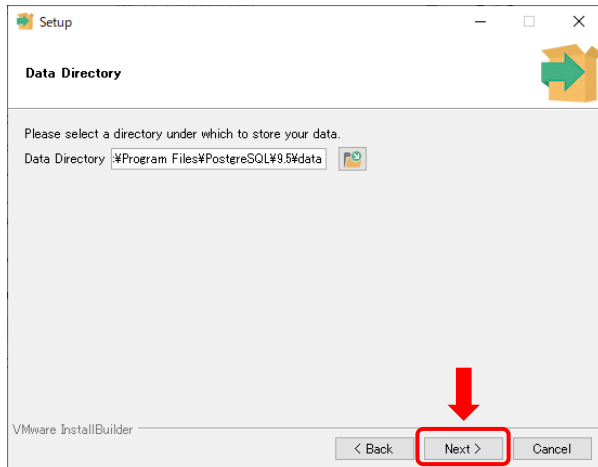
- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥01.ミドルウェア¥01.データベース」フォルダ内の「postgresql-9.5.25-1-windows-x64.exe」を右クリックし「管理者として実行」を選択してセットアップ画面を表示し、セットアップ画面が表示されたら、「Next >」ボタンをクリックします。



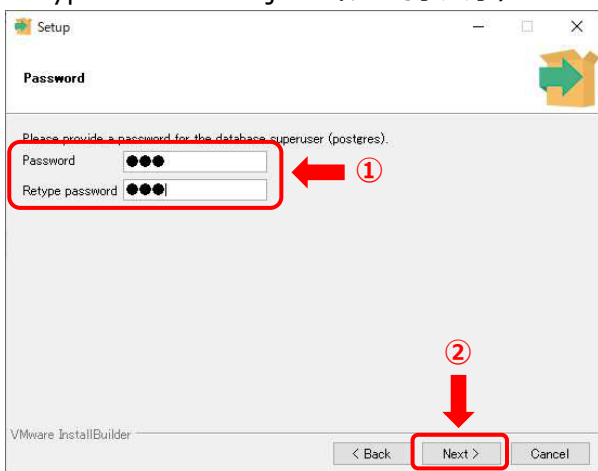
- 2) Installation Directory は初期値 (C:¥Program Files¥PostgreSQL¥9.5) のままで、「Next >」ボタンをクリックします。



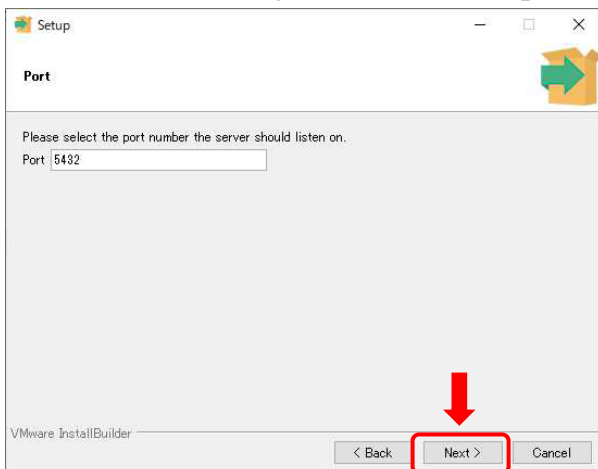
- 3) Data Directory は初期値 (C:\Program Files\PostgreSQL\9.5\data) のままで、「Next >」ボタンをクリックします。



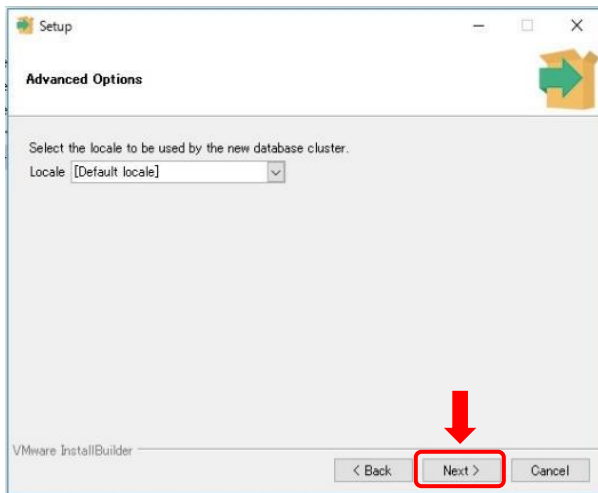
- 4) 以下の内容を入力して「Next >」ボタンをクリックします。  
Password : jcm (すべて小文字)  
Retype Password : jcm (すべて小文字)



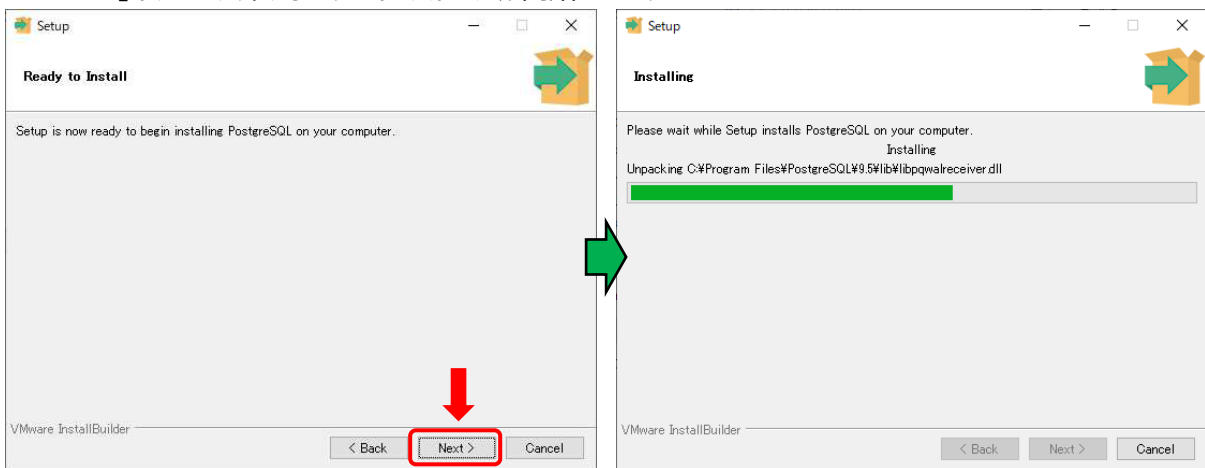
- 5) Port は初期値 (5432) のままで、「Next >」ボタンをクリックします。



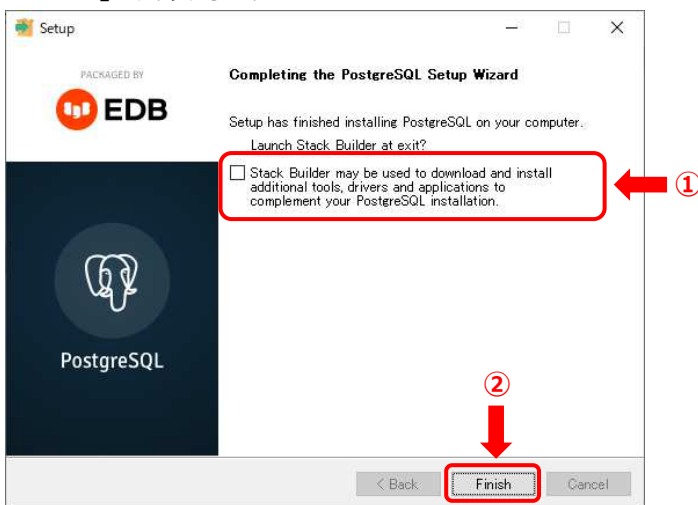
6) Local は初期値のまま、 「Next >」 ボタンをクリックします。



7) 「Next >」 ボタンをクリックします。インストールが開始されます。



8) インストールが完了画面で、「Stack Builder may be used to download and install ...」のチェックを外し、「Finish」をクリックします。





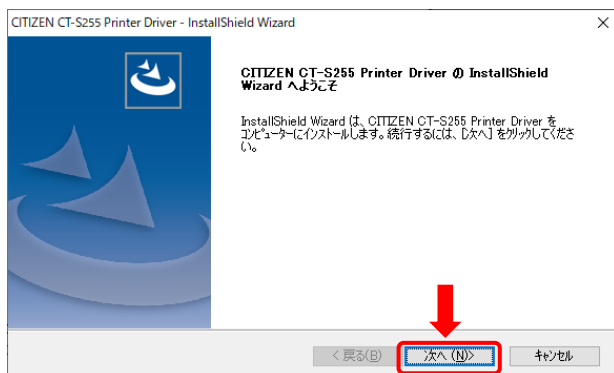
## 2.3. ドライバセットアップ

### 2.3.1. プリンターの設定

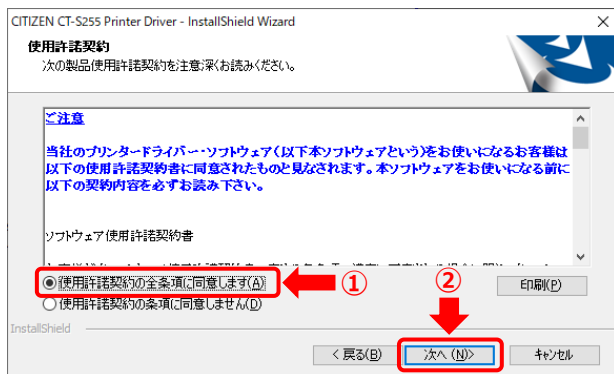
※注記) 管理アプリ接続のプリンターはオプション品となります。

導入先様のプリンターを使用する場合は、管理アプリを設定する PC に導入先様のプリンターが接続されている事を導入先様に確認してください。

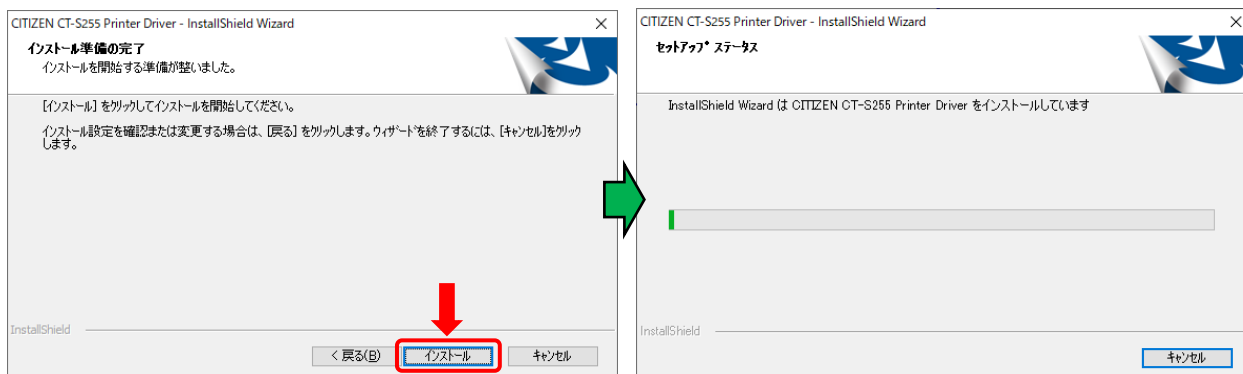
- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥02.ドライバ」フォルダ内の「cts255\_lm\_v3000.exe」をダブルクリックします。インストールウィザード画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



- 2) 「使用許諾契約の全項目に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



- 3) 「インストール」をクリックします。その後、セットアップステータス画面が表示されます。

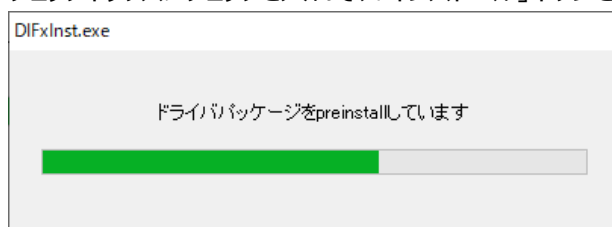


4) ポート選択画面が表示されます。

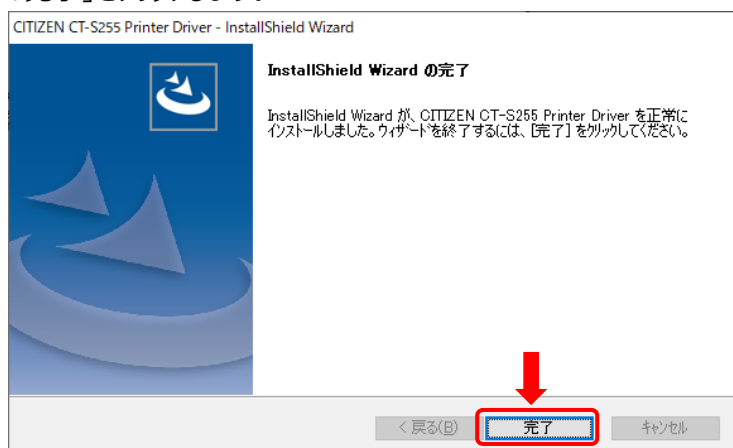
「USB」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



5) 「ドライバパッケージを preinstall しています」画面が表示された後、インストール有無確認画面が表示されます。チェックボックスにチェックを入れて、「インストール」ボタンをクリックします。



6) 「完了」をクリックします。



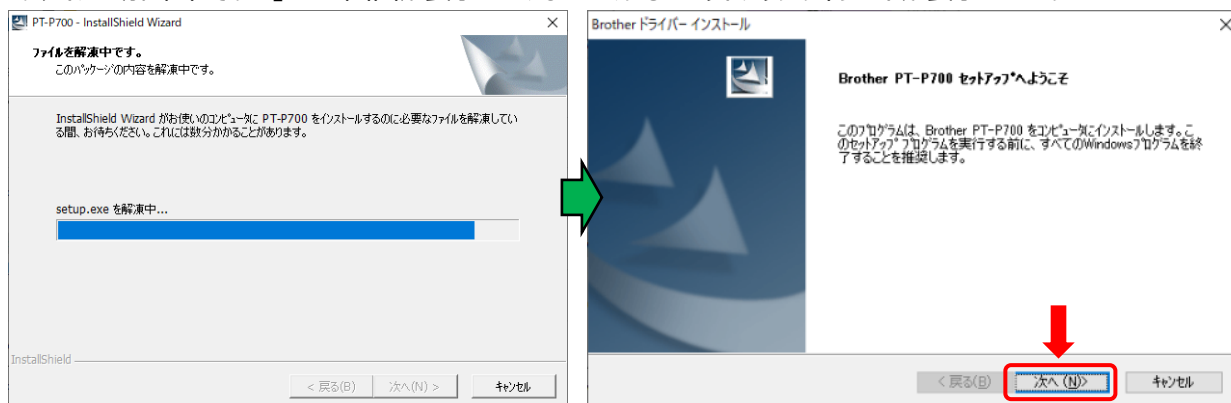
### 2.3.2. ラベルプリンターの設定

※注記) ラベルプリンターはオプション品となります。導入されるクリニック様設置時に設定してください。

対応機種：Brother 製ラベルプリンターPT-P700

- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥02.ドライバ」フォルダ内の「pdp70w721ajpn.exe」をダブルクリックします。

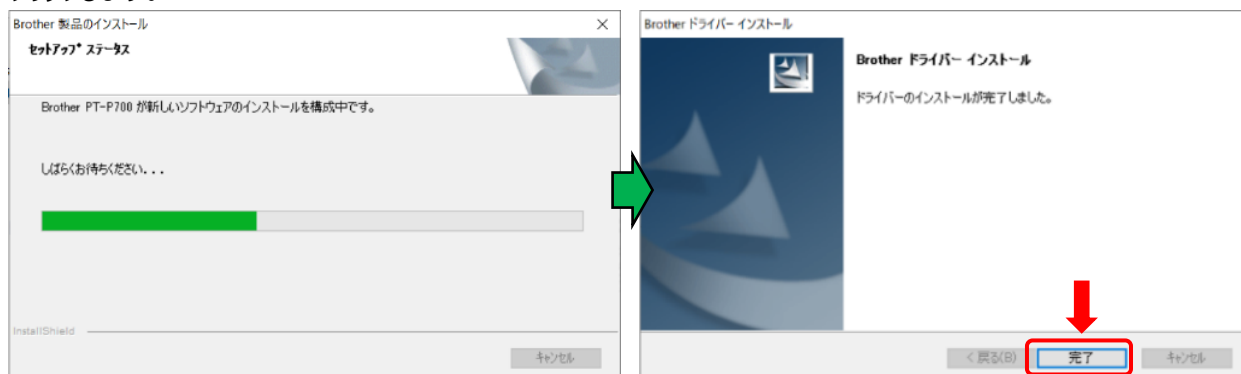
「ファイルを解凍中です。」という画面が表示され、しばらくするとセットアップウィザードが表示されます。



- 2) PC とプリンターを USB ケーブルにて接続し、プリンターの電源を入れてから「次へ」ボタンをクリックします。



- 3) セットアップステータス画面を表示され、ドライバのインストールが実行されます。インストール完了後、「完了」ボタンをクリックします。



## 2.4. 管理アプリインストール

- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥03.アプリケーション¥01.管理アプリ」フォルダ内の「Setup.exe」をダブルクリックします。

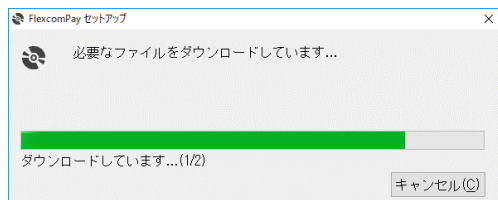
Flexcom Pay セットアップ画面が表示されたら、「同意する」ボタンをクリックします。

※Microsoft .NET Framework 4.8 のインストールから始まります。

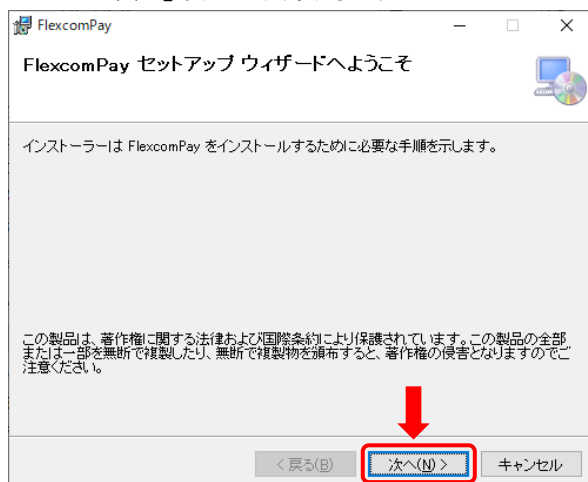


- 2) 必要なファイルのダウンロードが開始されます。

※既にインストール済みの場合はすぐに終わりますが、そうでない場合は、10～15 分程度かかります。

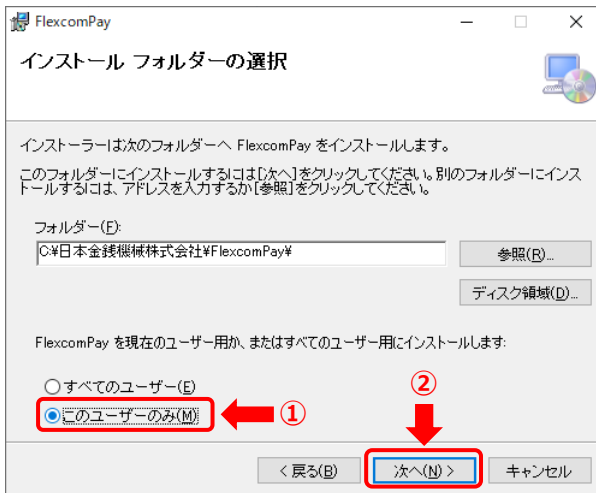


- 3) そのまま「次へ」ボタンをクリックします。

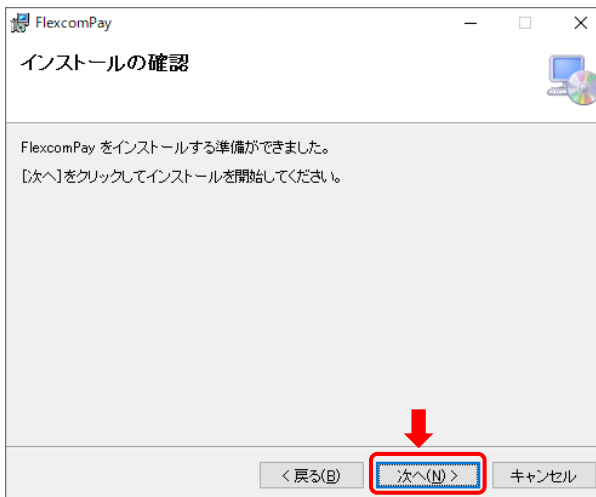




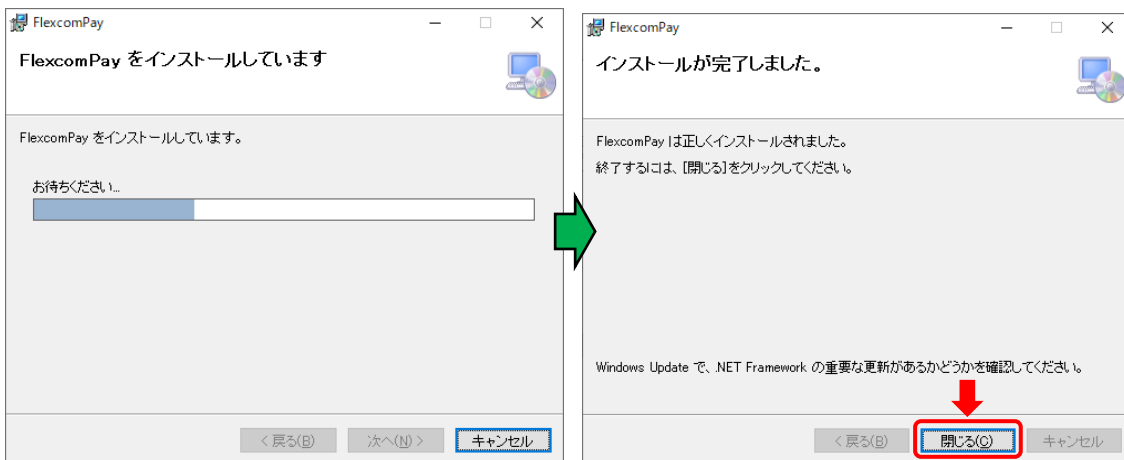
4) フォルダ選択画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



5) インストール確認画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



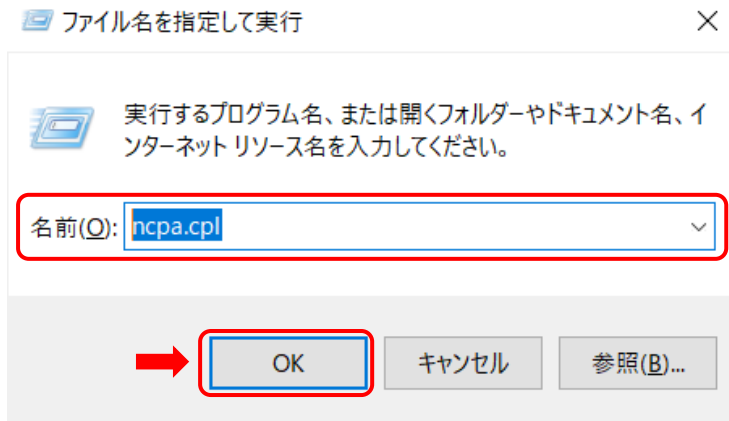
6) セットアップが自動的に進行し、インストール完了画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてセットアップを完了してください。



## 2.5. IP アドレス設定

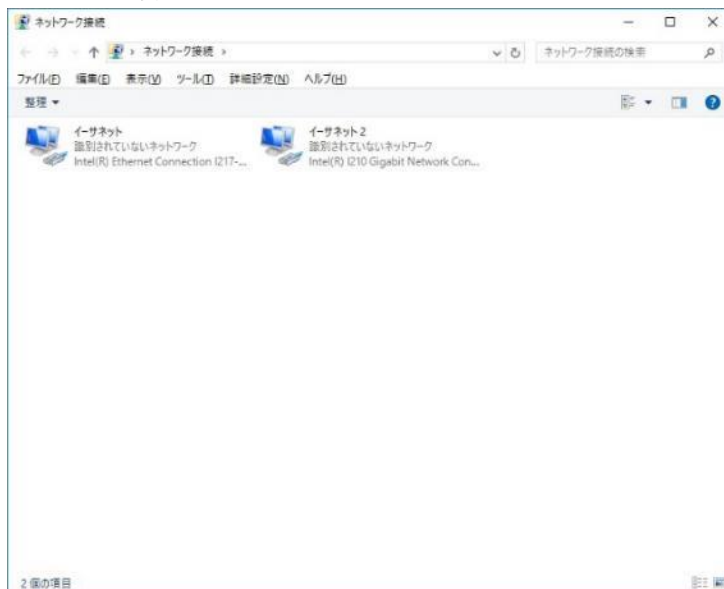
### 2.5.1. Flexcom Pay ネットワーク用 IP アドレスの設定

- 1) [windows]+[R]キーを押し、名前に「ncpa.cpl」と入力し、「OK」ボタンを押します。



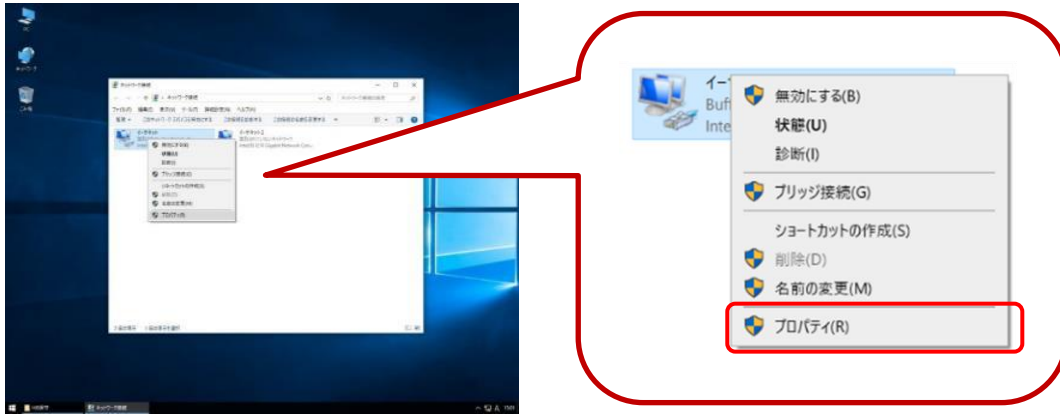
※Windowsの「設定」画面から「イーサネット」と検索し、該当内容を選択し、「アダプターのオプションを変更する」をクリックする事でも2項画面を出す事ができます。

- 2) ネットワーク接続画面が表示されます。



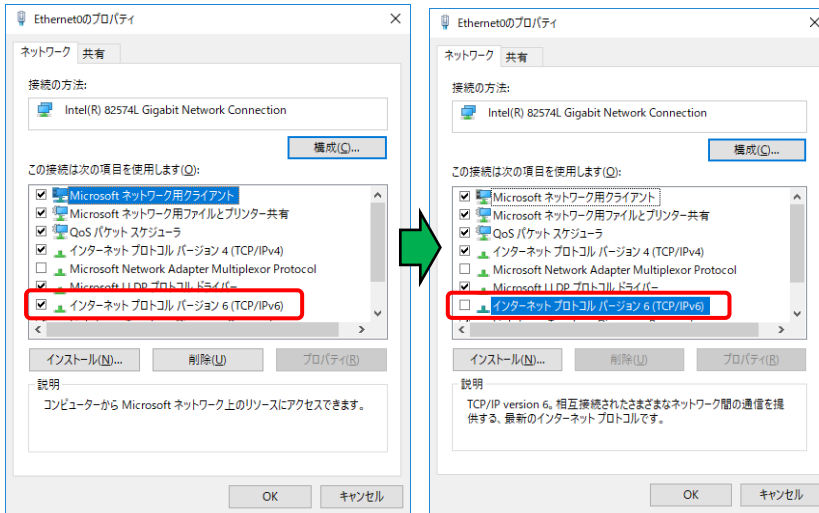
3) イーサネットの設定を変更します。

精算機と接続するアダプター（イーサネット）の設定を右クリックし、サブメニュー内の [プロパティ] をクリックします。



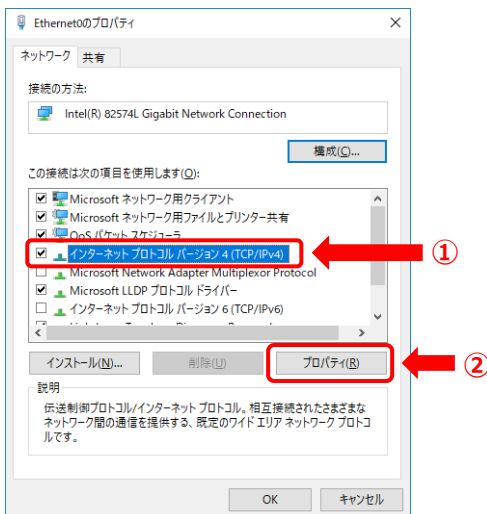
4) アダプターのプロパティ画面が表示されます。

[インターネット プロトコル バージョン 6 (TCP/IPv6)] 項目をチェックなしに変更してください。



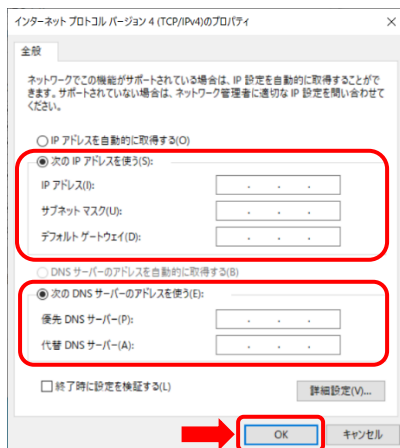
5) [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] 項目を選択（強調表示）し、

[プロパティ] ボタンをクリックします。



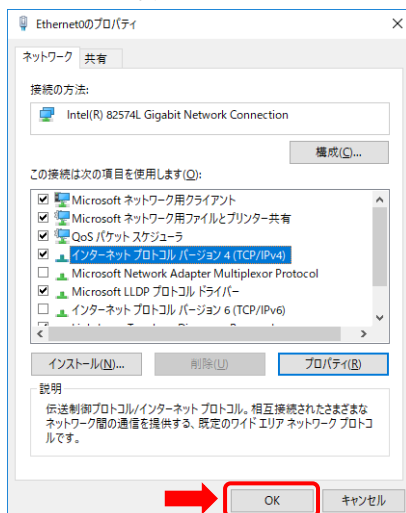
- 6) インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ 画面が表示されます。  
[次の IP アドレスを使う] ラジオボタンを選択し、以下の項目に設定を入力してください。  
自動精算機と管理アプリ PC を接続する為の IP アドレス設定です。  
「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」の IP アドレス確認表内の <FlexcomPay 管理アプリ側イーサネット IP> を参照の上、以下の項目を設定してください。

- IP アドレス
- サブネット マスク
- デフォルト ゲートウェイ
- 優先 DNS サーバー



入力後は、「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

- 7) アダプターのプロパティ画面に戻りますので、「OK」もしくは「閉じる」ボタンをクリックしてください。  
ネットワーク接続画面に戻ります。

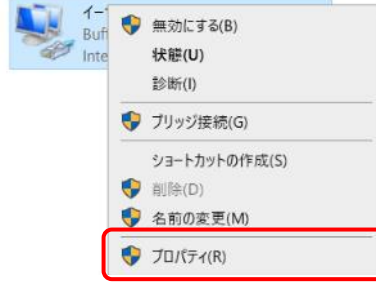
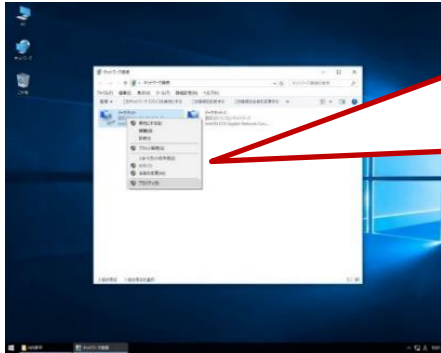


## 2.5.2. レセコン接続 IP アドレス設定

※注記) インフラ環境でレセコンネットワークに FlexcomPay を入れる場合 (typeA) は設定しません。

### 1) イーサネットの設定を変更します。

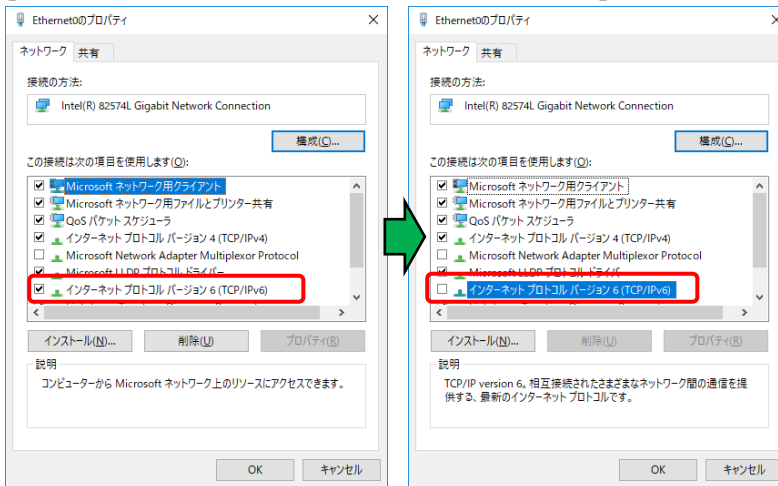
精算機と接続するアダプター (イーサネット) の設定を右クリックし、サブメニュー内の [プロパティ] をクリックします。



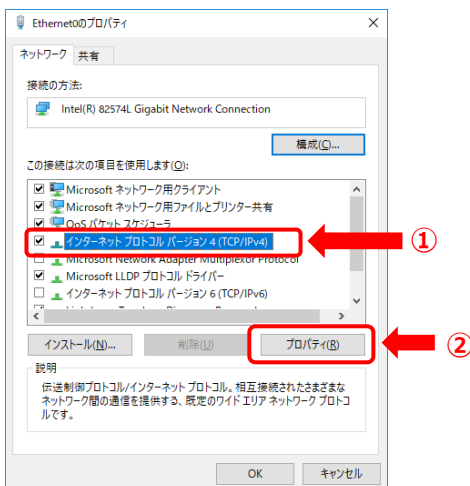
2.5.1 項とは別のイーサネットを選択する

### 2) アダプターのプロパティ画面が表示されます。

[インターネット プロトコル バージョン 6 (TCP/IPv6)] 項目をチェックなしに変更してください。

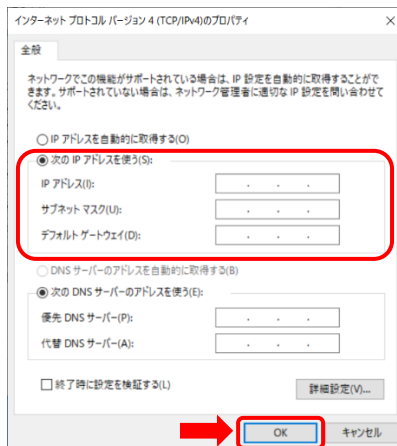


### 3) [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] 項目を選択 (強調表示) し【プロパティ】ボタンをクリックします。



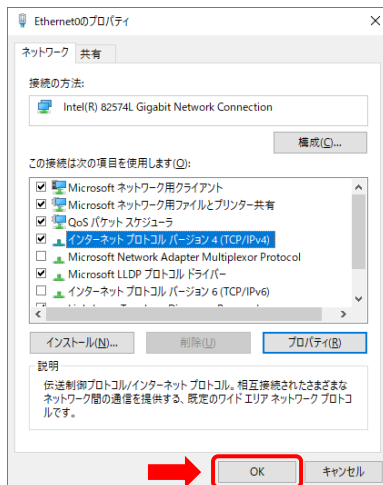
- 4) インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ 画面が表示されます。  
[次の IP アドレスを使う] ラジオボタンを選択し、以下の項目に設定を入力してください。  
「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」の IP アドレス確認表内の <レセコン側イーサネット IP> を参照の上、以下の項目を設定してください。

- IP アドレス
- サブネット マスク
- デフォルト ゲートウェイ



入力後は、「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

- 5) アダプターのプロパティ 画面に戻りますので、「OK」もしくは「閉じる」ボタンをクリックしてください。  
ネットワーク接続画面に戻ります。



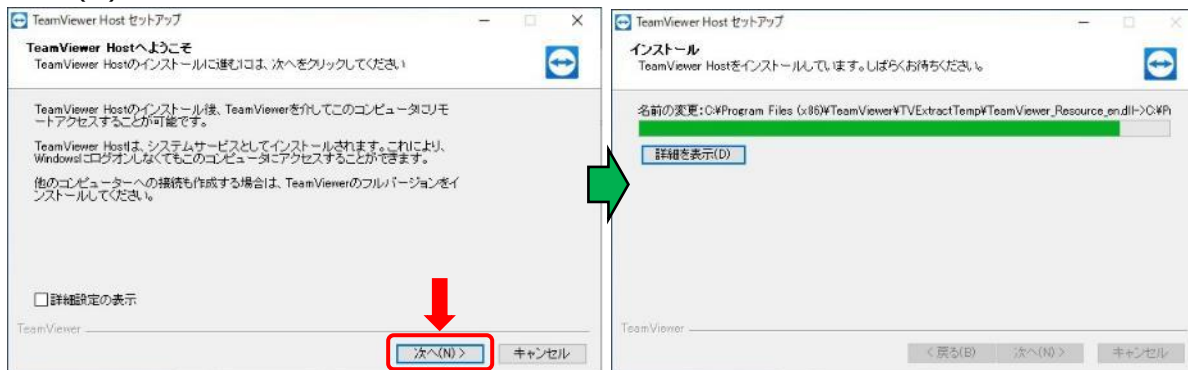
- 6) 右上「×」ボタンをクリックし、画面を閉じて設定完了です。

## 2.6. リモート設定

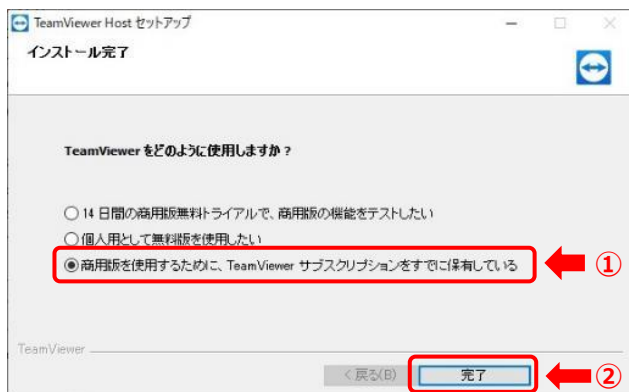
- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥04.ツール」フォルダ内の「TeamViewer\_Host\_Setup.exe」を実行します。

※ユーザーアカウント制御が求められる場合、【はい】をクリックしてください。

- 2) 「次へ(N)>」ボタンをクリックします。インストールがはじまります。



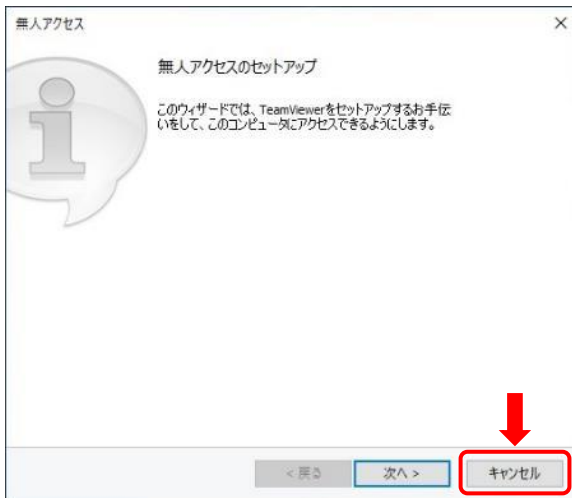
- 3) 「商用版を使用するために、TeamViewer サブスクリプションをすでに保有している」をチェックし、「完了」ボタンをクリックします。



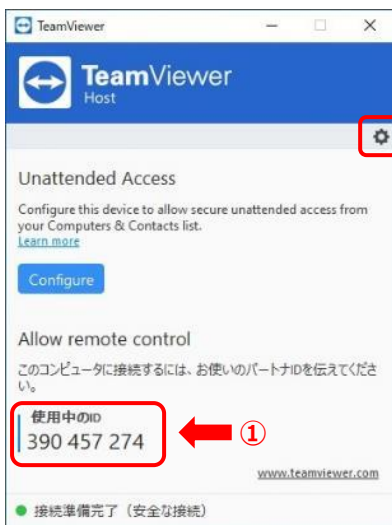
- 4) 「EULAとDPAに同意します。」をチェックし、「続行」ボタンをクリックします。



5) 無人アクセスのセットアップ画面が表示されたら、「キャンセル」ボタンをクリックして終了します。



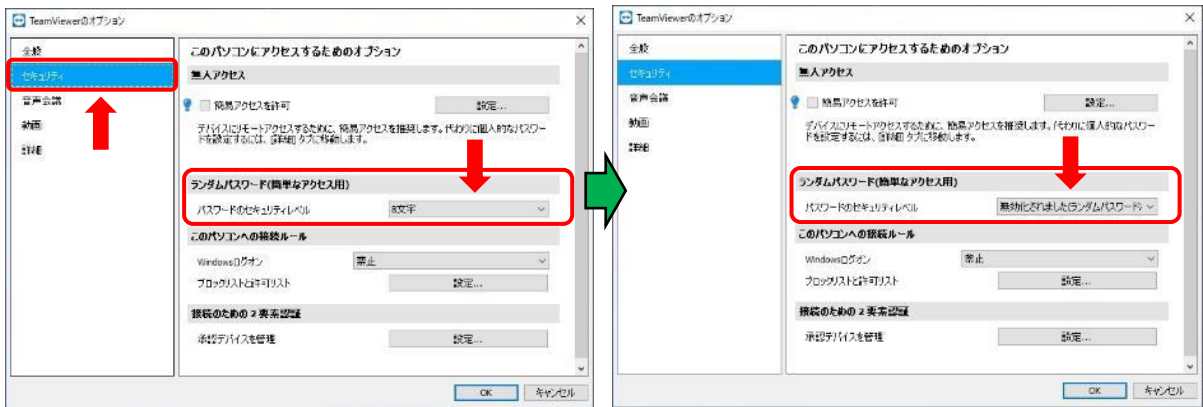
6) windows デスクトップ状態右下のアイコン群に「TeamViewer」が常駐起動している事を確認します。「TeamViewer」アイコンをダブルクリックし、「ステータスダイアログ」を表示させます。表示される ID 番号は、控えておきます。その後、右上の「⚙️」を選択します。



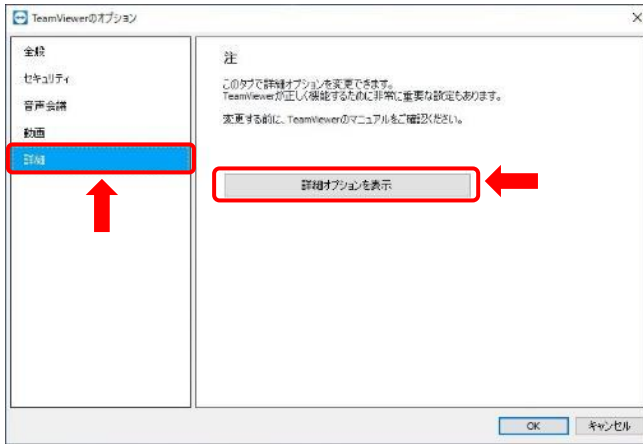
ID は端末毎に異なります。  
画面上的な数値は、イメージですので、  
設定端末で表示されている ID を控えるようにしてください。



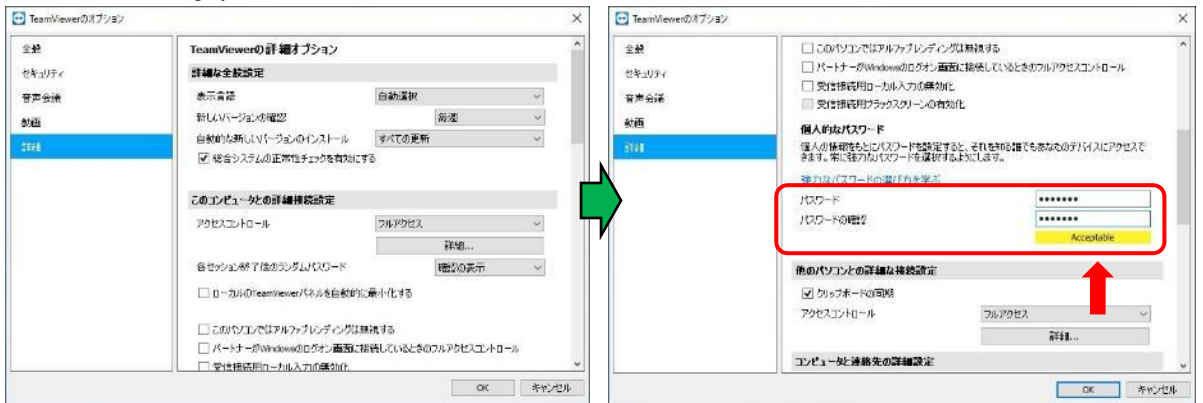
7) TeamViewer のオプション画面において、「セキュリティ」タブを選択し、パスワードのセキュリティレベルを「無効化されました(ランダムパスワードなし)」を選択します。



8) 「詳細」タブを選択し、「詳細オプションを表示」ボタンをクリックします。



9) TeamViewer の詳細オプション内の「このコンピュータとの詳細接続設定」の「個人的なパスワード」項目において、「パスワード」と「パスワードの確認」を入力します。入力したら、「OK」ボタンをクリックします。  
パスワード : Jcmjspe (はじめの J)のみ大文字、後は小文字) ※パスワードの確認も同じです。



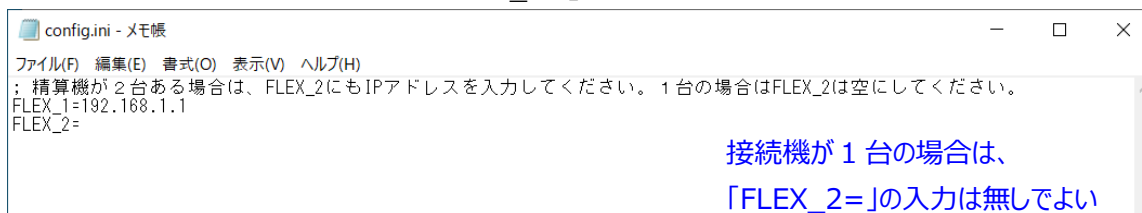
10) 「ステータスダイアログ」画面も右上の「×」ボタンを押して閉じます。

## 2.7. ファイアウォール設定と連携アカウント作成

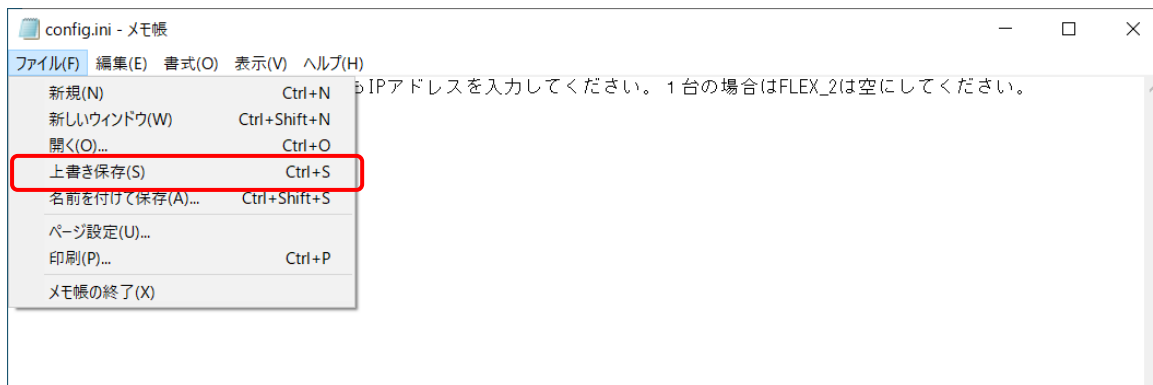
### 2.7.1. ファイアウォール設定

- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥04.ツール¥レセコン連携バッチ」フォルダ内の「config.ini」ファイルを右クリックし、「編集」ボタンをクリックします。  
2 行目の「FLEX\_1=」の後に IP アドレスが入力されている箇所を削除し、「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」にある自動精算機の IP アドレスを入力してください。

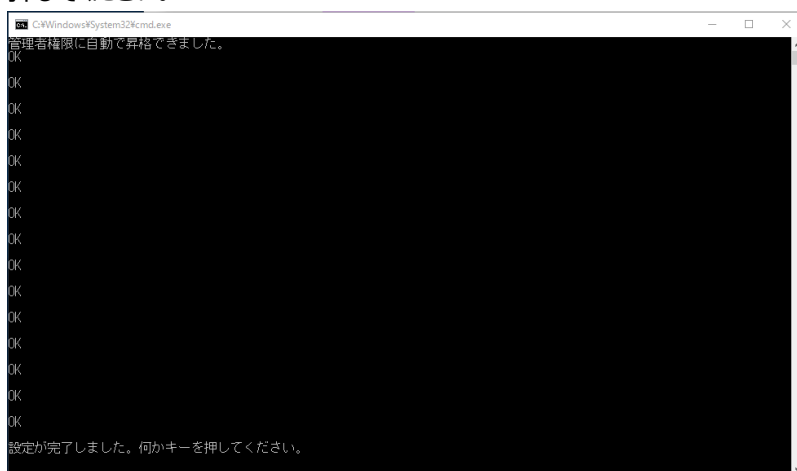
自動精算機を 2 台設置する場合は、「FLEX\_2=」の後に 2 台目の IP アドレスを入力してください。



- 2) 画面右上の「ファイル」をクリックし、「上書き保存」で変更内容を保存し、画面右上の「×」ボタンで閉じてください。



- 3) 同一フォルダ内にある「共通設定バッチ」をダブルクリックで実行してください。コマンドプロンプトが表示され、各処理が実行されます。「設定が完了しました。何かキーを押してください。」という文言が表示されますので、「Enter」キーを押してください。



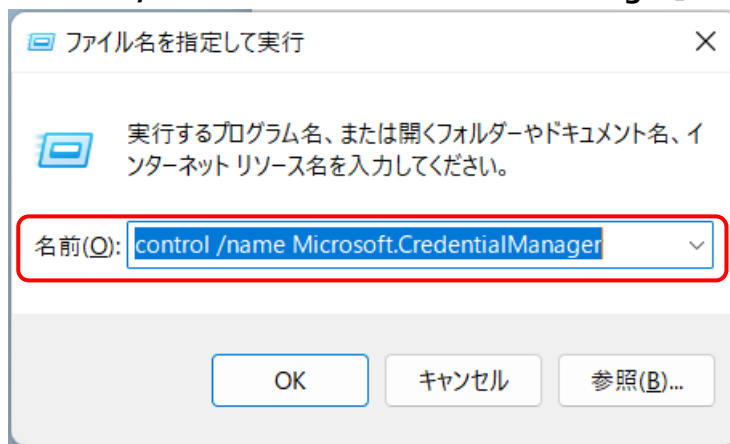
## 2.7.2. 連携アカウント設定

注記) レセコン連携が以下の接続の場合は、資格情報管理設定を行います。

レセコン名称	発売元
Medicom	PHC ホールディングス
HOPE SX/SX-S	富士通 Japan
AI・CLINIC	アイネット・システムズ
TOSMEC Aventy	エムスリーソリューションズ
Hi-SEED	富士フィルムヘルスケアシステムズ

- 1) [windows]+[R]キーを押し、以下の名前を入力し、「OK」ボタンを押します。

「control /name Microsoft.CredentialManager」



※Windows の「設定」画面から「資格情報マネージャー」と検索し、該当内容を選択する事でも6項画面を出す事ができます。

- 2) 「Windows 資格情報」の「Windows 資格情報の追加」を選択します。



- 3) 「インターネットまたはネットワークのアドレス」「ユーザー名」「パスワード」を入力します。  
 入力後、「OK」ボタンを押します。



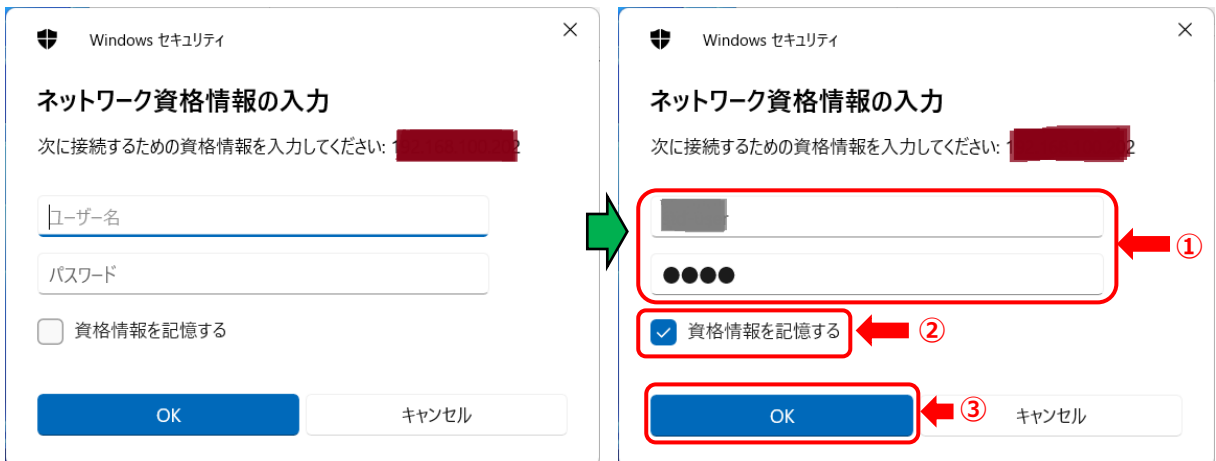
レセコン	インターネットまたはネットワークのアドレス	ユーザー名	パスワード
Medicom	192.168.100.95	mcsi	mcsi
HOPE SX/SX-S	ユーザー毎に確認(*)	WS001	WS001
AI・CLINIC	ユーザー毎に確認(*)	admin	ainet-00
TOSMEC Aventy	192.168.1.101	A00	無し
Hi-SEED	ユーザー毎に確認(*)	user	hs1357

\* : 「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」の連携コード確認表内の <連携・共有フォルダパス情報> を参照の上、¥¥~¥の間 (¥は含まず) の名称

※注記) 必要情報は、「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」資料の情報を優先して参照ください。

※注記) 資格情報設定前に、共有フォルダ参照した場合に、ネットワーク資格情報の入力を求められますが、その際の入力で設定しても同様に資格認証登録が可能です。

- 1) ユーザー名とパスワードを入力した後、「資格情報を記憶する」にチェックを入れて、「OK」ボタンを押します。



- 2) Windows 資格情報の管理 (2.7.2 項 2) で、入力情報が登録されている事を確認します。

## 2.8. 連携共有フォルダの作成

注記) ファイル連携で、且つ、管理アプリを導入する PC に共有フォルダを設けるレセコン連携が対象です。

レセコン名	発売元	共有フォルダ名	アカウント	参照
MAPs (*1)	EM システムズ	指定なし	指定なし	2.8.1 項
BrainBox	ユヤマ	指定なし	指定なし	2.8.2 項
SUPER CLINIC	ラボテック	指定あり	指定あり	2.8.3 項
Qualis(*2)	BML[ビー・エム・エル]	指定あり	指定あり	2.8.4 項
Flexcom Pay	日本金銭機械	指定なし	指定なし	2.8.5 項
M3Digikar	エムスリーデジタル	指定なし	指定なし	2.8.6 項

\*1 : MRN も同様の設定となります。 \*2 : メディカルステーションも同様の設定となります。

### 2.8.1. MAPs (EM システムズ) の設定

注記) MRN の場合も同様の作業を行います。

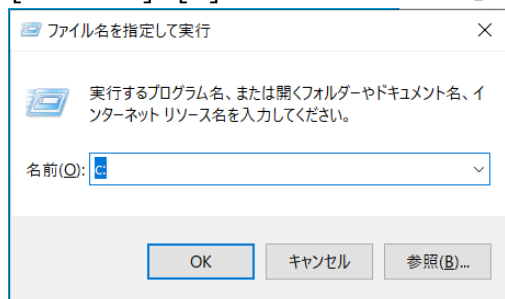
#### 1) 管理 PC に以下のアカウントを作成します。

※windows アカウント作成方法は、別紙「Flexcom Pay\_設定・操作関連マニュアル」を参照ください。

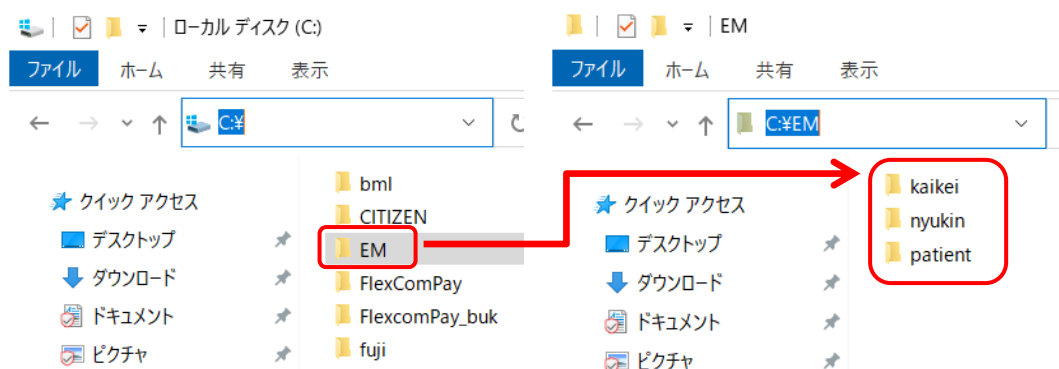
アカウント名 : jcm (すべて小文字)

パスワード : jcm (すべて小文字)

#### 2) [windows]+[R]キーを押し、名前に「c:」と入力し、「OK」ボタンを押します。



#### 3) Cドライブ直下に「EM」(全て大文字)フォルダを作成し、そのフォルダ内に「kaikai」(全て小文字)、「nyukin」(全て小文字)、「patient」(全て小文字)の3つのフォルダを作成します。



フォルダは、右クリックから「新規作成」→「フォルダ」を選択し、必要名称を入力します。

- 4) フォルダ作成後、「EM」フォルダを右クリックし、プロパティを開き、「共有」タブを選択します。  
「ネットワークのファイルとフォルダーの共有」部分における「共有」をクリックします。



- 5) 共有する相手をダウリストから「everyone」を選択し、「共有」をクリックします。  
「ユーザーのフォルダは共有されています。」の画面で対象フォルダが共有されている情報が表示されている事を確認し、「終了」をクリックします。先に開いているプロパティ画面は、「OK」で終了します。



## 2.8.2. BrainBox (ユヤマ) の設定

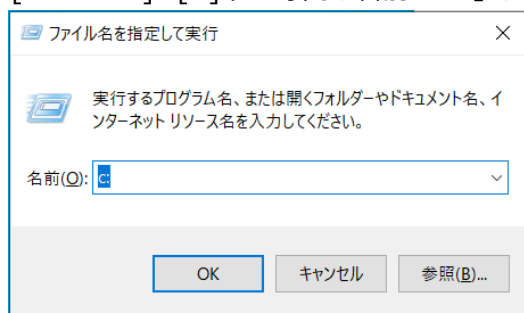
- 1) 管理 PC に以下のアカウントを作成します。

※windows アカウント作成方法は、別紙「Flexcom Pay\_設定・操作関連マニュアル」を参照ください。

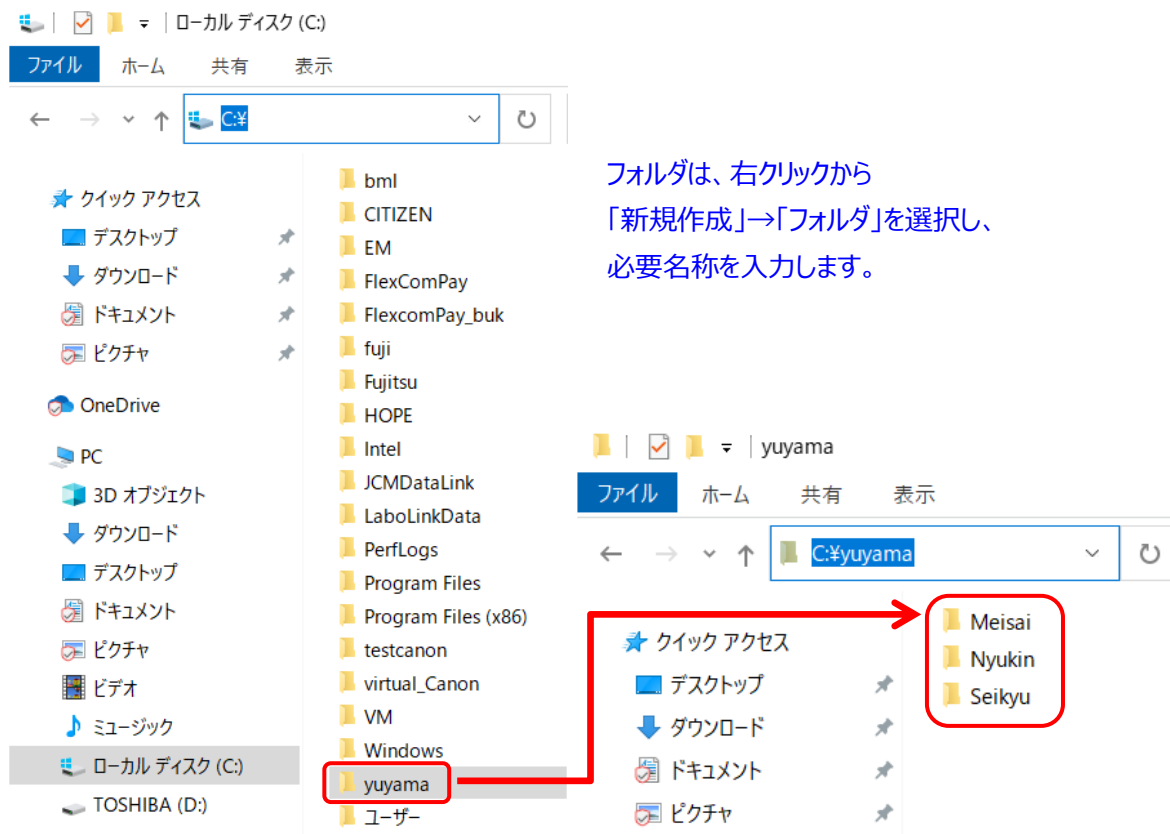
アカウント名 : jcm (すべて小文字)

パスワード : jcm (すべて小文字)

- 2) [windows]+[R]キーを押し、名前に「c:」と入力し、「OK」ボタンを押します。



- 3) Cドライブ直下に「yuyama」(全て小文字)フォルダを作成し、そのフォルダ内に「Meisai」(先頭のみ大文字)、「Nyukin」(先頭のみ大文字)、「Seikyu」(先頭のみ大文字)の3つのフォルダを作成します。



- 4) フォルダ作成後、「yuyama」フォルダを共有化します。※2.8.1 項 4) ~5)の手順と同じように行います。

### 2.8.3. SUPER CLINIC（ラボテック）の設定

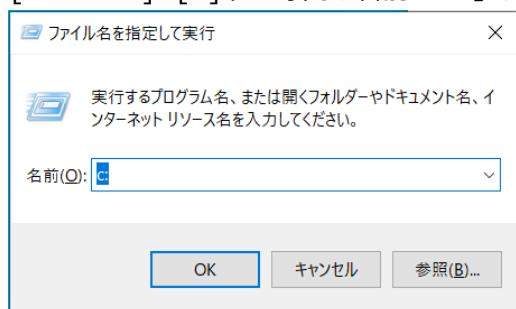
1) 管理 PC に以下のアカウントを作成します。

※windows アカウント作成方法は、別紙「Flexcom Pay\_設定・操作関連マニュアル」を参照ください。

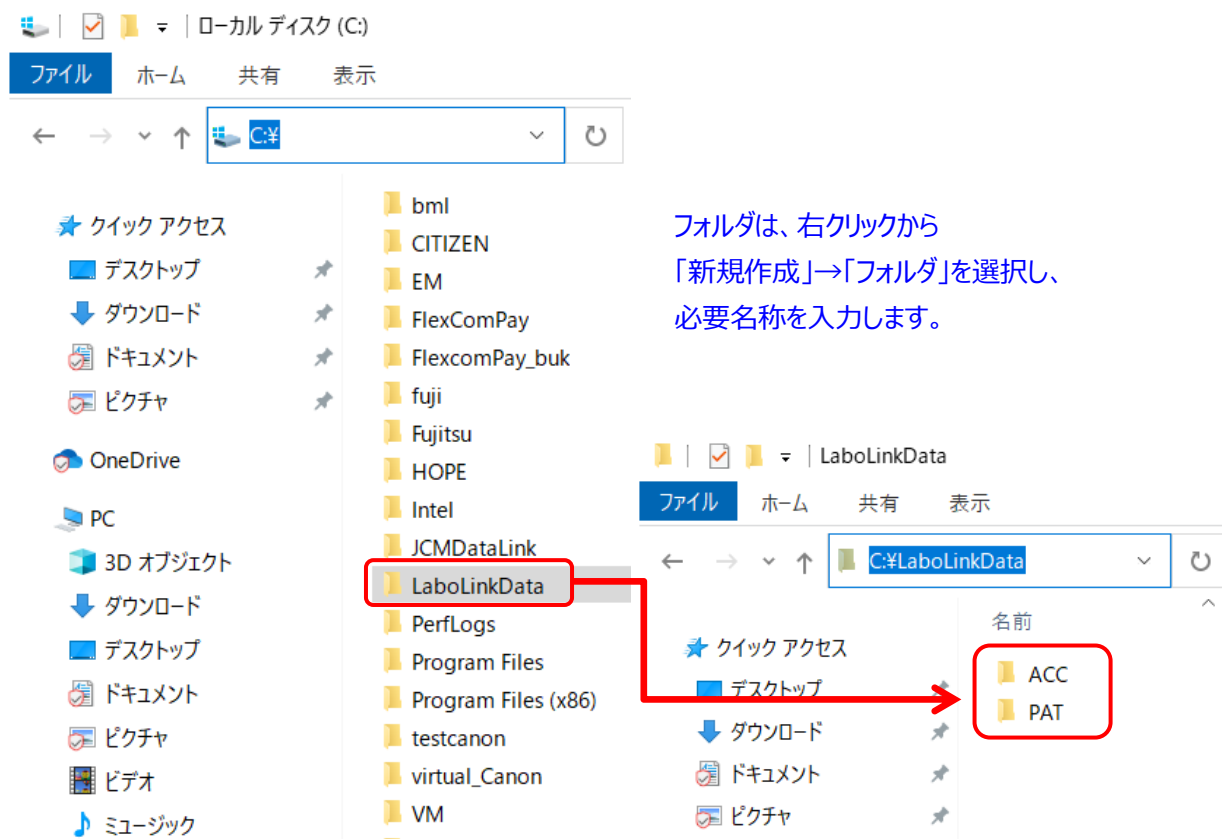
アカウント名：sclink（すべて小文字）

パスワード：link（すべて小文字）

2) [windows]+[R]キーを押し、名前に「c:」と入力し、「OK」ボタンを押します。



3) Cドライブ直下に「LaboLinkData」(L/L/D が大文字)フォルダを作成し、そのフォルダ内に「ACC」(全て大文字)、「PAT」(全て大文字)の2つのフォルダを作成します。



4) フォルダ作成後、「LaboLinkData」フォルダを共有化します。※2.8.1 項 4) ～5)の手順と同じように行います。



## 2.8.4. Qualis (BML[ビー・エム・エル]) の設定

注記) メディカルステーションの場合も同様の作業を行います。

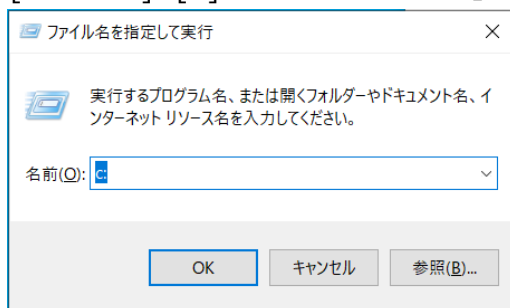
- 1) 管理 PC に以下のアカウントを作成します。

※windows アカウント作成方法は、別紙「Flexcom Pay\_設定・操作関連マニュアル」を参照ください。

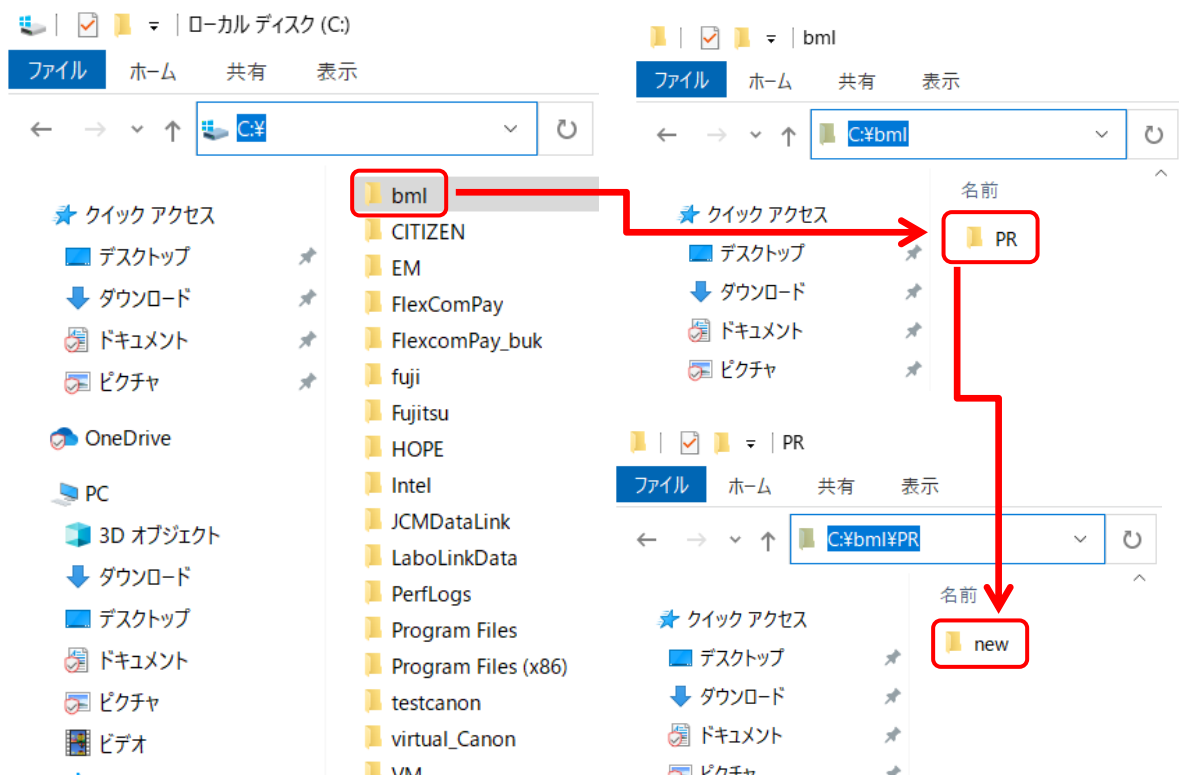
アカウント名 : karteuser (すべて小文字)

パスワード : karteuser (すべて小文字)

- 2) [windows]+[R]キーを押し、名前に「c:」と入力し、「OK」ボタンを押します。



- 3) Cドライブ直下に「bml」(全て小文字)フォルダを作成し、そのフォルダ内に「PR」(全て大文字)フォルダを作成し、さらにそのフォルダ内に「new」(全て小文字)フォルダを作成します。



フォルダは、右クリックから「新規作成」→「フォルダ」を選択し、必要名称を入力します。

- 4) フォルダ作成後、「bml」フォルダを共有化します。※2.8.1 項 4) ~5)の手順と同じように行います。

## 2.8.5. Flexcom Pay（日本金銭機械）の設定

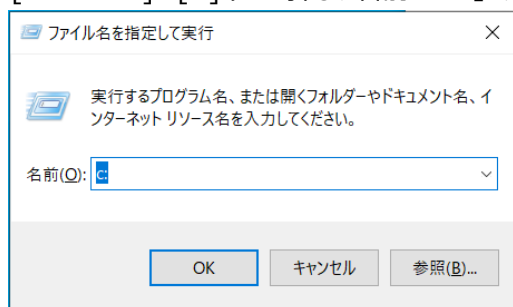
- 1) 管理 PC に以下のアカウントを作成します。

※windows アカウント作成方法は、別紙「Flexcom Pay\_設定・操作関連マニュアル」を参照ください。

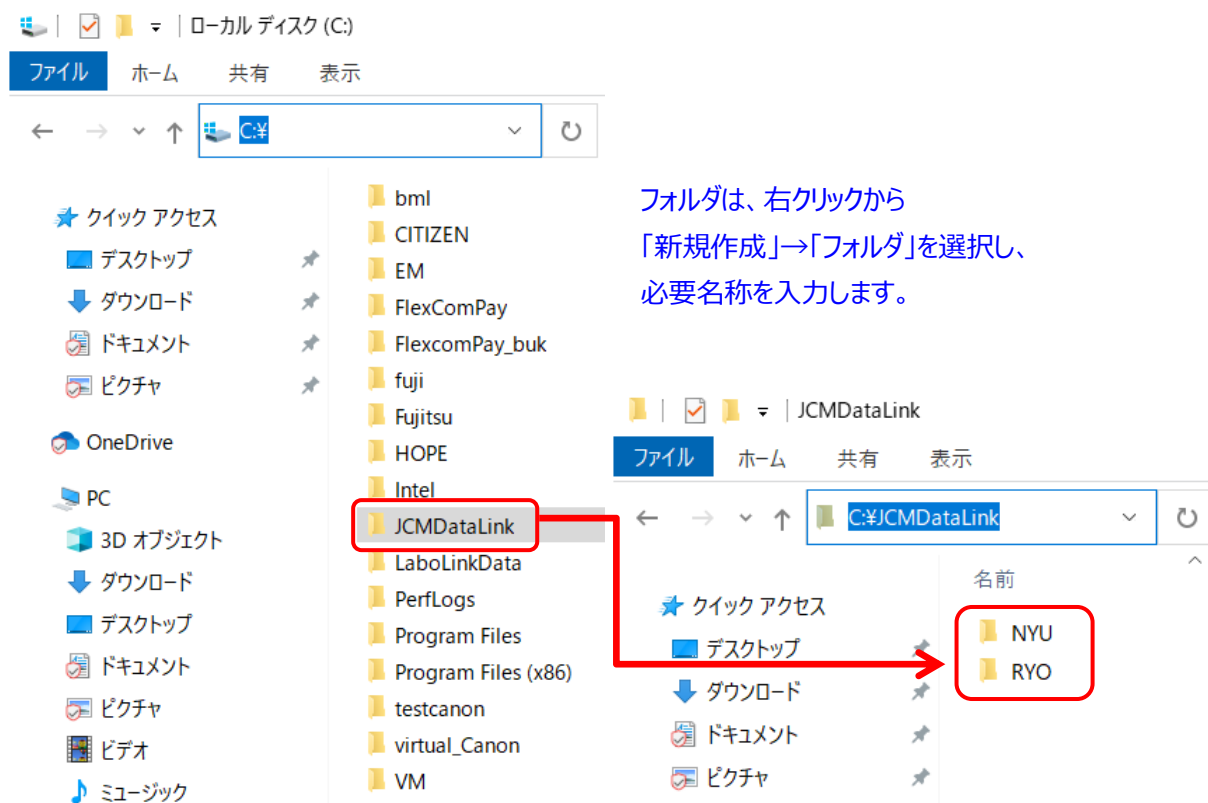
アカウント名：jcm（すべて小文字）

パスワード：jcm（すべて小文字）

- 2) [windows]+[R]キーを押し、名前に「c:」と入力し、「OK」ボタンを押します。



- 3) Cドライブ直下に「**JCMDDataLink**」(JCM/D/Lが大文字)フォルダを作成し、そのフォルダ内に「**NYU**」(全て大文字)、「**RYO**」(全て大文字)の2つのフォルダを作成します。



- 4) フォルダ作成後、「JCMDDataLink」フォルダを共有化します。※2.8.1 項 4) ～5)の手順と同じように行います。

## 2.8.6. M3Digikar (エムスリーデジタル) の設定

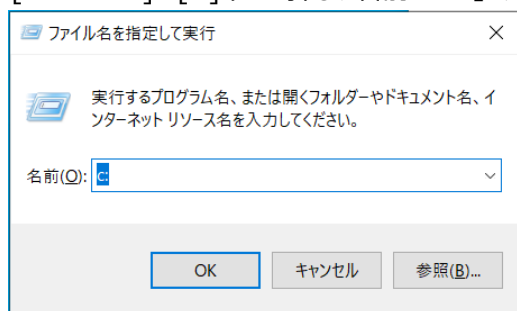
- 1) 管理 PC に以下のアカウントを作成します。

※windows アカウント作成方法は、別紙「Flexcom Pay\_設定・操作関連マニュアル」を参照ください。

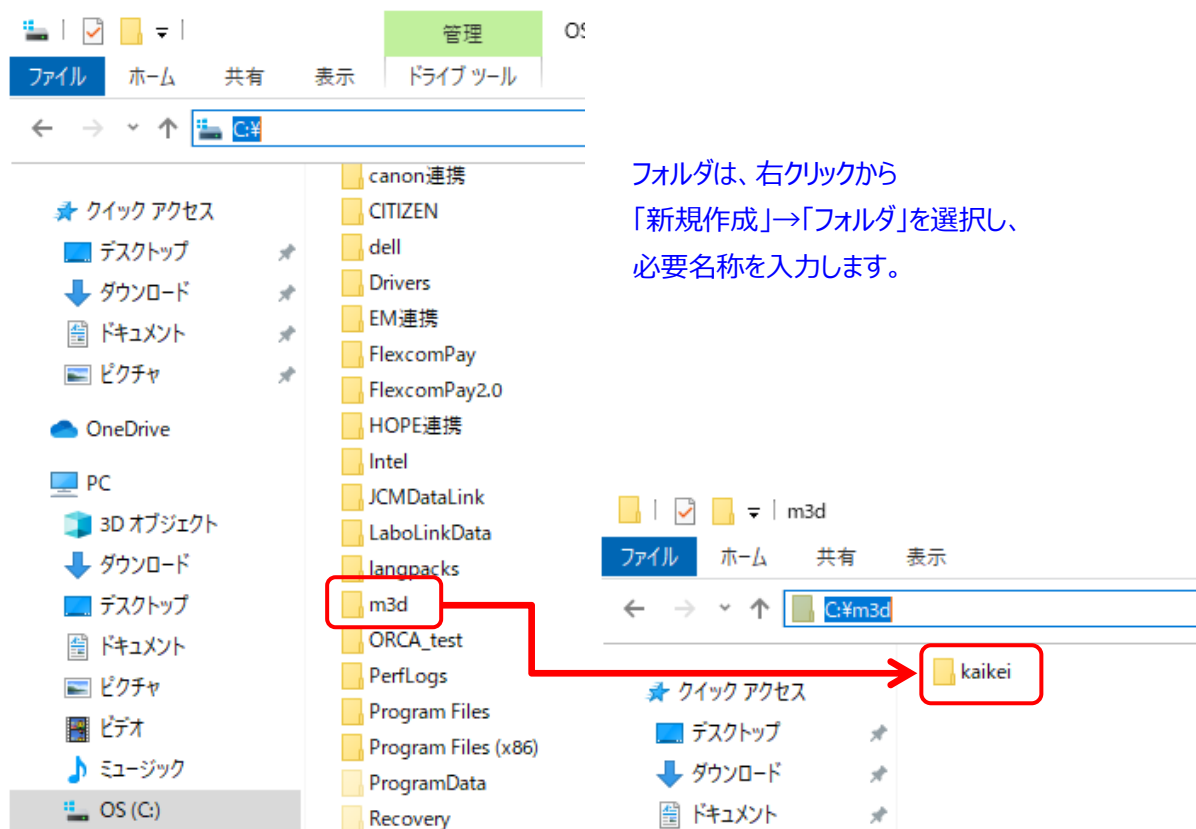
アカウント名 : jcm (すべて小文字)

パスワード : jcm (すべて小文字)

- 2) [windows]+[R]キーを押し、名前に「c:」と入力し、「OK」ボタンを押します。



- 3) Cドライブ直下に「m3d」(全て小文字)フォルダを作成し、そのフォルダ内に「kaikai」(全て小文字)フォルダを作成します。



- 4) フォルダ作成後、「m3d」フォルダを共有化します。※2.8.1 項 4) ~5)の手順と同じように行います。

## 2.9. 管理アプリの各種設定

### 2.9.1. 医療機関情報の登録

- 1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「医療機関情報」タブを選択します。
- 2) 「医療機関コード」「法人名」「医療機関名称」「所在地」「電話番号」「FAX 番号」を入力します。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 **医療機関情報** バージョン情報

医療機関コード 1234567

法人名 医療法人 ○○○○会

医療機関名称 □□□□医院

所在地 〒 000-0000  
○○市○○区○○○○○○一丁目二番三号  
△△△△△△ビル1階

電話番号 000-000-0001

FAX番号 000-000-0010

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における◆クリニック様の情報を参照します。

クリニック様名称 ⇒ 医療機関名称

住所 ⇒ 所在地

TEL ⇒ 電話番号

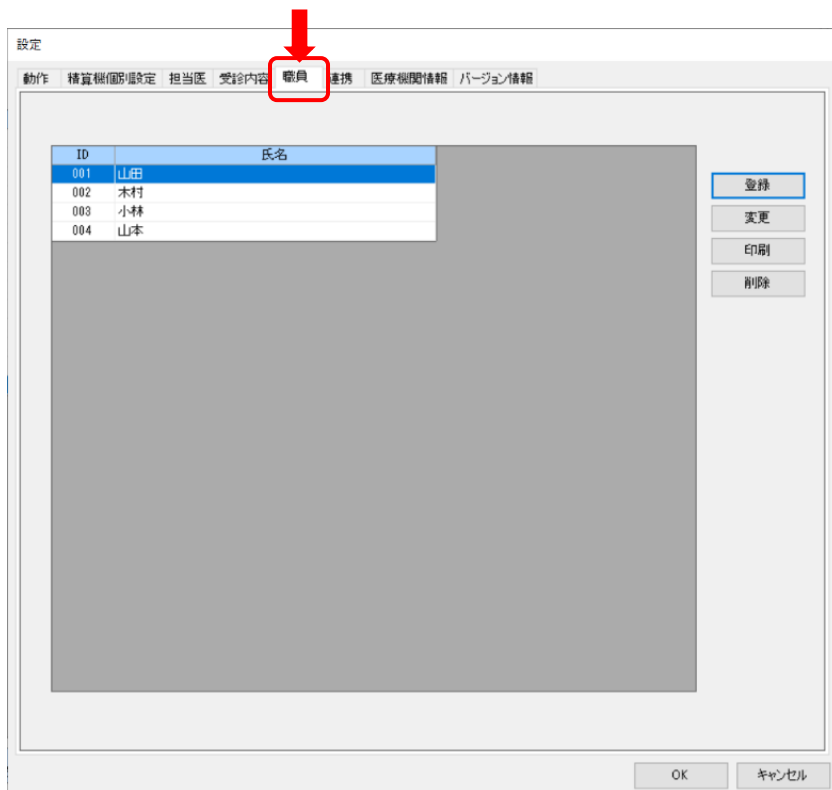
※注記) 「医療機関コード」「法人名」「FAX 番号」は、不明な場合、空欄でも問題ありません。

これ以外は入力が必要です。

※注記) ここで登録される情報は、精算機待機画面及び領収書に反映されます。

## 2.9.2. 職員の登録

1) 設定画面の「職員」タブを選択する。



2) 「登録」ボタンを選択し、「職員 ID」、「氏名」、「パスワード」を入力して「OK」ボタンを押します。  
登録する職員分だけこれを繰り返し行います。

登録

職員ID 999

氏名 保守

パスワード ●●●●●●●●

確認 ●●●●●●●●

OK キャンセル

※注記) 職員パスワードは、運用上入力が必要になります。クリニック様にパスワードを決めてもらう必要があります。

※保守用として、[職員 ID : 999]、[氏名 : 保守]、[パスワード : 999999]を 1 つ作成しておきます。  
登録した職員 1 名のバーコードは 1 枚印字します。精算機の設定項目にて必要になります。

### 2.9.3. レセコン連携の設定

注記) 連携するレセコンによって設定内容が異なります。

連携するレセコンは、「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」資料及び導入先様に確認してください。

	レセコン名称	発売元	連携方式
①	Medicom	PHC ホールディングス	通信 + ファイル
②	ORCA	日本医師会 ORCA 管理機構	通信
③	HOPE SX/SX-S	富士通 Japan	ファイル
④	AI・CLINIC	アイネット・システムズ	ファイル
⑤	TOSMEC Aventy	エムスリーソリューションズ	通信 + ファイル
⑥	CLINICS	メドレー	通信
⑦	MAPs (*1)	EM システムズ	ファイル
⑧	BrainBox	湯山[ユヤマ]製作所	ファイル
⑨	SUPER CLINIC	ラボテック	ファイル
⑩	Hi-SEED	富士フィルムヘルスケアシステムズ	ファイル
⑪	Qualis (*2)	BML[ビー・エム・エル]	ファイル
⑫	Flexcom Pay	日本金銭機械	ファイル
⑬	M3Digikar	エムスリーデジタル	ファイル

\*1 : MRN も同様の設定となります。 \*2 : メディカルステーションも同様の設定となります

## ①Medicom (PHC) の連携設定

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「Medicom (PHC)」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■ 頭書情報利用システム

レセコン側 IP アドレス、ポート番号情報を入力します。データ区分はそのまま変更しません。

### ■ 再来受付システム

受付連携をする共有フォルダ先と診療科コードを入力し、受付番号種別を選択します。(総合以外の診療科は、[科毎]にチェックを入れます。)

※受付連携しない場合は、設定しません。(デフォルト情報のまま変更しません。)

### ■ 窓口自動精算機連携

レセコン側 IP アドレス、ポート番号を入力します。

請求情報問い合わせ間隔は 30 秒のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム Medicom (PHC)

Medicom (PHC) 連携 共通

■ 頭書情報利用システム

IPアドレス 192.168.100.95

ポート番号 9031

データ区分 標準

■ 再来受付システム

受付連携  する  しない

共有フォルダ名 ¥¥mc¥public

診療科コード 001

受付番号種別  総合  科毎

■ 窓口自動精算機連携

IPアドレス 192.168.100.95

ポート番号 9151

請求情報問い合わせ間隔 30 秒

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

各項目名称欄をダブルクリックし、該当名称を入力します。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

※使用しない支払種別は空欄にしておいても問題ありません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム Medicom (PHC)

Medicom (PHC) 連携 **共通**

■ 領書情報利用:

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。



## ②ORCA（日医）の連携設定

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「ORCA（日医）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

※必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料を参照します。

### ■接続情報

◎サーバ URL を入力します。

※ex) [https://●●●.●●●.●●●.●●●:□□□□/...]がサーバURL であれば、設定入力情報は、[https://●●●.●●●.●●●.●●●]を入力します。

◎ポート番号は「8000」を入力します。（変更がある場合は、該当ポート番号を入力します。）

◎ベーシック認証ユーザは、「FlexcomPay」（FとPは半角大文字、残りは半角小文字）を入力します。（別指定がある場合は、指定されたユーザを入力します。）

◎ベーシック認証パスワードは、「FlexcomPay」（FとPは半角大文字、残りは半角小文字）を入力します。（別指定がある場合は、指定されたパスワードを入力します。）

◎SSL クライアント認証は、「使用しない」をチェックします。

※SSL クライアント認証を使用する場合、「使用する」にチェックし、証明書ファイル名（拡張子まで含める）と認証書パスワードを入力します。証明書ファイル（XXXX\_JP\_orca\_userX.p12）を「C:¥日本金銭機械株式会社¥FlexcomPay」内にコピーします。

### ■受付情報

受付連携する場合、「する」にチェックし、診療コードを入力します。（診療コード設定は、「01」のみ）

受付連携しない（診察券運用）場合、「しない」にチェックします。

### ■窓口自動精算機連携

請求情報問い合わせ間隔は、「30 秒」のまま変更しません。

### ■請求情報

0 円請求は、「する」にチェックします。（0 円請求を連携しない場合は、「しない」を選択します）

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム ORCA <日医>

ORCA <日医> 連携 共通

■接続情報

サーバURL

ポート番号 8000

ベーシック認証ユーザ FlexcomPay

ベーシック認証パスワード

SSLクライアント認証  使用する  使用しない

証明書ファイル名

証明書パスワード

■受付情報

受付連携  する  しない

診療科コード 00

■窓口自動精算機連携

請求情報問い合わせ間隔 30 秒

■請求情報

OF請求  する  しない

OK キャンセル

注釈) オンプレミス型 ORCA にて管理アプリ Ver2.X.X から Ver3.X.X 以上にバージョンアップした場合、サーバ URL の再設定が必要になります。

※バージョンアップ時 DB 設定情報を引継ぎますが、参照先が変わる為以下の作業を行います。

Ex) IP アドレス欄に「●●●.●●●.●●●.●●●」記載されているアドレスをサーバ URL 欄に「http://●●●.●●●.●●●.●●●」として入力。

ベーシック認証パスワードに「FlexcomPay」（F と P は半角大文字、残りは半角小文字）入力。

■接続情報	システムタイプ	<input checked="" type="radio"/> オンプレミス版 <input type="radio"/> クラウド版
	IPアドレス	●●●.●●●.●●●.●●●
	サーバURL	<input type="text"/>
	ベーシック認証パスワード	<input type="text"/>
	ポート番号	8000

↓

■接続情報	サーバURL	http://●●●.●●●.●●●.●●●
	ポート番号	8000
	ベーシック認証ユーザ	FlexcomPay
	ベーシック認証パスワード	FlexcomPay

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

ORCA は自費項目名称登録を行いません。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

※使用しない支払種別は空欄にしておいても問題ありません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム ORCA (日医)

ORCA (日医) 連携 **共通**

■ 接続情報

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

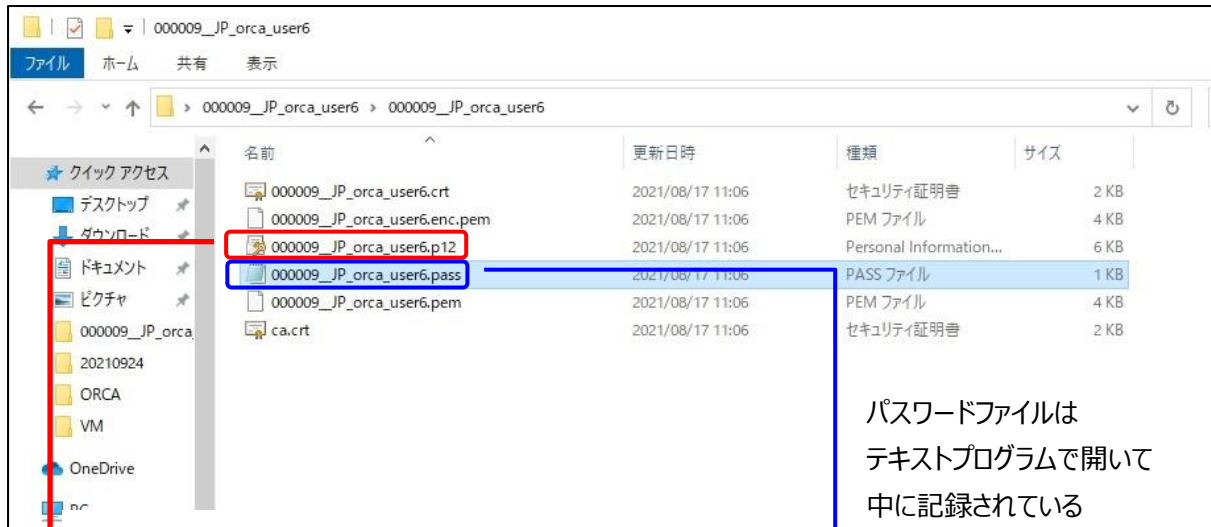
■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

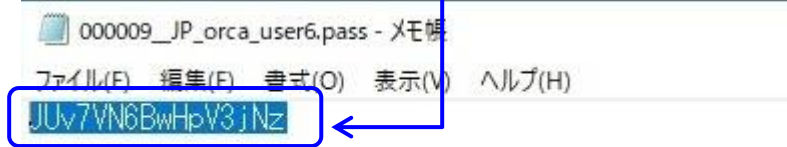
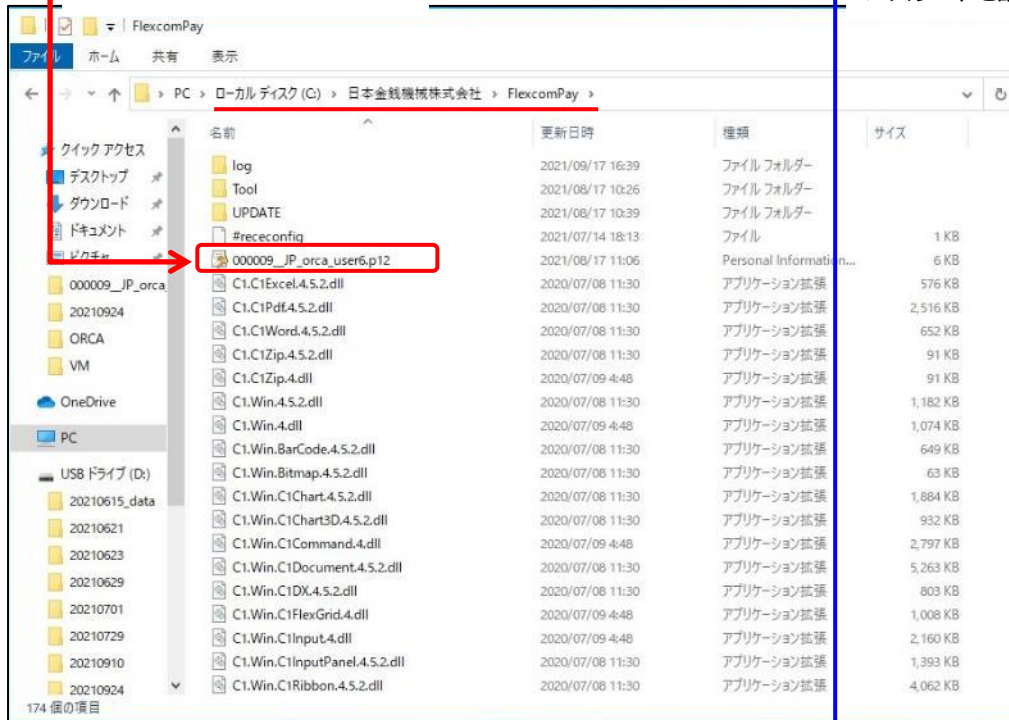
※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。

※注記) ORCA SSL クライアント認証について、該当ファイルとパスワードが必要です。ORCA から SSL クライアント認証にかかわるフォルダ一式を取得し、フォルダ内の該当ファイルを参照してください。



該当ファイルをコピーする

パスワードファイルは  
テキストプログラムで開いて  
中に記録されている  
パスワードを設定に入力する



※添付の画像は、説明用です。ファイル名やパスワードは取得したファイルを参照してください。

### ③HOPE SX/SX-S（富士通）の連携設定

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「HOPE SX-S（富士通）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

#### ■連携フォルダ

「患者属性」、「請求・明細情報」、「入金情報」の共有フォルダ先を入力します。

#### ■連携ファイル

確認間隔は、30 秒のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム HOPE SX-S 〈富士通〉

HOPE SX-S 〈富士通〉 連携 共通

■連携フォルダ	患者属性	##HopeWkanjyaRenkei
	請求・明細情報	##HopeSeikyuuRenkei
	入金情報	##HopeNyuukinRenkei
■連携ファイル	確認間隔	30 秒

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

各項目名称欄をダブルクリックし、該当名称を入力します。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

※使用しない支払種別は空欄にしても問題ありません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム HOPE SX-S <富士通>

HOPE SX-S <富士通> 連携 共通

■ 連携フォルダ

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。

#### ④AI・CLINIC（アイネット・システムズ）の連携設定

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「AI-CLINIC（アイネットシステムズ）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

##### ■連携フォルダ

「患者属性」、「請求・明細情報」、「入金情報」の共有フォルダ先を入力します。

##### ■連携ファイル

確認間隔は、30 秒のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム AI-CLINIC（アイネットシステムズ）

AI-CLINIC（アイネットシステムズ）連携 共通

■連携フォルダ	患者属性	%%AIclinic%KanjyaRenkei
	請求・明細情報	%%AIclinic%SeikyuuRenkei
	入金情報	%%AIclinic%NyuuKinRenkei

■連携ファイル

確認間隔	30 秒
------	------

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

AI-CLINIC は自費項目名称登録を行いません。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

※使用しない支払種別は空欄にしておいても問題ありません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム AI-CLINIC (アイネットシステムズ)

AI-CLINIC (アイネットシステムズ) 連携 **共通**

■ 連携フォルダ

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。



## ⑤TOSMEC Aventy（エムスリーソリューションズ）の連携設定

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「TOSMEC Aventy（エムスリーソリューションズ）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■ 接続情報

レセコン側 IP アドレス、ポート番号情報、連携フォルダ先を入力します。

### ■ 連携ファイル

確認間隔は、30 秒のまま変更しません。

### ■ 明細区分

各明細種別に対応した明細番号を入力します。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム TOSMEC Aventy (エムスリーソリューションズ) ▼

TOSMEC Aventy (エムスリーソリューションズ) 連携 共通

■ 接続情報

IPアドレス 192.168.1.101

ポート番号 8975

連携フォルダ名 %Tosmec%Data

■ 連携ファイル

確認間隔 30 秒

■ 明細区分

明細種別	明細番号
初・再診料	1
医学管理	2
在宅医療	3
投薬	4
注射	5
処置	6
手術	7
麻酔	8
検査	9
画像	10
リハビリテーション	11
精神科専門療法	12
放射線治療	13
病理診断	14
療養担当手当	15

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

各項目名称欄をダブルクリックし、該当名称を入力します。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

現金 ⇒ [0]、クレジットカード ⇒ [2]、電子マネー ⇒ [5]、コード決済 ⇒ [4] となります。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム TOSMEC Aventy (エムスリーソリューションズ) ▼

TOSMEC Aventy (エムスリーソリューションズ) 連携 **共通** ←

■ 自費項目名称

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。

## ⑥CLINICS（メドレー）の連携設定

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「CLINICS（メドレー）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■接続情報

レセコン側 IP アドレス、ポート番号を入力します。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム CLINICS（メドレー）

CLINICS（メドレー） 連携 共通

■接続情報

IPアドレス	192.168.1.200
ポート番号	8000

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

各項目名称欄をダブルクリックし、該当名称を入力します。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

※使用しない支払種別は空欄にしても問題ありません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム CLINICS (モデル)

CLINICS (モデル) 連携 **共通**

■ 接続情報

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。

## ⑦MAPs（EM システムズ）の連携設定

※注記）管理アプリがインストールされている PC に共有フォルダを作成してから設定します。

※注記）MRN の場合もこの連携設定を行います。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。

設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「Maps（EM システムズ）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■ 連携フォルダ

2.8.1 項で作成した各フォルダのパスを入力します。

請求情報フォルダ …… 「C:¥EM¥kaikei」を入力します。

明細情報フォルダ …… 「C:¥EM¥kaikei」を入力します。

入金情報フォルダ …… 「C:¥EM¥nyukin」を入力します。

患者情報フォルダ …… 「C:¥EM¥patient」を入力します。

### ■ 連携ファイル

確認間隔は、「5 秒」のまま変更しません。

設定

動作 精算個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム Maps (EMシステムズ)

Maps (EMシステムズ) 連携 共通

■ 連携フォルダ

請求情報フォルダ	C:¥EM¥kaikei
明細情報フォルダ	C:¥EM¥kaikei
入金情報フォルダ	C:¥EM¥nyukin
患者情報フォルダ	C:¥EM¥patient

■ 連携ファイル

確認間隔	5 秒
------	-----

OK キャンセル

※共通項目の設定はありませんので、連携設定は以上です。

## ⑧BrainBox（ユヤマ）の連携設定

※注記）管理アプリがインストールされている PC に共有フォルダを作成してから設定します。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。

設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「BrainBox（ユヤマ）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■連携フォルダ

2.8.2 項で作成した各フォルダのパスを入力します。

請求情報フォルダ …… 「C:¥yuyama¥Seikyu」を入力します。

明細情報フォルダ …… 「C:¥yuyama¥Meisai」を入力します。

入金情報フォルダ …… 「C:¥yuyama¥Nyukin」を入力します。

### ■連携ファイル

確認間隔は、「5 秒」のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム BrainBox (ユヤマ)

BrainBox (ユヤマ) 連携 共通

■連携フォルダ

請求情報フォルダ	C:¥yuyama¥Seikyu
明細情報フォルダ	C:¥yuyama¥Meisai
入金情報フォルダ	C:¥yuyama¥Nyukin

■連携ファイル

確認間隔	5 秒
------	-----

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

自費項目名称登録を行いません。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

現金 ⇒ [0]、クレジットカード ⇒ [1]

※電子マネー、コード決済コードは空欄にしておきます。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム BrainBox (ユヤマ)

BrainBox (ユヤマ) 連携 共通

■ 自費項目名称

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。

## ⑨SUPER CLINIC（ラボテック）の連携設定

※注記）管理アプリがインストールされている PC に共有フォルダを作成してから設定します。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。

設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「SUPER CLINIC（ラボテック）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■連携フォルダ

2.8.3 項で作成した各フォルダのパスを入力します。

請求情報フォルダ …… 「C:¥LaboLinkData¥ACC」を入力します。

明細情報フォルダ …… 「C:¥LaboLinkData¥ACC」を入力します。

患者情報フォルダ …… 「C:¥LaboLinkData¥PAT」を入力します。

### ■連携ファイル

確認間隔は、「5 秒」のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム SUPER CLINIC（ラボテック）

SUPER CLINIC（ラボテック） 連携 共通

■連携フォルダ	請求情報フォルダ	C:¥LaboLinkData¥ACC
	明細情報フォルダ	C:¥LaboLinkData¥ACC
	患者情報フォルダ	C:¥LaboLinkData¥PAT

■連携ファイル

確認間隔	5 秒
------	-----

OK キャンセル

※共通項目の設定はありませんので、連携設定は以上です。



## ⑩Hi-SEED（富士フィルムヘルスケア）の連携設定

※注記）管理アプリがインストールされている PC に共有フォルダを作成する必要があります。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。

設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「Hi-SEED（富士フィルムヘルスケア）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■連携フォルダ

「請求情報フォルダ」、「明細情報フォルダ」、「入金情報フォルダ」、「患者情報フォルダ」の共有フォルダ先を入力します。

### ■連携ファイル

確認間隔は「5 秒」のままとします。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム Hi-SEED 〈富士フィルムヘルスケア〉

Hi-SEED 〈富士フィルムヘルスケア〉 連携 共通

■連携フォルダ	請求情報フォルダ	C:\fujii\Seikyuu
	明細情報フォルダ	C:\fujii\Meisai
	入金情報フォルダ	C:\fujii\Nyukin
	患者情報フォルダ	C:\fujii\PT

■連携ファイル

確認間隔	5 秒
------	-----

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

自費項目名称登録を行いません。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

現金 ⇒ [0]、クレジットカード ⇒ [1]

※電子マネー、コード決済コードは空欄にしておきます。(レセコン側に設定コードの仕様が無い為)

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム Hi-SEED (富士フィルムヘルスケア)

Hi-SEED (富士フィルムヘルスケア) 連携 共通

■ 自費項目名称

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。

## ⑩Qualis（BML[ビー・エム・エル]）の連携設定

※注記）管理アプリがインストールされている PC に共有フォルダを作成してから設定します。

※注記）メディカルステーションの場合もこの連携設定を行います。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。

設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「Qualis（BML）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■連携フォルダ

2.8.4 項で作成した各フォルダのパスを入力します。

請求情報フォルダ …… 「C:¥bml¥PR¥new」を入力します。

明細情報フォルダ …… 「C:¥bml¥PR¥new」を入力します。

### ■連携ファイル

確認間隔は、「5 秒」のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム Qualis (BML)

Qualis (BML) 連携 共通

■連携フォルダ	請求情報フォルダ	C:¥bml¥Seikyu
	明細情報フォルダ	C:¥bml¥Meisai
■連携ファイル	確認間隔	5 秒

OK キャンセル

※共通項目の設定はありませんので、連携設定は以上です。

## ⑫FlexcomPay（日本金銭機械）の連携設定

※注記）管理アプリがインストールされている PC に共有フォルダを作成してから設定します。

※注記）FlexcomPay 独自インターフェース設定で接続するレセコンの場合に設定します。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。

設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「FlexcomPay（日本金銭機械）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

### ■連携フォルダ

2.8.5 項で作成した各フォルダのパスを入力します。

請求情報フォルダ …… 「C:¥JCMDataLink¥RYO」を入力します。

明細情報フォルダ …… 「C:¥JCMDataLink¥RYO」を入力します。

入金情報フォルダ …… 「C:¥JCMDataLink¥NYU」を入力します。

### ■連携ファイル

確認間隔は、「5 秒」のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム FlexcomPay（日本金銭機械）

FlexcomPay（日本金銭機械）連携 共通

■連携フォルダ

請求情報フォルダ	C:¥JCMDataLink¥RYO
明細情報フォルダ	C:¥JCMDataLink¥RYO
入金情報フォルダ	C:¥JCMDataLink¥NYU

■連携ファイル

確認間隔	5 秒
------	-----

OK キャンセル

3) 選択した連携先システムの「共通」タブ内の自費項目と支払種別を設定します。

■ 自費項目名称

自費項目名称登録を行いません。

■ 支払種別

各連携コード欄をダブルクリックし、該当コードを入力します。

現金 ⇒ [0]、クレジットカード ⇒ [1]、電子マネー ⇒ [2]、コード決済 ⇒ [3] となります。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■ 連携先システム FlexcomPay (日本金銭機械) ▼

FlexcomPay (日本金銭機械) 連携 **共通** ←

■ 自費項目名称

No.	項目名称
1	自費項目 1
2	自費項目 2
3	自費項目 3
4	自費項目 4
5	自費項目 5
6	自費項目 6
7	自費項目 7
8	自費項目 8
9	自費項目 9
10	自費項目 10
11	自費項目 11
12	自費項目 12
13	自費項目 13
14	自費項目 14
15	自費項目 15

■ 支払種別

種別	連携コード
現金	
クレジットカード	
電子マネー	
コード決済	

OK キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料における IP アドレス確認表、設定情報・連携コード確認表を参照します。

### ⑬M3Digikar（エムスリーデジタル）の連携設定

※注記）管理アプリがインストールされている PC に共有フォルダを作成してから設定します。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。

設定画面の「連携」タブを選択し、連携先システムから「M3 Digikar（エムスリーデジタル）」を選択します。

2) 各設定項目を入力します。

#### ■連携フォルダ

2.8.6 項で作成した各フォルダのパスを入力します。

請求情報フォルダ …… 「C:\m3d\kaikei」を入力します。

明細情報フォルダ …… 「C:\m3d\kaikei」を入力します。

#### ■連携ファイル

確認間隔は、「5 秒」のまま変更しません。

設定

動作 精算機個別設定 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

■連携先システム M3 Digikar（エムスリーデジタル）

M3 Digikar（エムスリーデジタル）連携 共通

■連携フォルダ

請求情報フォルダ	C:\m3d\kaikei
明細情報フォルダ	C:\m3d\kaikei

■連携ファイル

確認間隔	5 秒
------	-----

OK キャンセル

※共通項目の設定はありませんので、連携設定は以上です。

## 2.9.4. 管理アプリと精算機の設定

※注記) 接続するレセコンにより設定情報が異なりますので、「FlexcomPay\_クリニック導入事前確認事項」資料を参照ください。また、接続するレセコンにより選択できない設定項目もあります。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「動作」タブを選択します。

設定

動作 精算機(初期設定) 担当医 受診内容 職員 連携 医療機関情報 バージョン情報

【精算機】

- 会計案内表示  表示する (表示更新間隔 5 秒)  表示しない
- 使用台数 1 台
- 領収書・明細書  印刷する  印刷しない (支払証明書  印刷する  印刷しない)
- 処方箋引換券  印刷する  印刷しない
- タイムアウト 20 秒
- 複数人会計  する  しない

【管理アプリ】

- 受付番号 リセット時間 00:00 リセット
- 未収金支払  窓口  精算機 (処理できる件数 1 件まで)  当日分のみ
- データ削除 6 ヶ月を経過したデータを削除
- 一覧表示更新間隔 5 秒
- 印刷 受付票・仮診察券 Microsoft XPS Document Writer  A5サイズ  
入金日報 Microsoft XPS Document Writer  A4サイズ  
精算機管理日報 Microsoft XPS Document Writer  A4サイズ  
約束手続確認票 Microsoft XPS Document Writer  A5サイズ  
回収確認票 Microsoft XPS Document Writer  A5サイズ
- システムアラート 確認間隔 5 秒  
警告音  鳴らさない  鳴らす 4 秒間
- バックアップ先  バックアップする  バックアップしない  
C:\FlexcomPay\Backup
- 動作モード  受付票印字ありモード  受付票印字なしモード (同一受付とみなす間隔 1 時間)
- 患者ID桁数 0
- 通信ログ出力  出力する  出力しない

OK キャンセル

2) 【精算機】項目で以下を初期設定します。

- 会計案内表示：「表示する」を選択します。表示更新間隔は 5 秒のまま変更しません。  
※表示更新間隔を変更する場合は、変更時間をダウンリストから選択します。
- 使用台数：1 台のまま変更しません。 ※2 台接続する場合は、ダウンリストから[2]を選択します。
- 領収書・明細書：「印刷する」を選択します。  
※精算機にて領収書・明細書を印刷しない場合、「印刷しない」と支払証明書印刷有無を選択します。
- 処方箋引換券：「印刷する」を選択します。  
※精算機から処方箋引換券を印刷しない場合、「印刷しない」を選択します。
- タイムアウト：20 秒のまま変更しません。 ※変更する場合は、ダウンリストから選択します。
- 複数人会計：「しない」を選択します。 ※実施する場合は、「する」を選択します。  
※接続レセコンが「Medicom/Aventy」の場合は、「しない」を選択してください。

【精算機】

- 会計案内表示  表示する (表示更新間隔 5 秒)  表示しない
- 使用台数 1 台
- 領収書・明細書  印刷する  印刷しない (支払証明書  印刷する  印刷しない)
- 処方箋引換券  印刷する  印刷しない
- タイムアウト 20 秒
- 複数人会計  する  しない

3) 【管理アプリ】項目で以下を初期設定します。

- 受付番号：リセット時間は変更しません。

※リセット時間を変更する場合、指定時間を入力するか、右側「▲▼」で時間を選択します。

- 未収金支払：「窓口」を選択します。

※当日分のみ精算機で処理する場合は、「当日分のみ」を選択します。

※過去の未収金を合算して精算機で処理する場合、「精算機」を選択し、ダウリストから件数を選択します。

なお、未収金支払を「精算機」と設定する場合、クリニック様からリスクの承諾を得てから実行してください。

- データ削除：6ヶ月を選択します。 ※変更する場合、ダウリストから選択します。

- 一覧表示更新間隔：5秒のまま変更しません。 ※変更する場合、ダウリストから選択します。

- 印刷：管理アプリで連携するプリンターを選択します。

JCM 出荷プリンター(CITIZEN 製 CT-S255)の場合、A5 及び A4 サイズのチェックを外します。

上記プリンター以外の場合、該当プリンター名称を選択します。

※該当プリンターが出てこない場合、PC 再起動後に再度設定画面から選択を行います。

- システムアラート：確認間隔は、5秒のまま変更しません。警告音は「鳴らす」を選択し、4秒間は変更しません。

※変更する場合、確認間隔はダウリストから選択し、警告音は「鳴らさない」を選択します。

- バックアップ先：「バックアップする」を選択します。

※バックアップ先を変更する場合、変更先を直接入力するか、右側「・・・」から変更先を選択します。

- 動作モード：運用するモードを選択します。(※「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」資料における◆運用設定確認を参照します。)

管理アプリより受付票を印字する運用の場合、「受付票印字ありモード」を選択します。

管理アプリより受付票を印字しない運用の場合、「受付票印字なしモード」を選択します。

※同一受付とみなす間隔：1時間のまま変更しません。変更する場合、ダウリストから選択します。

- 患者 ID 桁数：導入先クリニック様の 0 (ゼロ) を含む患者 ID 桁数を入力します。

※桁数を設定する事でゼロパディング (指定した桁数に満たない部分を 0 で埋めます)

※接続レセコンが「Medicom」の場合は設定しません。(「0」のまま)

- 通信ログ出力：「出力しない」を選択します。

※接続レセコンが「Medicom」「Aventy」の場合は、「出力する」を選択します。

【管理アプリ】

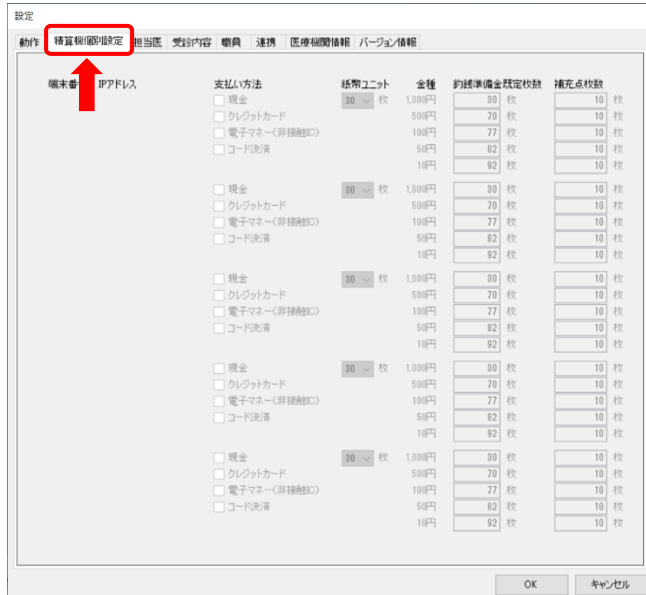
■ 受付番号	リセット時間	00:00	リセット
■ 未収金支払	<input checked="" type="radio"/> 窓口	<input type="radio"/> 精算機 (処理できる件数 1 件まで)	<input type="radio"/> 当日分のみ
■ データ削除	6	ヶ月を経過したデータを削除	
■ 一覧表示更新間隔	5	秒	
■ 印刷	受付票・仮診察券	Microsoft XPS Document Writer	<input checked="" type="checkbox"/> A5サイズ
	入金日報	Microsoft XPS Document Writer	<input checked="" type="checkbox"/> A4サイズ
	精算機管理日報	Microsoft XPS Document Writer	<input checked="" type="checkbox"/> A4サイズ
	釣銭補充確認票	Microsoft XPS Document Writer	<input checked="" type="checkbox"/> A5サイズ
	回収確認票	Microsoft XPS Document Writer	<input checked="" type="checkbox"/> A5サイズ
■ システムアラート	確認間隔	5	秒
	警告音	<input type="radio"/> 鳴らさない	<input checked="" type="radio"/> 鳴らす 4 秒間
■ バックアップ先	<input checked="" type="radio"/> バックアップする	<input type="radio"/> バックアップしない	
	C:\FlexcomPay\Backup		
■ 動作モード	<input checked="" type="radio"/> 受付票印字ありモード	<input type="radio"/> 受付票印字なしモード	(同一受付とみなす間隔 1時間)
■ 患者ID桁数	0		
■ 通信ログ出力	<input type="radio"/> 出力する	<input checked="" type="radio"/> 出力しない	



## 2.9.5. 精算機の個別設定

※注記) 精算機と連携が確立されてから設定します。

1) 設定画面の「精算機個別設定」タブを選択します。



2) 画面左側の[端末番号、IP アドレス]が表示されている項目のみ設定する事になります

○支払い方法：対象の精算機で行う支払い方法にチェックを入れます。

※現金のみの場合は、「現金」にチェックを入れます。

○紙幣ユニット：対象の精算機で導入されているリサイクル枚数をダウンリストから選択します。

30 枚仕様[VEGA-RC]→「30 枚」 60 枚仕様[VEGA-RCTWIN]→60 枚

○釣銭準備金既定枚数：変更しません。

※変更する場合は、各金種の部分に数値を入力します。

○補充点枚数：変更しません。

※変更する場合は、各金種の部分に数値を入力します。

端末番号	IPアドレス	支払い方法	紙幣ユニット	金種	釣銭準備金既定枚数	補充点枚数
000	192.168.100.9:8000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> 電子マネー(非接触IC) <input checked="" type="checkbox"/> コード決済	30 枚	1,000円 500円 100円 50円 10円	30 枚 70 枚 77 枚 82 枚 92 枚	10 枚 10 枚 10 枚 10 枚 10 枚
		<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 電子マネー(非接触IC) <input type="checkbox"/> コード決済	30 枚	1,000円 500円 100円 50円 10円	30 枚 70 枚 77 枚 82 枚 92 枚	30 枚 70 枚 77 枚 82 枚 92 枚
		<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 電子マネー(非接触IC)	30 枚	1,000円 500円 100円	30 枚 70 枚 77 枚	30 枚 70 枚 77 枚

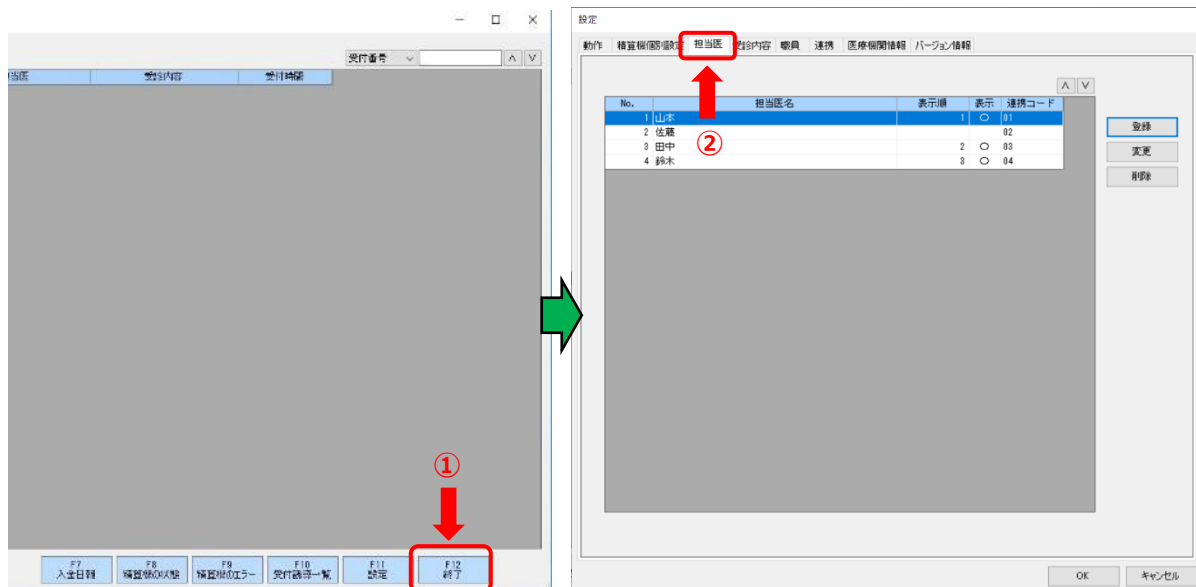
画面上の IP アドレスはイメージです。

## 2.9.6. 担当医の登録

※注記) 受付票ありモードの時のみ設定します。

受付票に担当医を表示する必要がある場合、任意の番号を1桁～10桁までの間で入力設定できます。

1) 管理アプリのF11「設定」を選択します。設定画面の「担当医」タブを選択します。



2) 「登録」ボタンを選択し、「担当医名」と「連携コード」を入力して「OK」ボタンを押します。

登録する担当医分だけこれを繰り返し行います。

登録

No. 1

担当医名 医師

連携コード 000000

表示  する  しない

OK キャンセル

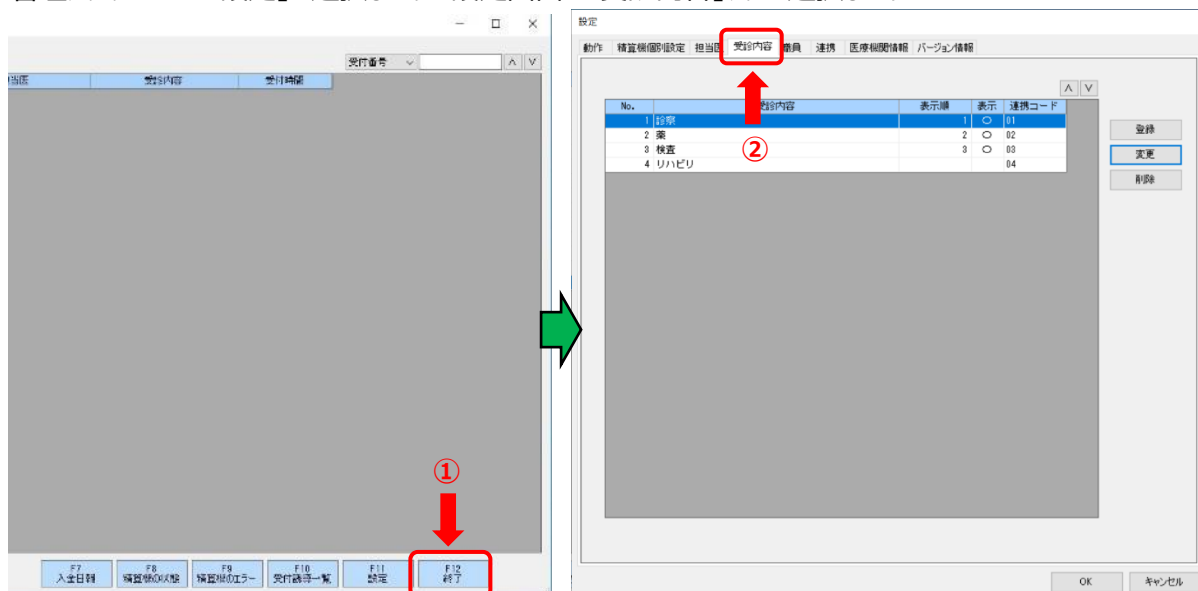
※入力に必要な情報は、「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」資料における設定情報・連携コード確認表の<担当医>を参照します。

## 2.9.7. 受診内容の登録

※注記) 受付票ありモードの時のみ設定します。

受付票に受診内容を表示する必要がある場合、任意の番号を 1 桁～10 桁までの間で入力設定できます。

1) 管理アプリの F11「設定」を選択します。設定画面の「受診内容」タブを選択します。



2) 「登録」ボタンを選択し、「受診内容」と「連携コード」を入力して「OK」ボタンを押します。

登録する受診内容分だけこれを繰り返し行います。

The image shows a dialog box titled '登録' (Registration). It contains the following fields and options:

- No. 1
- 受診内容: 診察
- 連携コード: 000000
- 表示:  する  しない

Buttons: OK, キャンセル

※入力に必要な情報は、「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」資料における設定情報・連携コード確認表の<受診内容>を参照します。

○設定完了後は、F12「終了」ボタンを選択し、管理アプリを一旦終了します。

バックアップ処理実行中は PC の電源を切らないでください。

○全ての設定完了後は、管理アプリ導入 PC を再起動させてください。

(参考) レセコンと各設定事項の関係表

A-1: 受付票ありモード\_受付連携する      A-2: 受付票ありモード\_受付連携しない      B-1: 受付票なしモード\_診察券コード運用

レセコン名	自費項目	支払種別	担当医			受診内容			診療科コード		
			A-1	A-2	B-1	A-1	A-2	B-1	A-1	A-2	B-1
1 medicom	○ (必須) *1	○ (必須) *2	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	○ (必須) *2	× (不要)	× (不要)
2 ORCA	× (不要)	○ (必須) *2	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	○ (必須) *2	× (不要)	× (不要)
3 HOPE SX/SX-S	○ (必須) *1	○ (必須) *2	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
4 AI-CLINIC	× (不要)	○ (必須) *2	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
5 TOSMEC Aventy	○ (必須) *1	○ (必須) *2	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
6 CLINICS	○ (必須) *1	○ (必須) *2	○ (必須) *2	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
7 Maps/MRN *4	× (不要)	× (不要)	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
8 Brain Box	× (不要)	× (不要)	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
9 SUPER CLINIC	× (不要)	× (不要)	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
10 HI-SEED	× (不要)	× (不要)	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
11 Qualis	× (不要)	× (不要)	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
12 FlexcomPay	× (不要)	× (不要)	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)
13 m3Digitar	× (不要)	× (不要)	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	△ (必須) *3	× (不要)	△ (必須) *3	× (不要)	× (不要)

\*1: 16項目以上は、15項目にまとめる

\*2: レセコンとの「連携コード」による連携が必要

\*3: 受付票に表示したい場合は、任意で入力設定する。不要な場合は登録なしでOK。

\*4: Maps→グラフ型、MRN→オンプレミス型

## 2.10. ラベルプリンターの設定

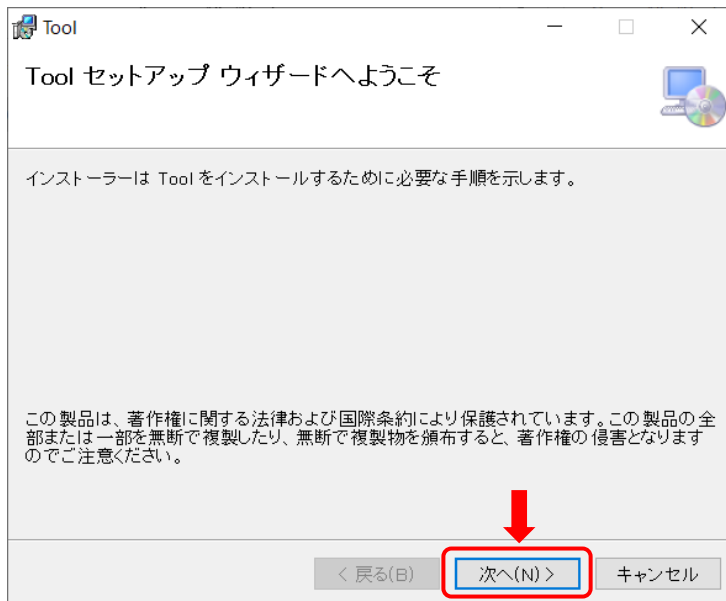
注記) ラベルプリンターはオプション品となります。導入されるクリニック様設置時に設定してください。

対応機種 : Brother 製ラベルプリンターPT-P700

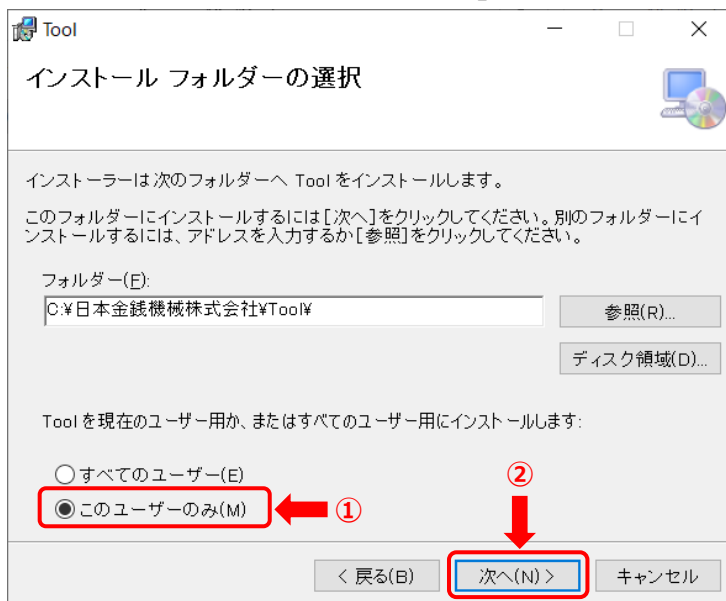
### 2.10.1. ラベルプリンターアプリのインストール

- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥03.アプリケーション¥02.ラベルプリンタ」フォルダ内の「Setup.msi」ファイルをダブルクリックします。

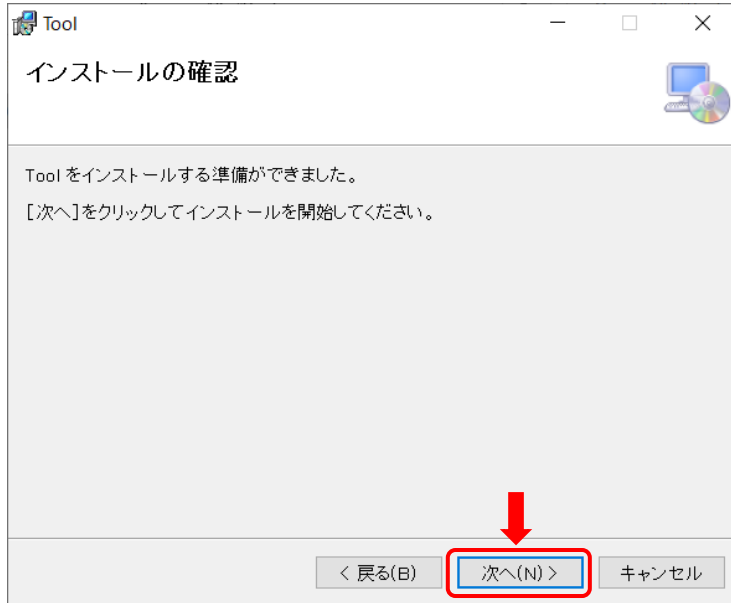
Tool セットアップウィザードが表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



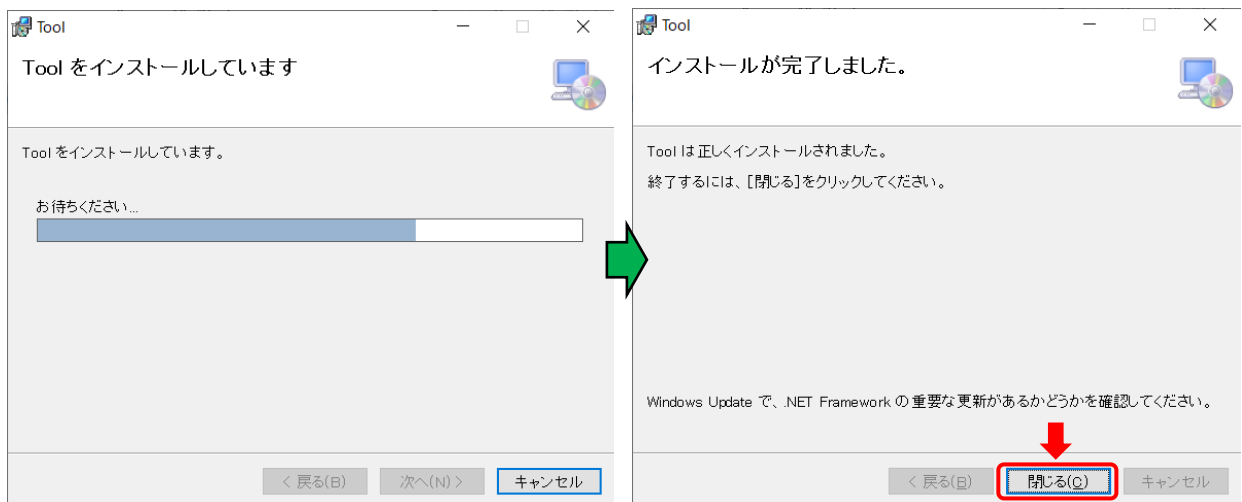
- 2) フォルダ選択画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



3) インストール確認画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。

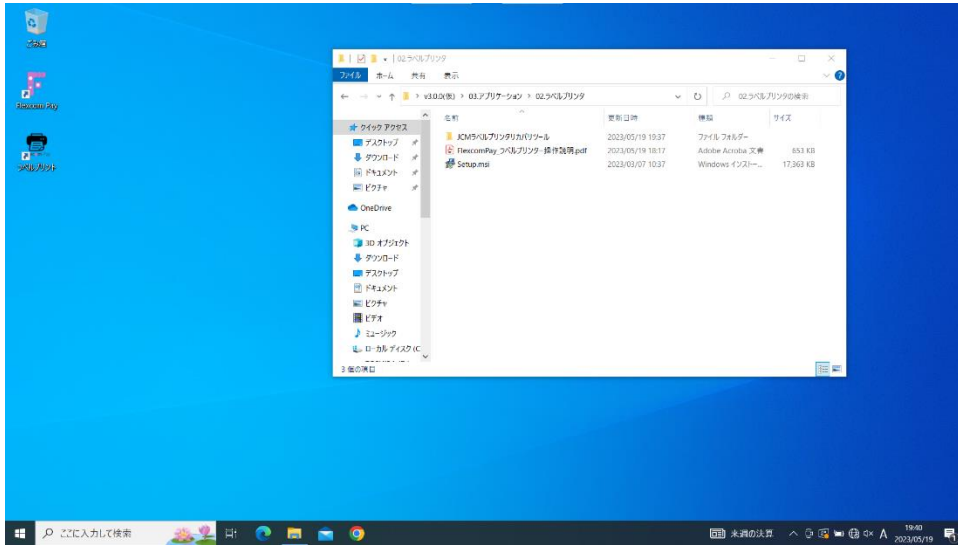


4) セットアップが自動的に進行し、インストール完了画面が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてセットアップを完了してください。

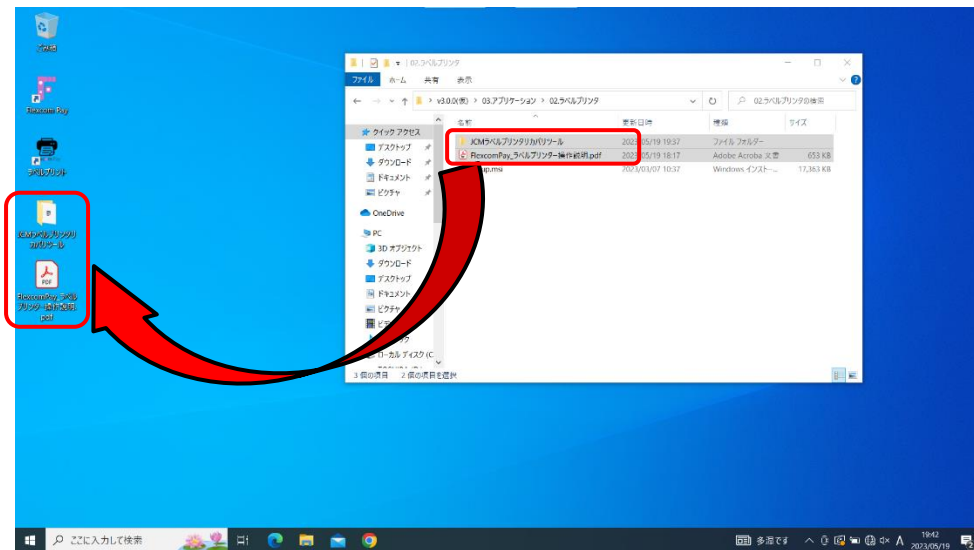


## 2.10.2. 説明資料の移動

- 1) 管理アプリ PC セットアップ一式ファイルの「¥03.アプリケーション¥02.ラベルプリンタ」フォルダを開きます。

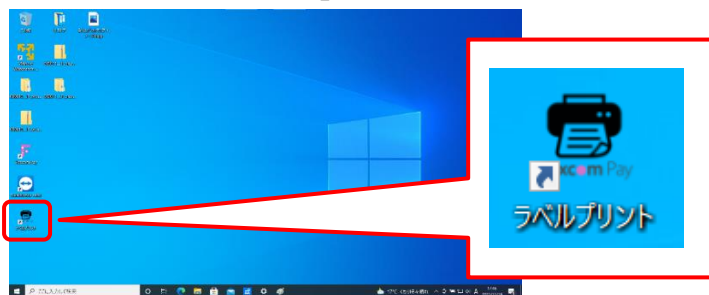


- 2) フォルダ内のラベルプリンター操作説明書資料を選択しコピーして、管理 PC のデスクトップに貼り付けします。併せて、「JCM ラベルプリンタドライバリカバリツール」フォルダもコピーして、デスクトップに貼り付けておきます。

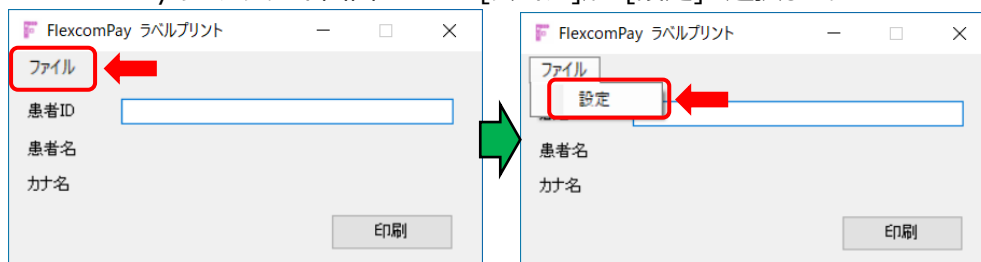


### 2.10.3. 印刷設定

1) PC 画面上の「ラベルプリント」アイコンをダブルクリックします。



2) FlexcomPay ラベルプリント画面の左上の[ファイル]から[設定]を選択します。



3) 設定画面にて以下を確認した後、[登録]をクリックし、設定を登録します。

#### 【連携】

● 管理アプリ連携：「する」にチェックを入れます。

※ラベルプリンターを管理アプリと連携しない場合は、「しない」にチェックします。

● 患者 ID 桁数：導入クリニック様で使用されている患者 ID 桁数を選択します。

※管理アプリ連携「しない」場合のみ設定可能です。Medicom レセコンの場合は設定しません。（「0」のまま）

#### 【印刷】

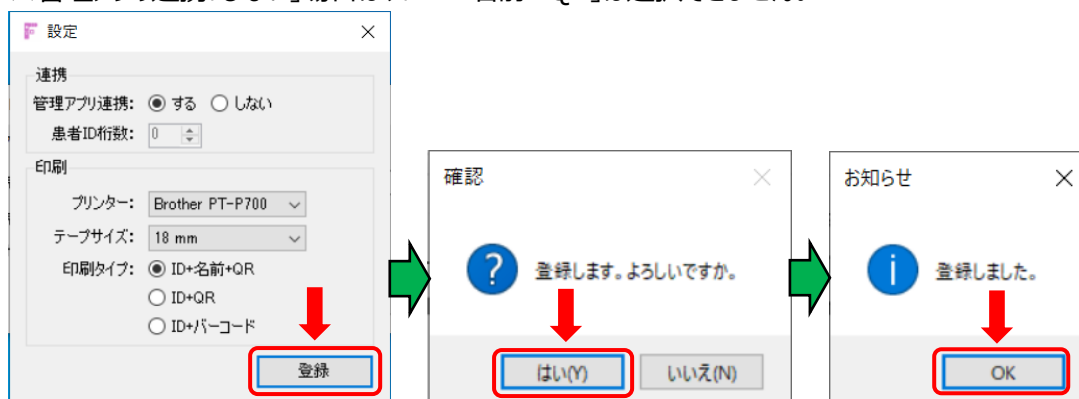
● プリンター：「Brother PT-P700」を選択します。

● テープサイズ：プリンター本体にセットしたテープカセットのサイズと同じものを選択します。

※テープサイズは、使用するテープカセットのラベルで確認できます。

● 印刷タイプ：印刷したいタイプを選択します。

※管理アプリ連携「しない」場合は、「ID+名前+QR」は選択できません。



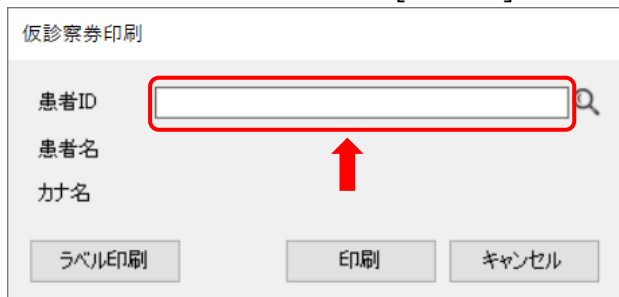


## 2.10.4. 動作確認

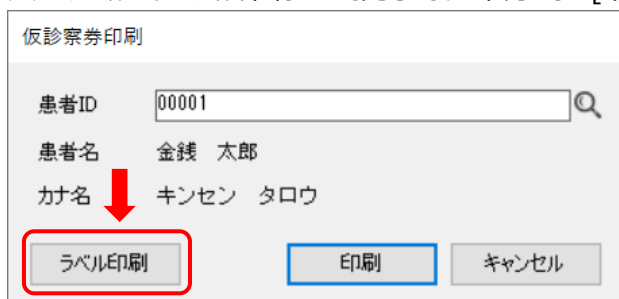
注記) 設定している内容と運用によって手順が異なります。

### 【管理アプリと連携する場合】

- 1) 管理アプリの仮診察券印刷画面の[患者 ID]欄に ID 情報を入力し、[Enter]キーを押します。



- 2) 患者名とカナが表示されたら、[ラベル印刷]ボタンを押します。  
プリンターからラベルが印刷されて完了です。終了時は[キャンセル]をクリックします。



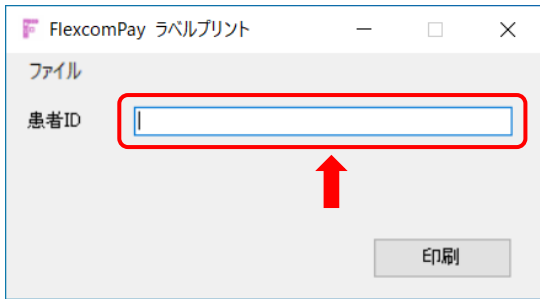
※FlexcomPay ラベルプリント画面からでも印刷操作は可能ですが、FlexcomPay のデータベースに患者情報がない場合は、上記の作業が必要になります。

※患者 ID と患者名に間違いがないか確認してください。

※請求連携がないと患者情報を FlexcomPay のデータベースにセットできないレセコンもありますので、この場合は請求情報連携を一度行ってから患者情報を読み出す形になります。

【管理アプリと連携しない場合】

- 1) FlexcomPay ラベルプリント画面の[患者 ID]欄に ID 情報を入力し、[Enter]キーを押します。

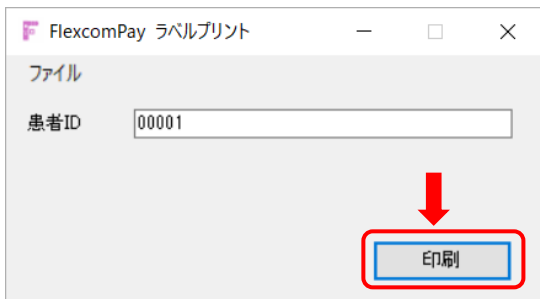


※患者 ID 桁数を設定している場合は、設定した患者 ID 桁数になるようにゼロパディング（ゼロで埋める）します  
ex) 患者 ID 桁数 : 5、ID : 1 の方の場合、1 を入力して[Enter]を押すと、「00001」の表示になる

※管理アプリと連携していない為、患者名とカナ名は表示されません。

※患者 ID 桁数を設定しない（していない）場合は、患者 ID の入力を間違えないよう注意してください。

- 2) 患者 ID 番号が設定した患者 ID 桁数になりますので、[印刷]ボタンを押します。プリンターからラベルが印刷されて完了です。終了時は右上の[×]をクリックします。



(参考) テープサイズ確認方法

テープカセットに記載されている部分を確認してください。

[テープカセット]



[プリンターにセットされている場合]



### 3. 精算機セットアップ

※注記) インターネット接続がされている状態で設定を行ってください。

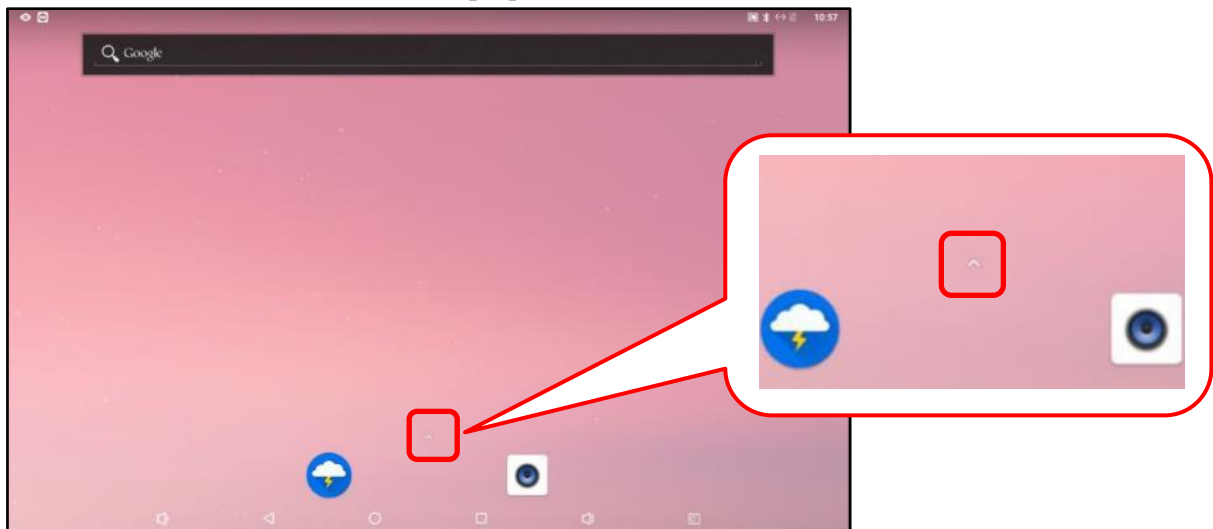
※注記) 精算機を 2 台接続する場合は、管理アプリ側の設定後、本項 (3 項) の設定を 1 台ずつ行ってください。

#### 3.1. IP アドレスの設定

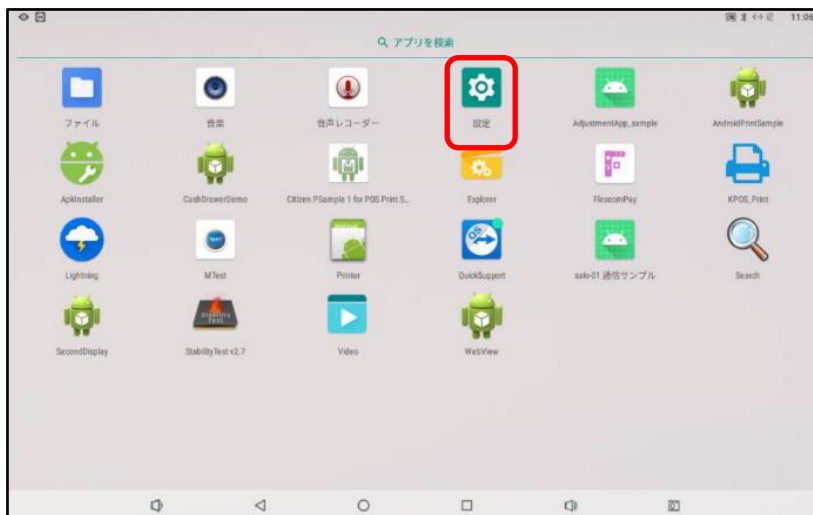
- 1) 電源を入れたらアプリケーションが自動で起動するので、「システム設定」のタイトルを 5 秒長押ししてください。メッセージが表示されるので、「はい」をタップしてアプリケーションを終了させます。



- 2) 画面中央下段の赤枠で囲っている部分に [ ^ ] ボタンがあるのでタップします。



3) メニューから「設定」アイコンをタップします。



4) 「ネットワークとインターネット」をタップします。



5) 「Ethernet」をタップします。

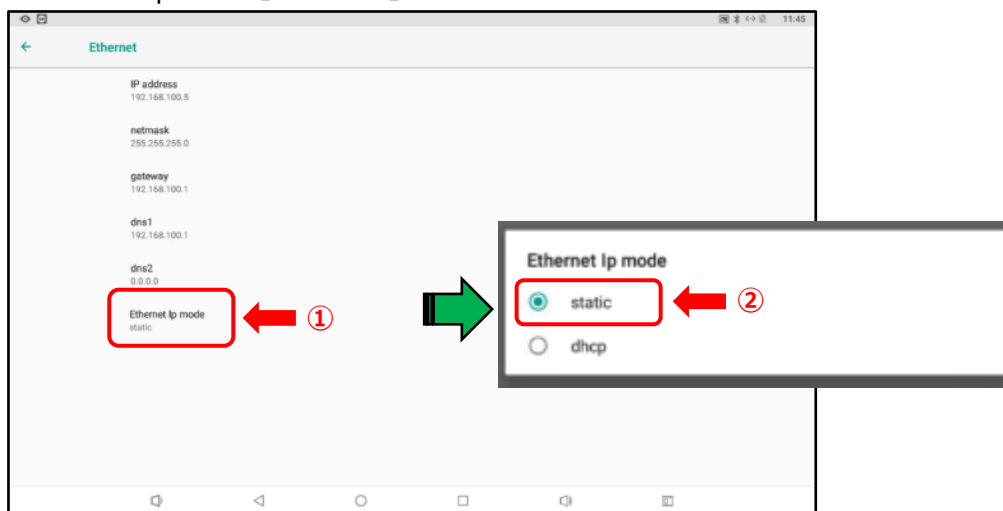


6) IP アドレスの設定をします。

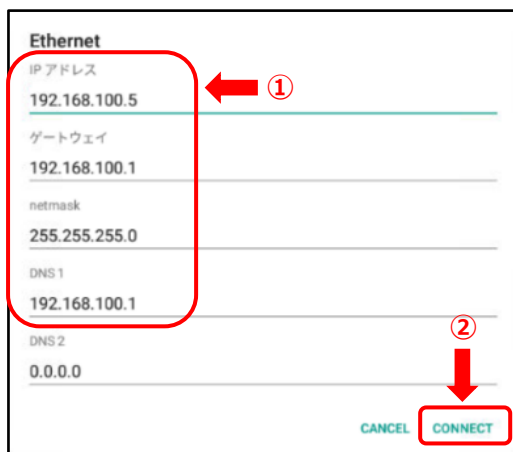
「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」の IP アドレス確認表内の <自動精算機側イーサネット IP> を参照の上、以下の項目を設定してください。

- IP address
- netmask
- gateway
- dns1

「Ethernet Ip mode」⇒「static」の順に選択します。



各項目の IP アドレスを入力した後、「CONNECT」を押します。



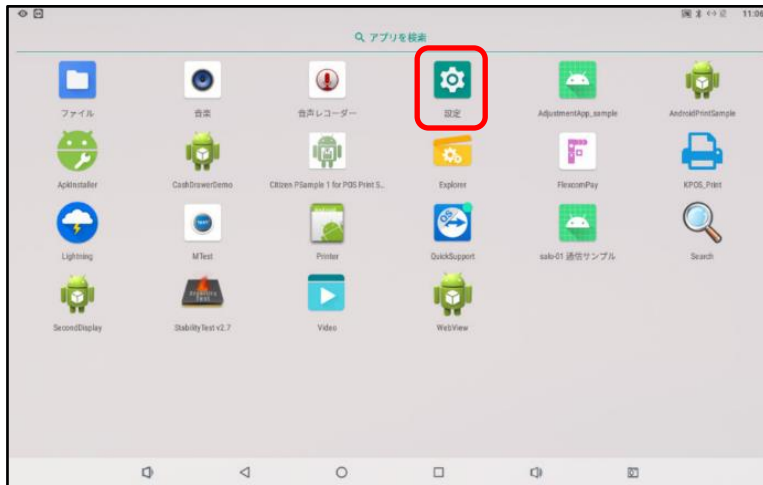
画面上の IP アドレスはイメージです。

設定入力完了したら、「○」を選択しホームに戻ります。

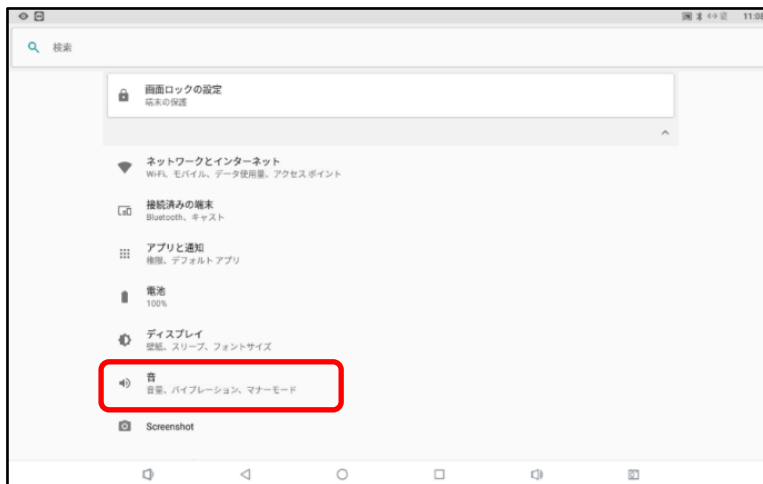
※2 台目の IP アドレス (IP address) について、特に指定がない場合は、1 台目 IP アドレスの第 4 オクテット (4 番目の数字) を 1 ずらして設定してください。

### 3.2. 音量の調整

1) メニューから「設定」アイコンをタップします。



2) 「音」をタップします。

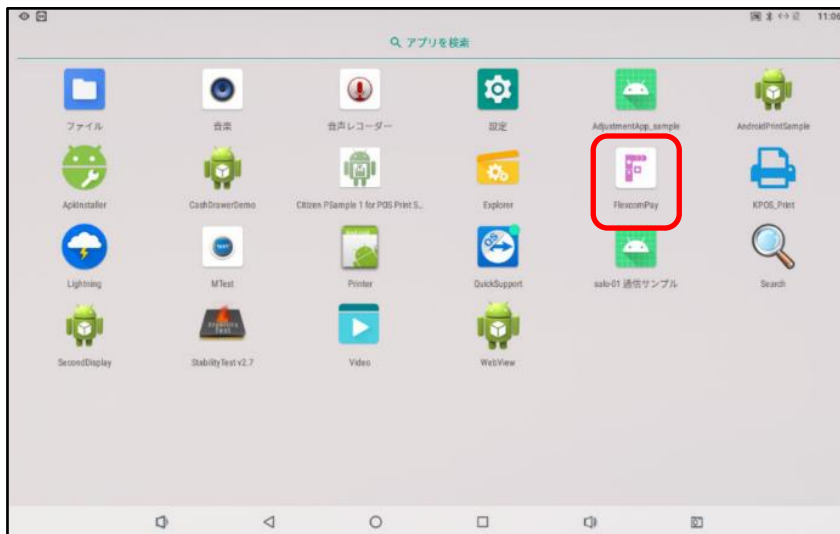


3) 「メディアの音量」バーをタッチしながら、右側最大へスライドさせます。完了後、「○」を選択しホームに戻ります。



### 3.3. アプリケーションの設定

- 1) アプリ一覧を表示させ、「FlexcomPay」のアイコンをタップして起動します。



- 2) システム設定画面が表示されますので、設定リストに従い各項目を入力してください。

### システム設定

クラウドサーバ アドレス	管理アプリPC アドレス
管理者コード	ユーザ名 <u>jcmuser</u>
事業者コード	パスワード <u>jcm</u>
端末コード	データベース名 <u>jcmdb</u>
	ポート番号

クラウドサーバ接続確認
管理アプリPC接続確認
保存

クラウドサーバアドレス	JCM クラウドサーバアドレス [52.69.77.7]
管理者コード	導入先管理者コード（導入前に設定）*
事業者コード	導入先事業者コード（導入前に設定）*
端末コード	導入先端末コード（導入前に設定）*
管理アプリ PC アドレス	2.5.1 項で設定した管理アプリ PC の IP アドレス
ポート番号	管理アプリとソケット通信ポート [8000]

※「ユーザ名」「パスワード」「データベース名」はデフォルトで入力されていますので、変更しません。

\*「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」の JCM・JCMS 記入表\_◆クラウド管理コードを参照。

- 3) 「クラウドサーバ接続確認」ボタンをタップして、クラウドに接続できていることを確認してください。  
 接続確認成功のポップアップが出たら、「OK」ボタンをタップします。  
 接続確認が成功しない場合は、インターネット回線に接続しているか等、確認してください。



- 4) 「管理アプリ PC 接続」ボタンをタップして、管理アプリに接続できていることを確認してください。  
 接続確認成功のポップアップが出たら、「OK」ボタンをタップします。  
 接続確認が成功しない場合、管理アプリを立ち上げているか、LAN ケーブルが抜けていないか等、確認してください。



- 5) 接続確認が完了したら、「保存」ボタンをタップします。  
 システム設定情報保存のポップアップが出たら、「OK」ボタンをタップします。



※画面上の数値はイメージですので、説明している番号及び「FlexcomPay クリニック導入事前確認事項」で記載されている内容に従って入力してください。

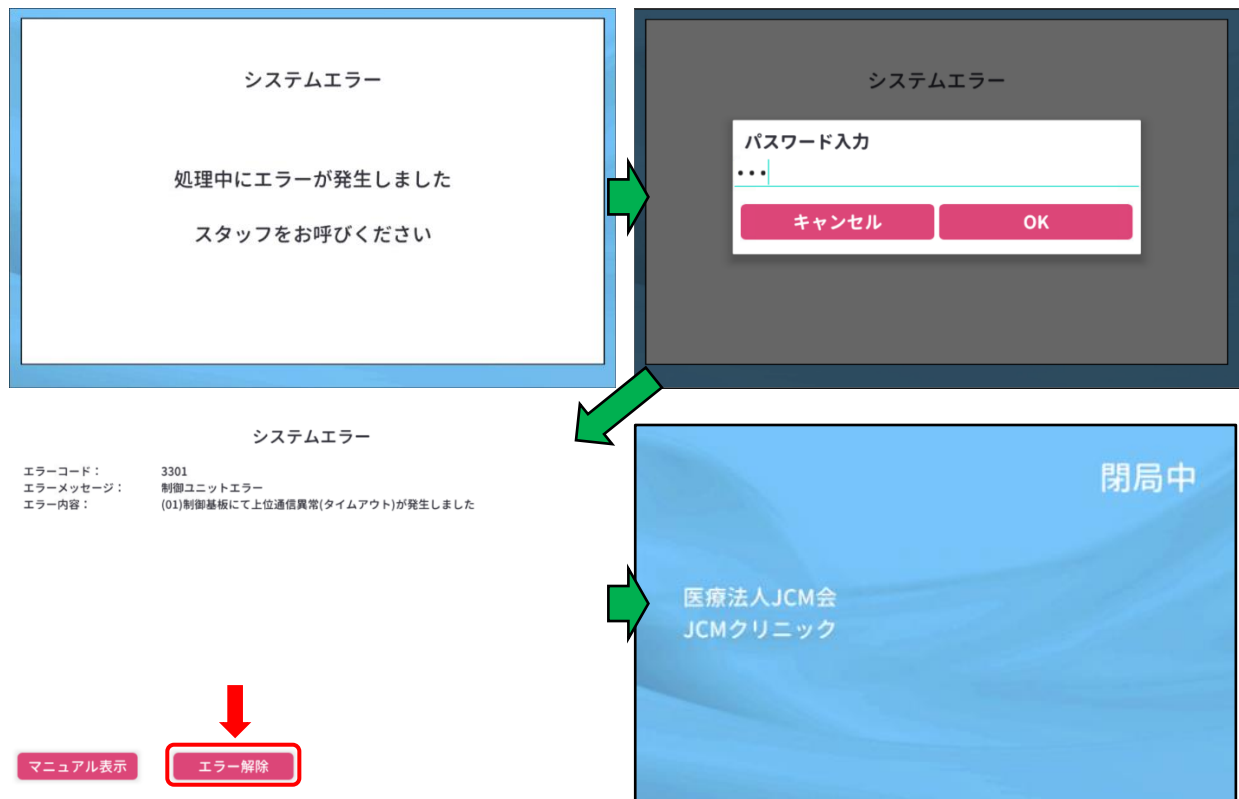


6) システムエラーが発生しますので、エラー解除を行います。

職員バーコードを精算機でスキャンし、パスワードを入力します。

システムエラー表示画面にて「エラー解除」ボタンを押します。

職員バーコードを印刷していない場合は、管理アプリから職員バーコードを印刷してください。



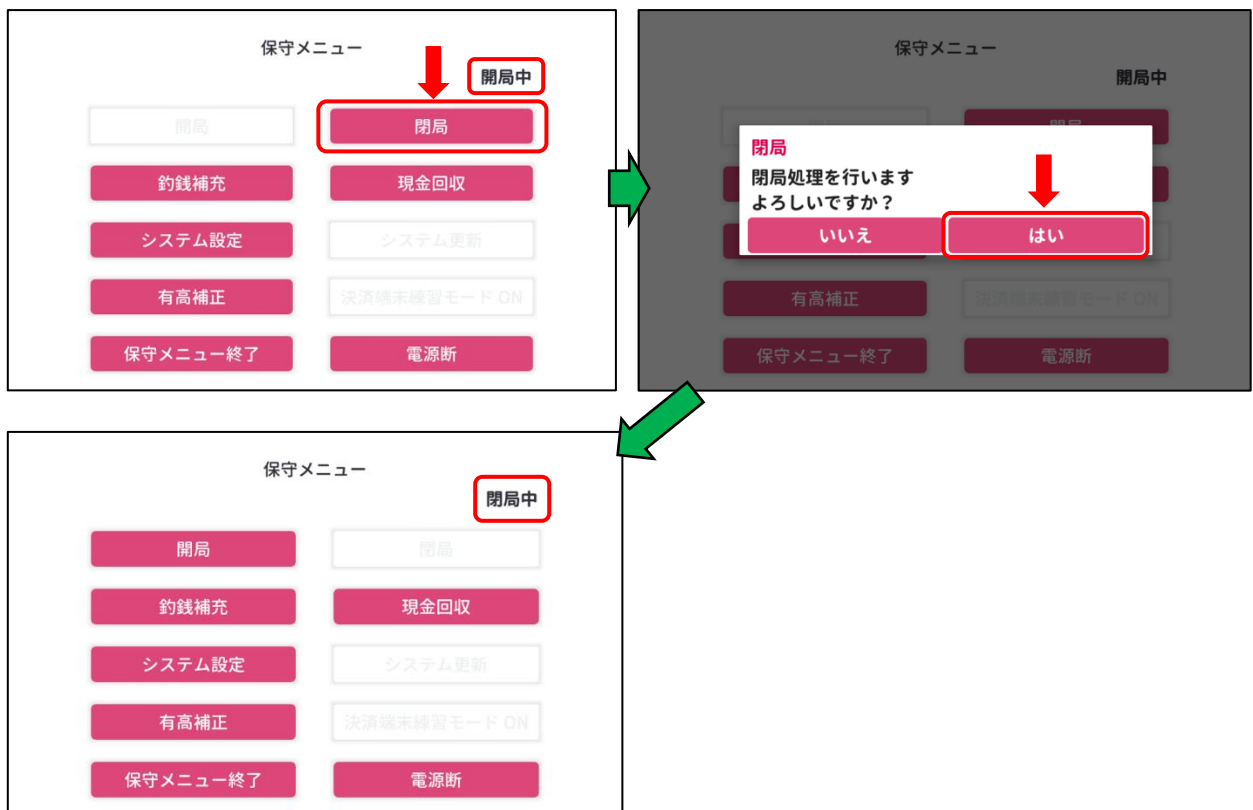
7) 職員バーコードを精算機でスキャンし、パスワードを入力します。保守メニュー画面が表示させます。



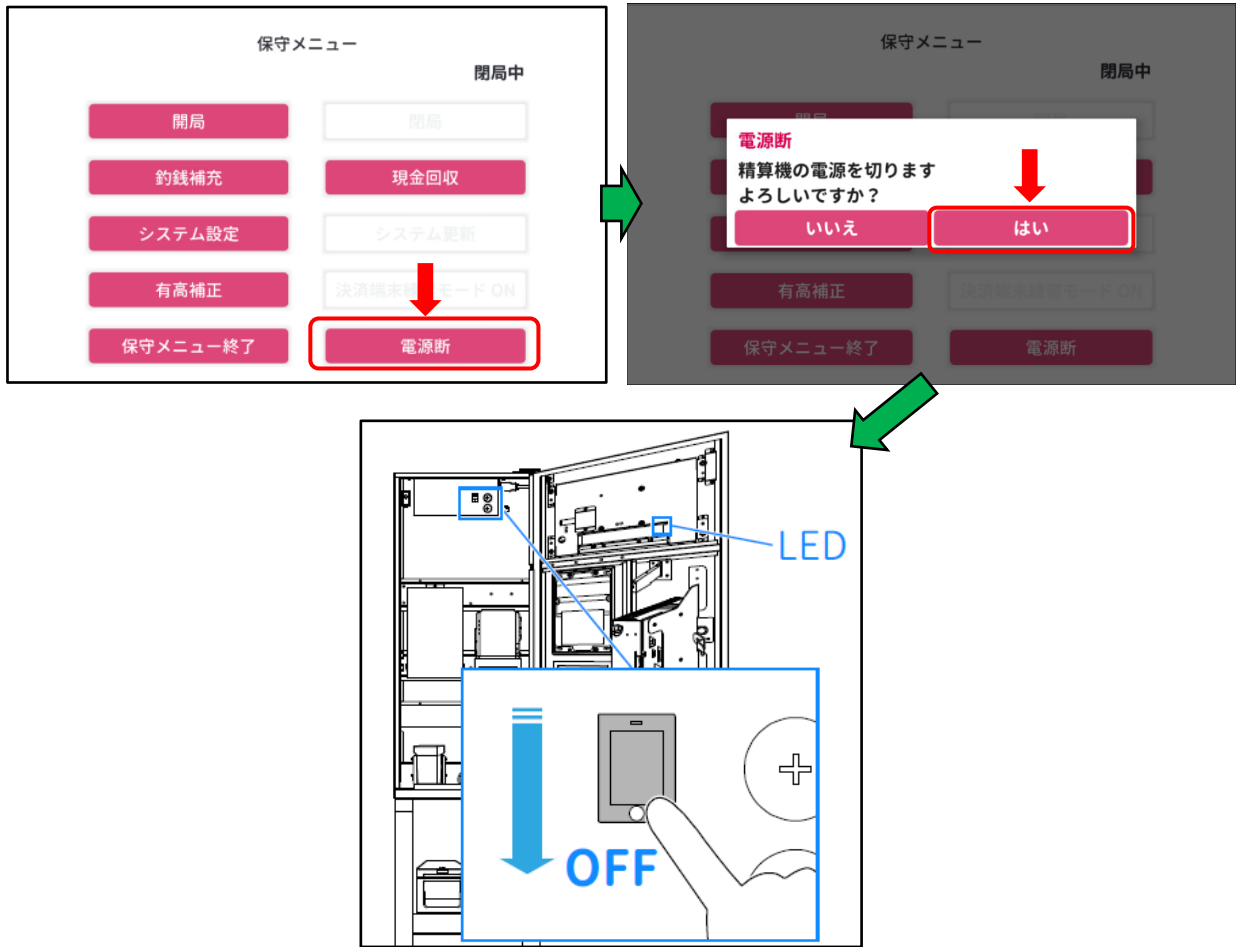
8) 保守メニューの「開局」ボタンをタップし、開局確認のポップアップで「はい」をタップします。



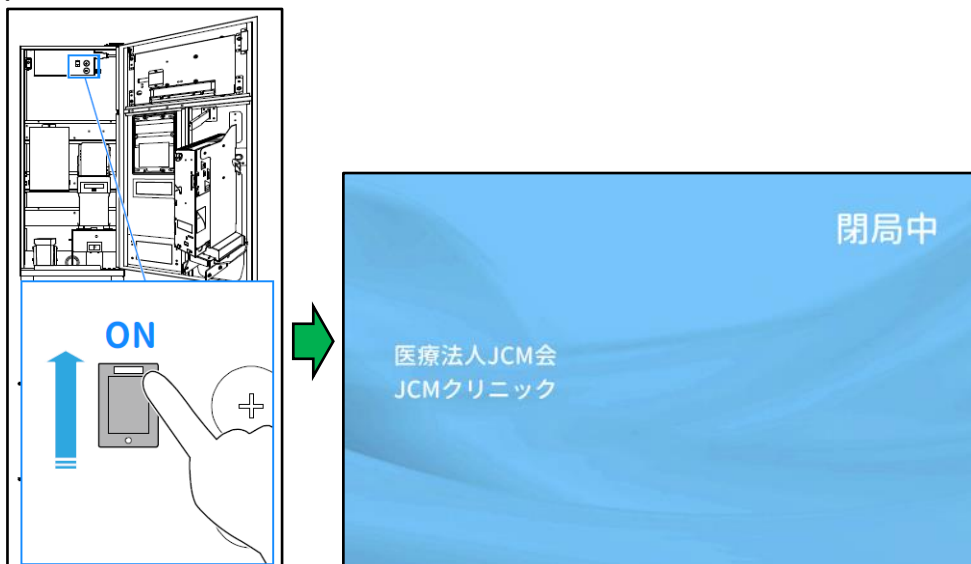
9) 保守メニューの右上に「閉局中」と表示されている事を確認した上、「閉局」ボタンをタップし、閉局確認のポップアップで「はい」をタップします。



- 1 0) 保守メニューの「電源断」ボタンをタップし、精算機の電源を切るポップアップで「はい」をタップします。  
扉を開いて、操作画面の LED が消えている事を確認した上で、スイッチを OFF にします。



- 1 1) 再度スイッチを ON として、精算機アプリが立ち上がり、待機画面が表示される事を確認します。



### 3.4. TeamViewer ID の確認

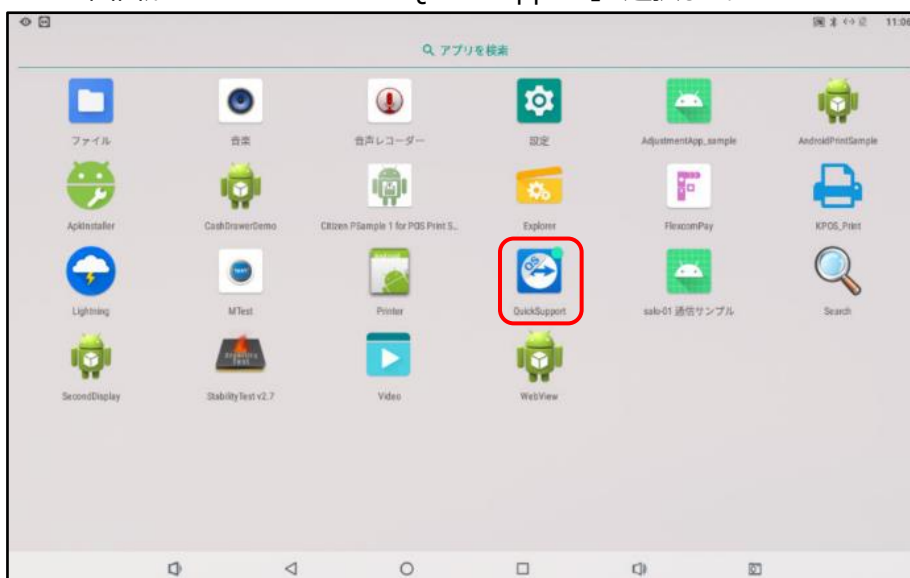
- 1) 職員バーコードを精算機でスキャンし、パスワードを入力します。保守メニュー画面を表示させます。



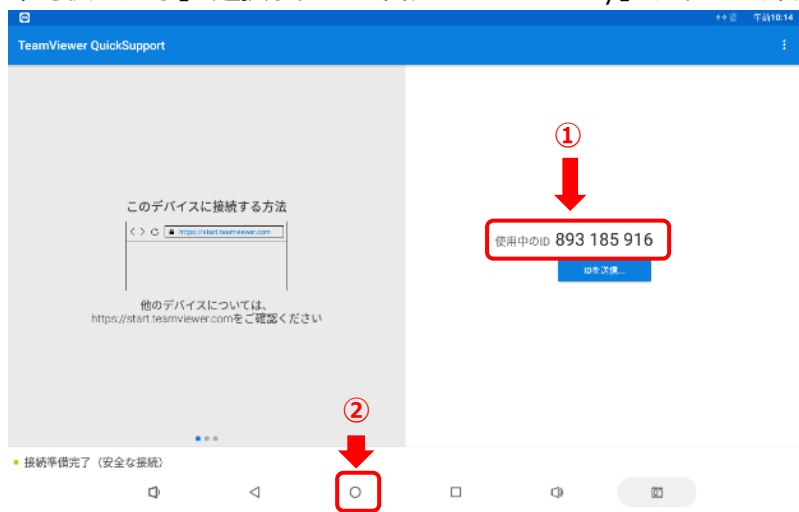
- 2) 「閉局中」もしくは「開局中」と表示されている部分を 5 秒長押ししてください。  
アプリ終了のポップアップが出ますので、「はい」をタップしてアプリケーションを終了します。



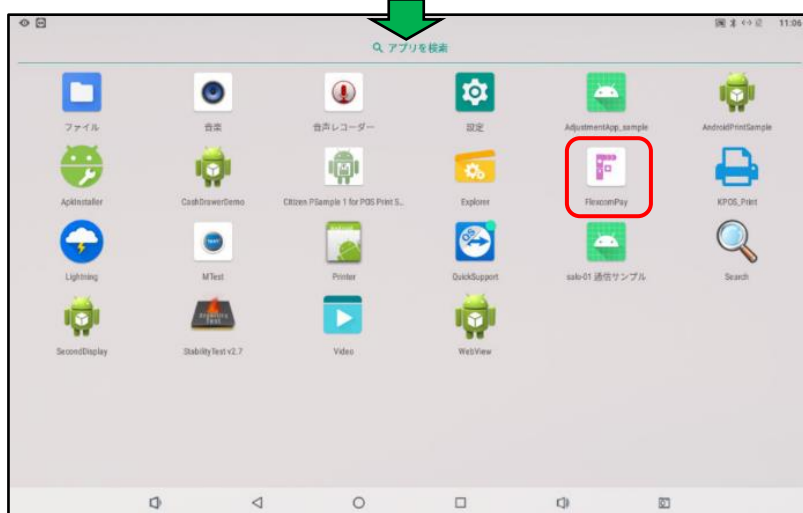
- 3) メニュー画面から TeamViewer の「QuickSupport」を選択します。



- 4) TeamViewer が起動しますので、表示される ID を確認し控えます。  
確認後は、「○」を選択しホームに戻り、「FlexcomPay」のアイコンをタップして起動します。



ID は端末毎に異なります。  
画面上の数値は、イメージですので、  
確認端末で表示されている ID を  
控えるようにしてください。



## 4. 電子決済端末の設定

※注記) 電子決済端末機能がある場合に確認します。

### 4.1. 接続設定の確認

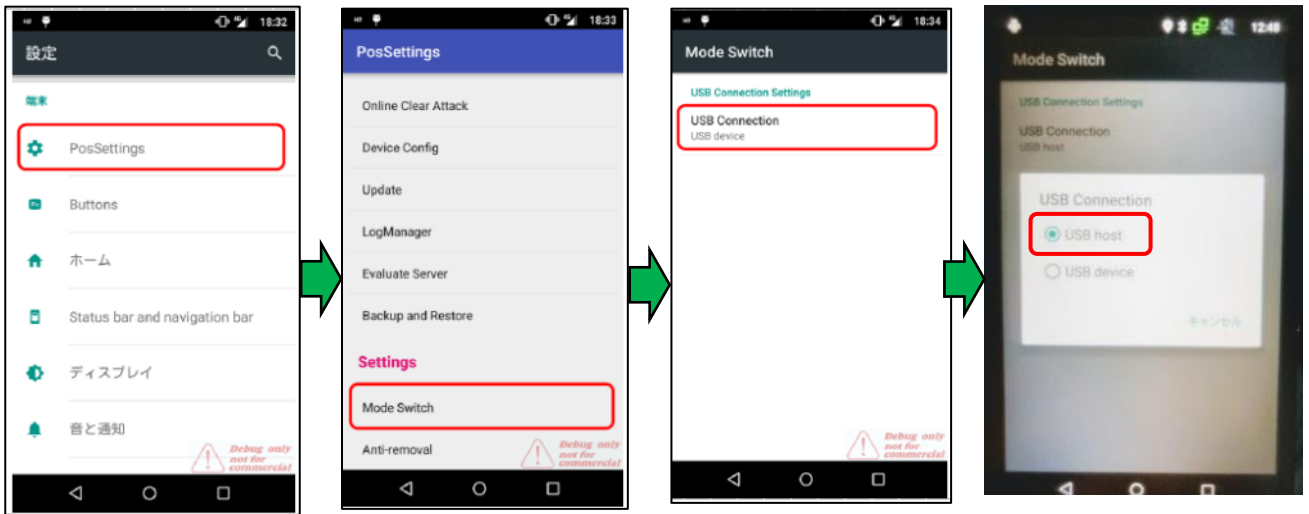
- 1) 電子決済端末画面を①→②→③→④の順にスライドタッチします。  
管理者設定欄が表示されますので、管理者用 QR コードをかざします。



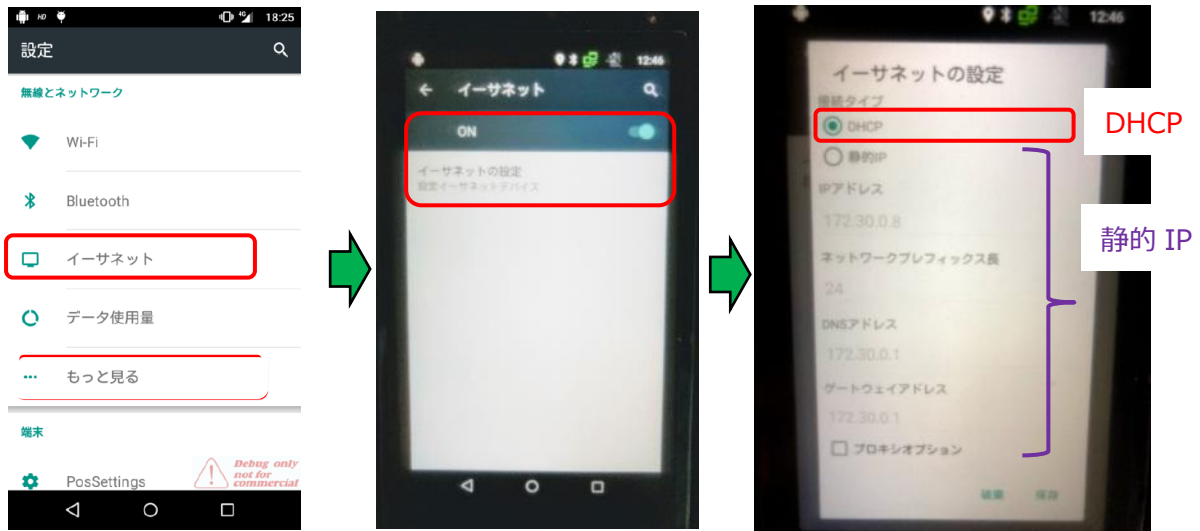
- 2) 管理者機能画面の「設定表示」をタップし、アプリ設定画面の「端末設定」をタップします。



- 3) 有線 LAN を利用しての接続となりますので、『ホストモード』に設定します。  
 設定画面の「PosSettings」→「Mode Switch」→「USB Connection」の順にタップします。  
 「USB host」が選択されている事を確認します。



- 4) <ボタンを押して設定画面まで戻り、「イーサネット」をタップします。  
 イーサネットを「ON」とし、「イーサネットの設定」をタップします。「DHCP」を選択し、保存をタップします。  
 (基本的に DHCP で問題ありません)



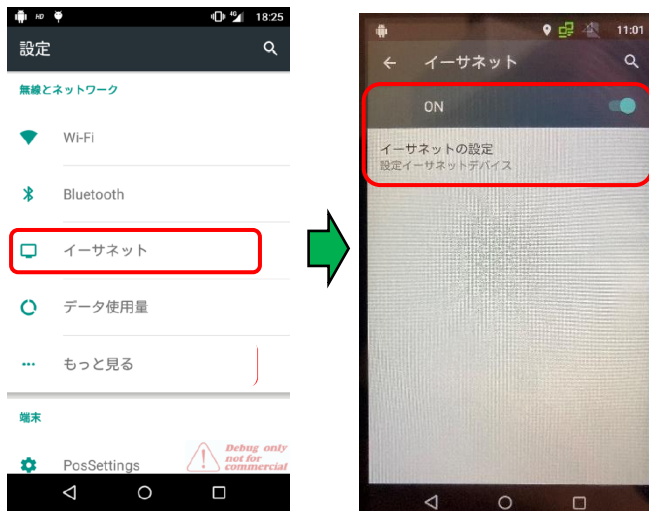
設定後、緑ランプが表示されている事を確認します。



(補項) キャッシュレス決済端末を固定 IP アドレスで運用する場合

- ※注記) キャッシュレス決済端末は DHCP 設定で運用しますので、  
本設定は導入先様が固定 IP で運用を要望される場合のみ設定を実施する内容です。
- ※注記) 固定 IP で運用される場合は、設定 IP アドレス情報は導入先様からいただください。  
情報をいただけない場合は、設定できません。

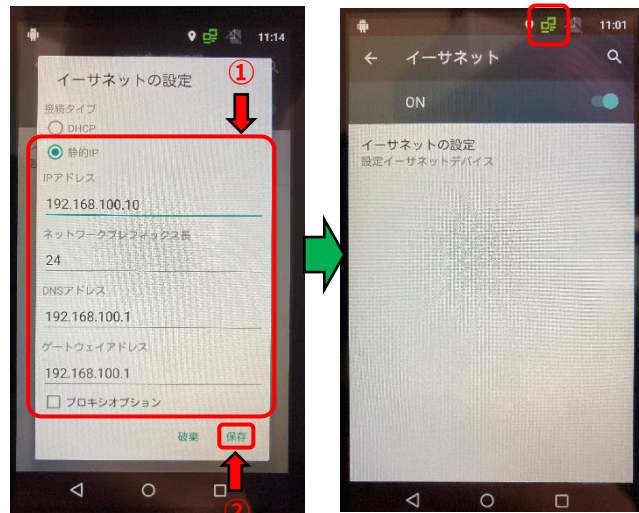
- 1) 4.1 項の 1)~2)の手順で端末設定画面に入ります。
- 2) 設定画面の「イーサネット」をタップします。  
イーサネットを「ON」とし、「イーサネットの設定」をタップします。



- 3) 「静的 IP」を選択し、以下の項目を入力した後、「保存」をタップします。  
設定後、緑ランプが表示されている事を確認します。

IP アドレス (導入先様に確認)	⇒	. . .
ネットワークプレフィックス長	⇒	24
DNS アドレス (ゲートウェイアドレスと同じ)	⇒	. . .
ゲートウェイアドレス (導入先様に確認)	⇒	. . .
プロキシオプション	⇒	チェックしない

※IP アドレス情報は設定した場合、控えておく。

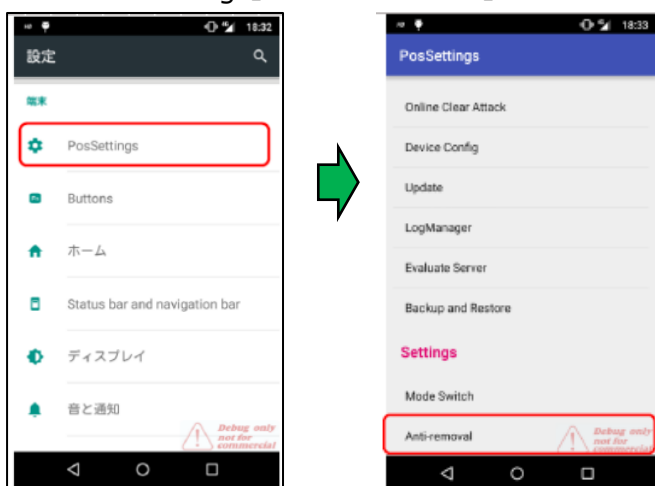




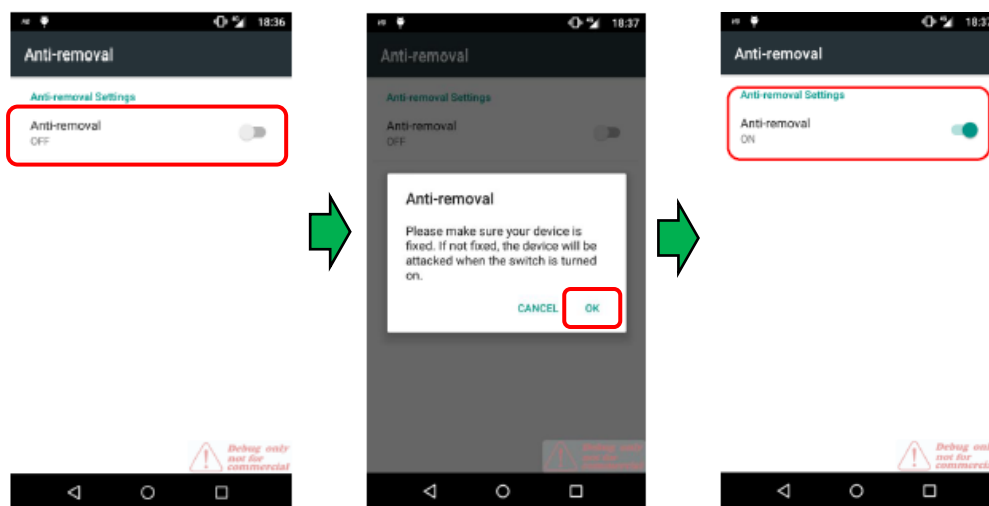
## 4.2. タンパー検知機能有効化設定

※注記) タンパー検知機能を有効にする際は、防水緩衝リングを確実に固定した上で実行してください。  
端末の上下でセンサーがあり、外れるとタンパー状態となり電子決済端末機が使用不可となります。

- 1) 4.1 項の 1)~2)の手順で端末設定画面に入ります。
- 2) 設定画面の「PosSettings」→「Anti-removal」の順にタップします。



- 3) 「Anti-removal」の設定を OFF⇒ON とします。  
警告メッセージが表示されますが、「OK」ボタンをタップします。  
「Anti-removal」の設定が ON となり、タンパー検知機能が有効化されます。



※端末を取り外す場合は、必ずタンパー検知機能が無効である事を確認してください。  
タンパー検知機能の無効化は、上記の「Anti-removal」の設定を OFF としてください。  
※なお、タンパー検知機能を有効化しないと、決済機能が使用できません。

※注記) 操作方法のより詳細を確認する場合は、別紙「sal0-01\_決済端末操作マニュアル.pdf」を参照ください。

### 4.3. 電子マネー使用設定

※注記) 電子マネー申込済みの電子決済端末が設定対象となります。電子マネーを使用しない場合は、当設定項目をスキップしてください。

※注記) 本項目の設定内容は、別紙「sal0-01\_電子マネー設定マニュアル」に基づきますので、詳細はそちらの資料を参照してください。

- 1) 別紙「sal0-01\_電子マネー設定マニュアル」を参照し、手順 1 を実行します。  
※管理者用 QR コードが必要ですので、事前に準備します。
- 2) 別紙「sal0-01\_電子マネー設定マニュアル」を参照し、手順 2 を実行します。
- 3) 別紙「sal0-01\_電子マネー設定マニュアル」を参照し、手順 3 を実行します。  
※当項目は 5 項における電子マネーでの決済テストと同じになります。

## 5. 動作確認

※注記) テスト用会計データはレセコンベンダーで準備いただく必要があります。

※注記) キャッシュレス端末がない場合は、キャッシュレス端末が設置された際にテストを実施してください。

### 1) テスト実行前に

精算機側の保守メニューより、「開局」ボタンをタップし、閉局から開局へ変更してください。

「釣銭補充」→「手補充」の順にタップし、クリニック様よりお預かりした硬貨各 1 枚ずつ入金します。

補充完了とした後、「釣銭補充」→「テンキー補充」の順にタップし、各金種 4 枚ずつ追加入力します。

補充完了とした後、保守メニューを終了します。

### 2) レセコン接続テスト

※テストデータの扱いはレセコン担当者、クリニックの担当者に確認してください。

#### ■現金での決済テスト

1、管理アプリから受付登録します。(ORCA、PHC、Canon の場合は受付自動連動)

※受付票無運用の場合は、テスト患者 ID を仮診察券発行します。

2、レセコン側で精算情報を作成してもらいます。

3、精算機に管理アプリから発行したQRコードをスキャンさせてください。

4、現金で決済してください。

5、レセコン側に決済情報が連携出来ているか確認してください。

※会計データは、340 円とし、千円 1 枚入金し釣銭 660 円が払い出される事を確認します。

#### ■クレジットカードもしくはQRコードでの決済テスト (キャッシュレス決済端末 salo-01 の場合)

(クレジットカード、QRコード決済を契約している場合、どちらか片方だけの確認でOKです。)

※キャッシュレス端末がある場合は、現金テストから続けてテストを実施します。

テスト時のクレジットカードは、クリニック様からお借りして行います。

1、管理アプリから受付登録します。(ORCA、PHC、Canon の場合は受付自動連動)

※受付票無運用の場合は、テスト患者 ID を仮診察券発行します。

2、レセコン側で精算情報を作成してもらいます。(10 円の請求)

3、精算機に管理アプリから発行したQRコードをスキャンさせてください。

4、クレジットカードもしくはQRコードで決済してください。

5、レセコン側に決済情報が連携出来ているか確認してください。

※テストしたクレジットカード決済情報はルミーズの管理画面から取り消してください。

■ 電子マネーでの決済テスト（キャッシュレス決済端末 salo-01 の場合）

（電子マネーを契約している場合、残高照会のみで OK です）

- 1、キャッシュレス決済端末の画面下の「残高照会」ボタンをタッチしてください。
- 2、利用する電子マネーを選択してください。
- 3、IC カードを端末にかざしてください。
- 4、音になり、完了画面が表示されます。
- 5、利用明細画面が表示されます。完了ボタンを押すかしばらく待つと自動で画面が戻ります。



3) テスト終了後

精算機側の保守メニューより、「現金回収」→「全回収」の順にタップします。機械的動作が完了した後、硬貨ユニット及び紙幣ユニットから貨幣を回収し、クリニック様へお返します。

※お預かり時の枚数と相違ない事を確認してください。

保守メニューより、「閉局」ボタンをタップし、開局から閉局へ変更してください。

## 6. その他の設定

※注記) 該当するレセコンにおける設定項目となります。対象レセコンを確認して作業を行ってください。

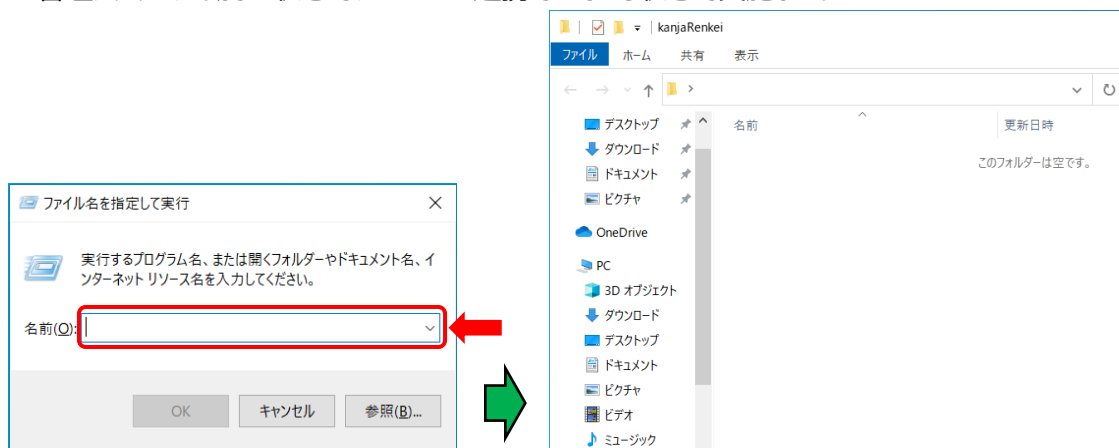
### 6.1. 患者情報インポート

※注記) ファイル連携レセコンの場合、既存患者情報をインポートさせる必要がありますので、レセコン連携を確認した後、以下の手順で患者情報のインポート作業を行います。

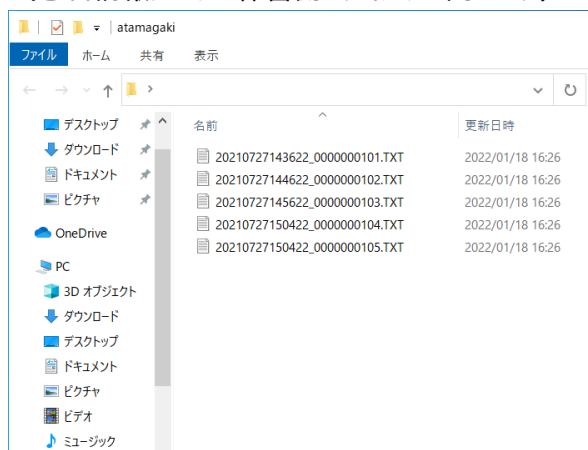
対象レセコン : HOPE\_SX,SX-S (富士通 Japan) 、AI\_CLINIC (アイネット・システムズ)

- 1) 管理アプリをインストールした PC にて、[windows]+[R]キーを押し、名前に連携するフォルダの患者属性パス名を入力し、[OK]を押します。(患者情報データを移す側の共有フォルダを開きます)

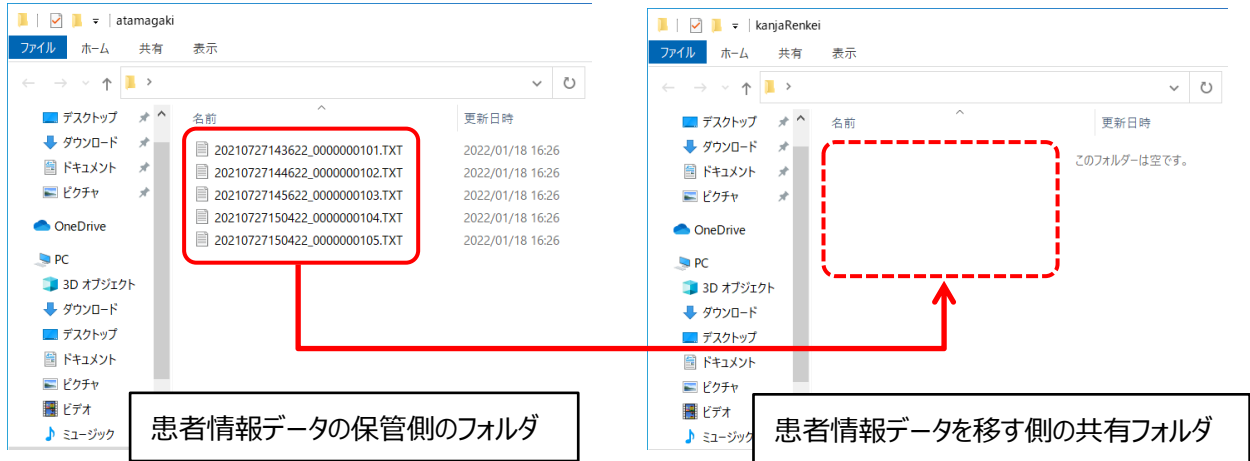
※管理アプリは起動した状態で、レセコンと連携できている状態で実施します。



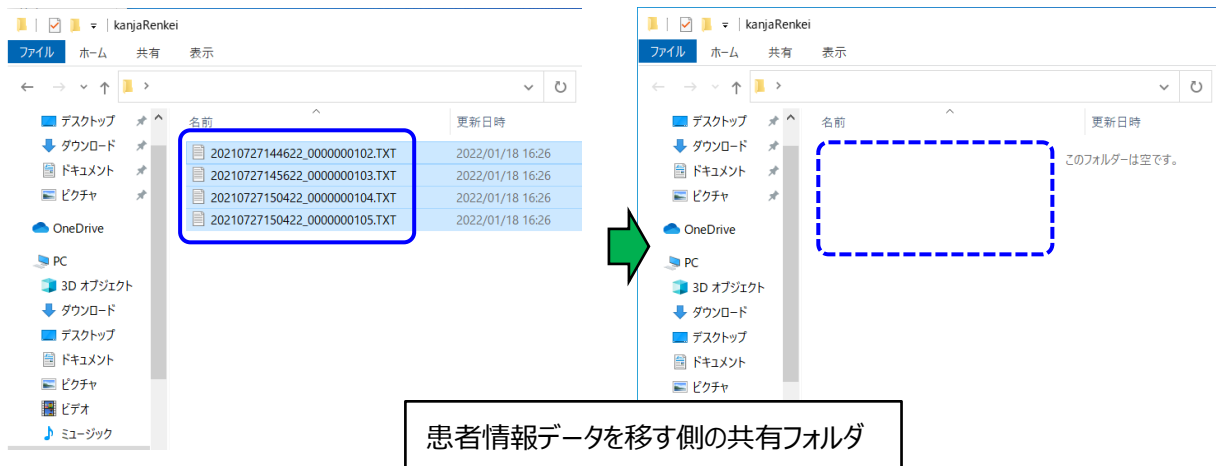
- 2) レセコンベンダーから提供された患者情報データを保管しているフォルダを開きます。(患者情報データの保管側のフォルダを開きます)



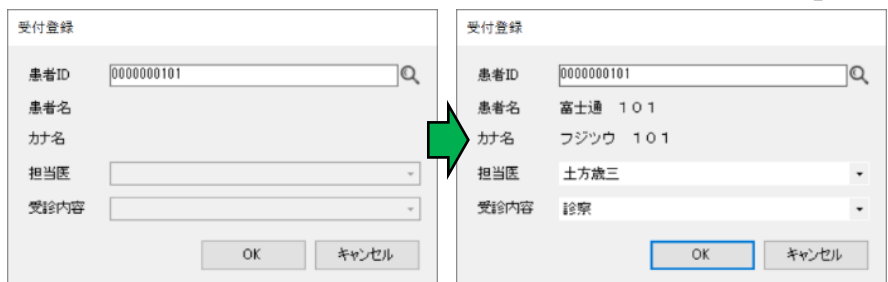
3) 2)で開いたフォルダ内にあるファイルを全て 1)で開いたフォルダへコピーします。



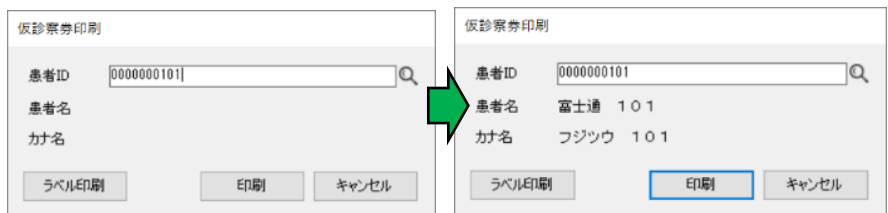
4) コピーしたファイルは、自動で FlexcomPay のデータベースへ取り込まれます。取り込んだファイルから自動的に削除されます。コピーした全てのファイルが取り込まれたら、取込は完了です。



5) 管理アプリにて、[受付登録]もしくは[仮診察券印刷]をクリックし、患者 ID を入力し、患者名（カナ名）が表示される事を確認します。確認後は、開いている各フォルダは右上の「×」をクリックし閉じます。



受付登録画面にて、患者 ID を入力し [Enter]キーを押した後、患者名（カナ名）が表示されたら、「キャンセル」ボタンを押します。



仮診察券印刷画面にて、患者 ID を入力し [Enter]キーを押した後、患者名（カナ名）が表示されたら、「キャンセル」ボタンを押します。

※表示している患者 ID はイメージです。実際の患者 ID 番号を入力して確認ください。

## 7. 推奨スペック

### スペック一覧（オプション品）

オプション品	推奨スペック
PC（管理アプリ用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OS : Win10、11 IoT 64bit もしくは Win10、11 Pro 64bit</li> <li>・CPU : 管理アプリ PC 専用の場合、Intel Celeron 相当、 他のアプリケーションと併用の場合、Corei3 相当かそれ以上</li> <li>・メモリ : 4GB 以上</li> <li>・ストレージ : SSD</li> <li>・ストレージ容量 : 64GB 以上（弊社アプリが必要とする容量）</li> <li>・LAN ポート 2（USB-LAN 変換でも代用可能）</li> </ul>
ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解像度 : フル HD（1920×1024）</li> </ul>
USB-LAN 変換 （LAN ポート二口タイプ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応 OS : Win10、Win11</li> <li>・規格 : USB3.0 以降</li> <li>・コネクタ : USB Type-A コネクタ オス×1（※USB Type は PC 側に依存します。） RJ-45×2（Auto-Negotiation 対応）</li> </ul>
スイッチング HUB	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターフェース : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T （Auto-Negotiation、AutoMDI/MDI-X 対応）</li> <li>※リピーターハブ不可</li> </ul>
ルーター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LAN ポート : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T</li> <li>・WAN ポート : 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T</li> </ul>
LAN ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信規格 : CAT5e 以上</li> </ul>
電源タップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4 個口以上、3P タイプ</li> </ul>

※アプリケーション・ソフトとの相性及び完全な動作を保証するものではありません。

事前に十分な確認評価を行っていただきますようお願いいたします。